

2020 年度
Academic Year 2020/2021

授業内容概略
Course Summaries

東京大学公共政策大学院
Graduate School of Public Policy
The University of Tokyo

はじめに

現在の日本の変化は著しく、産業構造の転換、少子高齢化、国際化の進展等これまでに経験したことのない課題に直面しています。これらの課題に取り組んでいくためには、そうした課題の性質をよく見極め、新たな発想によって政策を形成していくことが必要であり、そのために、実務の世界で通用する政策の立案・実施・評価に関する高い専門能力をもった人材が求められています。

東京大学公共政策大学院（大学院公共政策学教育部）は、このような政策実務家の養成を目標として平成16（2004）年度に発足した新しい大学院です。この大学院では、特に国際的視野のもとで現代社会の直面する課題を発見し、課題の解決に必要な政策と制度を構想する力をもち、またコミュニケーションと合意形成の能力にも秀でた、国家機関・地方自治体の公務員、国際組織やNGOの職員、シンクタンクに勤めるエコノミストや政策アナリストなど、時代の要請に応える政策実務家を育成することをめざしています。

この大学院では、政策の実務家を志す学生諸君が、法学・政治学・経済学・国際関係論を横断した幅広い知識を獲得し、かつ実務で求められるスキルを身につけることができるように、教育科目にも、また教育内容や方法にも、これまでの大学院教育には見られなかった、さまざまな新しい発想や工夫を取り入れています。

この「授業内容概略」は、そうした学生諸君が、効率的かつ体系的に学習を行うために必要な情報を提供する冊子です。これを参考にして自らの学習計画を立てて下さい。

公共政策大学院

目 次

授業等日程及び授業時間	-----	1
修了要件について	-----	2
履修登録の手続きについて	-----	8
教務関係の諸手続きについて	-----	10
公共政策大学院の施設利用について	-----	14
連絡先一覧	-----	16
授業科目表	-----	17
授業内容概略	-----	51

※授業時間表は、公共政策大学院の Web サイトで確認すること。
各授業科目のシラバス詳細は、UTAS で確認すること。
休講、補講、教室変更や事務手続き等、**重要な伝達事項は原則として Web 在校生掲示板により周知するので、常に確認すること**
(「教務関係の諸手続きについて」参照)。

在校生掲示板

◆ <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/student-bulletin-board/>

◆ 国際学術総合研究棟 13 階掲示場

2020年度授業等日程及び授業時間

授業期間

S1S2 科目	4月 3日 (金)	～	7月 9日 (木)
S1 科目	4月 3日 (金)	～	6月 1日 (月)
S2 科目	6月 2日 (火)	～	7月20日 (月)

4月29日 (水)	祝日のため休講
5月3日 (日)～5月6日 (水)	祝日のため休講
5月7日 (木)	水曜日の授業を行う
5月15日 (金)午後～17日 (日)	五月祭のため休講
7月3日 (金) 午前	S1S2 科目は休講 (午後は通常授業) ※S2 科目は終日通常授業

A1A2 科目	9月25日 (金)	～	1月 7日 (木)
A1 科目	9月25日 (金)	～	11月18日 (水)
A2 科目	11月19日 (木)	～	1月18日 (月)

11月3日 (火)	祝日のため休講
11月23日 (月)	祝日のため休講
12月25日 (金)	A1A2 科目は休講 ※A2 科目は終日通常授業
12月28日 (月)～1月3日 (日)	休講
1月4日 (月)	A1A2 科目は休講 ※A2 科目は終日通常授業
1月6日 (水)	A1A2 科目は休講 ※A2 科目は終日通常授業
1月7日 (木)	月曜日の授業を行う
1月11日 (月)	祝日のため休講 ※A1A2 科目は授業期間外
1月15日 (金)	休講 ※A1A2 科目は授業期間外

※ 試験は原則として、授業の最終日に行う。

※ 他学部・他研究科との合併科目については授業期間や試験日の取り扱いが異なる場合があるので、授業担当教員の指示に従うこと。

授業時間

1時限	8:30～10:15	4時限	14:55～16:40
2時限	10:25～12:10	5時限	16:50～18:35
3時限	13:00～14:45	6時限	18:45～20:30

修了要件について

公共政策大学院を修了するためには、**2年以上在学し、46単位以上**修得しなければならない。また、コース別、又は、ポリシーストリーム別に定められた授業科目及び単位数を修得しなければならない。

他の研究科等の授業科目、又は学部の授業科目は、合わせて8単位まで、公共政策大学院の修了に必要な単位数に算入することができる。

1年間に38単位を超えて履修科目を登録することができない。リサーチペーパー、研究論文、インターンシップの登録単位数もこれに含まれる。

他の大学院における授業科目の履修、入学前の既修単位等の認定などについては、公共政策学教育部規則を参照すること。

なお、特に指定された科目を除き、既に単位を修得した授業科目と同一科目名の授業科目を再度履修することはできない。

〈コース別修了要件〉

- ※ 1つの科目により2つ以上の修了要件として意味を持つ科目は、それぞれの修了要件にカウントされる。
- ※ 修了要件に列挙されている科目が授業科目表にない場合は、今年度は開講しないので注意すること。

○ 法政策コース

必要単位数	修了要件
各4単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4単位、全部で12単位以上修得していること
8単位	事例研究を8単位以上修得していること
16単位	基幹科目、展開科目の法律分野に関する授業科目を16単位以上修得していること
4単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること

○ 公共管理コース

必要単位数	修了要件
各4単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4単位、全部で12単位以上修得していること
8単位	事例研究を8単位以上修得していること
16単位	基幹科目、展開科目の政治分野に関する授業科目を16単位以上修得していること
4単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること

○ 国際公共政策コース

必要単位数	修了要件
各 4 単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4 単位、全部で 12 単位以上修得していること
8 単位	事例研究を 8 単位以上修得していること
16 単位	<p>基幹科目、展開科目の中で国際公共政策に関する以下の授業科目から 16 単位以上修得していること（事例研究など、基幹、展開以外に区分された科目は対象とならないので注意すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際組織と法 ・ 国際経済法 ・ 国際人権法 ・ グローバリゼーションと法 ・ 国際行政論 ・ 国際政治経済 I ・ 国際政治経済 II ・ International Conflict Study ・ 開発研究 ・ Modern Japanese Diplomacy ・ Governance and Development ・ Introduction to International Politics ・ Security Studies ・ International Trade Policy ・ International Financial Policy ・ Development Economics: Microeconomic Approach ・ Development Economics: Macroeconomic Approach ・ 国際租税法 ・ 国際環境・エネルギー法 ・ 国際空間秩序と法 ・ ヨーロッパ法 ・ 比較法政策 1 ・ 比較法政策 2 ・ 国際法判例研究 ・ ヨーロッパ統合と法 1 ・ ヨーロッパ統合と法 2 ・ ヨーロッパ統合と法 3 ・ ヨーロッパ統合と法 4 ・ 国境でメルトダウンする人権保障？-執行共助の刑事と税務 ・ Theory and Practice of International Human Rights Law ・ 日本と国際経済法 ・ 転換期の WTO ・ 国際経済法と「開発」を考える ・ 広域 FTA の研究 ・ アジアビジネスと企業法務

- ・ アジア・ビジネス法（旧科目名：アジアビジネス法と企業法務）
- ・ 国際ビジネス法
- ・ The Negotiations in the WTO
- ・ Law and Society in East Asia
- ・ 国際法の基本問題
- ・ 国際法実務演習
- ・ 国際法演習
- ・ 国際海洋法制度概論
- ・ 比較政策過程論
- ・ 国際政治理論
- ・ 対外政策決定論
- ・ 地域統合論
- ・ 地域政治A
- ・ 地域政治B
- ・ 地域政治C
- ・ Area Politics C
- ・ 国際政治経済の諸問題
- ・ 国連安保理と紛争解決
- ・ 国連安保理と紛争解決 I
- ・ 国連安保理と紛争解決 II
- ・ 西欧比較政治論
- ・ Norms on the Environment: Creation and Compliance
- ・ The Politics and Diplomacy of Contemporary China
- ・ Contemporary Chinese Politics
- ・ Contemporary Chinese Diplomacy
- ・ International Relations and Political Regimes（旧科目名：Domestic Foundations of International Political Economy、Domestic Foundations of International Policies / International Political Economy）
- ・ 発展途上国の政治
- ・ 先進国の比較政治
- ・ Cross-Strait Relations
- ・ International Politics in East Asia
- ・ 地球規模課題と日本
- ・ Politics of World Trade
- ・ ラテンアメリカの人権問題
- ・ 現代ラテンアメリカ政治の研究
- ・ 体制変動の理論ーラテンアメリカの経験から考える
- ・ ラテンアメリカの政党システム
- ・ 独裁政治の研究
- ・ 紛争と暴力の理論
- ・ Climate Change Politics and Policy
- ・ Human Security: Asian Perspectives
- ・ Comparative Political Institutions in Asia
- ・ 日本外交：実践と課題
- ・ Maritime Security in and beyond Asia

- Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia
(旧科目名 : Boom and Bust: the Political Economy of Development in East Asia)
- Global Governance
- 経済と安全保障の交錯
- Asian Economic Development and Integration
- Economic Development in Korea and other Asian countries
- Energy Security
- Field Seminar in International Relations
- Introduction to International Trade
- プライベート・スタンダードの研究
- 法の支配と国際投資法
- 国際商事仲裁
- 第1次大戦中の総力戦体制の比較
- 国際政治特殊研究
- Conflict Prevention and Post-Conflict Politics
- Insurgency and Counterinsurgency
- Transformation of Warfare and Technology
- ラテンアメリカの移行期正義—真実・正義・和解・記憶
- ジェノサイドの心理—普通の人々はなぜ大量虐殺を行うのか
- Advanced Topics in International Trade
- Poverty, Inequality and Development
- Global Financial Regulation
- Economic Crisis
- Public International Law and Domestic Implementation
- Ethics and International Relations
- ユーラシアにおける宗教政治—正教会とイスラーム (旧科目名 : コーカサスおよび中央アジア史、ロシア軍の歴史 : モスクワ国家からセルジュコフ改革まで)
- クリミア後のロシアと周辺諸国—政治体制論を中心に (旧科目名 : 旧ソ連圏の権威主義回帰と政治制度、連邦制と紛争緩和)
- アメリカの環境・エネルギー政策と政治過程
- アメリカ政治におけるメディアの役割
- New Dimensions of Security in the Risk Age
- U.S. Diplomacy toward Asia
- 比較政治学・概論
- アメリカ民事訴訟法判例研究 (旧科目名 : 英米法演習)
- アメリカの経済犯罪
- 国際投資法研究
- 国際社会における法の支配—国際刑事裁判の現場から
- 比較政治学・政党と制度
- Asia-Pacific Security
- ラテンアメリカ発の比較政治学
- 虐殺とジェノサイドのメカニズム
- 現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー
- Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紛争、独裁後の移行期正義—真実・正義・和解・記憶 ※ International Environmental Law ※ アメリカ信託・信託法 ※ Data Science and Machine Learning ※ 食糧安全保障と農業政策 ※ Evolution of Global Economic Policies ※ 家計とコミュニティの開発経済学 ※ この要件に該当する科目が追加されました。 2019年度以前の入学者が追加された科目の単位を修得した場合、この要件の単位として認められます。また、それらの科目を2019年度までに履修し、単位を修得している場合でも、同様に認められます。
4 単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること

○ 経済政策コース (2016-2020 年度入学者)

必要単位数	修了要件
各 4 単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4単位、全部で12単位以上修得していること
8 単位	事例研究を8単位以上修得していること このうち4単位以上を教育部が指定する経済系の事例研究（授業科目表の備考欄に★印のある科目）のうちから修得していること
16 単位	基幹科目、展開科目の経済分野に関する授業科目を16単位以上修得していること
12～15 単位	<p>修了時までに修得した単位に、以下の授業科目を含んでいること</p> <p>(1) Microeconomics Practice Session for Microeconomics ただし、本学経済学部において既に上級マイクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のマイクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級マイクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のマイクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(2) Macroeconomics Practice Session for Macroeconomics ただし、本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(3) Econometrics for Public Policy Practice Session for Econometrics for Public Policy ただし、本教育部入学前に既に(a)～(f)のいずれかの科目の単位を修得した者及び本教育部入学後に(f)の単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(a) 本学経済学部の 計量経済学（公共政策学教育部との合併科目） (b) 本学経済学部の 上級応用計量経済学（公共政策学教育部との合併科目） (c) 本学経済学部の 上級計量経済学</p>

	(d) 本学経済学部の上級計量経済学Ⅰ、上級計量経済学Ⅱ (e) 本学経済学研究科の基礎計量経済 (f) 本学経済学研究科の計量経済学Ⅰ、計量経済学Ⅱ
4単位	経済分野の上記の必修科目及び Principles of Microeconomics、Principles of Macroeconomics、統計分析手法、Statistical Methods 以外の基幹科目から、さらに4単位以上を修得していること
4単位	修了時までには修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること
※ 以下の科目を履修することはできない <ul style="list-style-type: none"> ・ Principles of Microeconomics ・ Principles of Macroeconomics (旧科目名：経済学基礎) ・ Microeconomics for Public Policy ・ Practice Session for Microeconomics for Public Policy ・ Macroeconomics for Public Policy ・ Practice Session for Macroeconomics for Public Policy 	

○ 国際プログラム (MPP/IP) コース (2017年4月1日以降に入学した者)

※英語版 (p. 34) を参照のこと

履修登録の手続きについて

履修登録は「UTAS」から行うこと。UTASにログインするためには、入学ガイダンス時に配付された「UTokyo Account パスワード通知書」に記載されたユーザー名・パスワードが必要となる。

履修登録期間

- (1) 以下の期間に、各自 PC 等により UTAS にログインし、履修科目を登録すること。集中講義も下記の期間に登録すること。

S1、S1S2、通年科目	4月10日(金)～	4月16日(木)
S2科目	6月9日(火)～	6月15日(月)
A1、A1A2科目	10月2日(金)～	10月8日(木)
A2、W科目	11月26日(木)～	12月2日(水)

[UTAS URL]

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>

- (2) 「リサーチペーパー」「研究論文」「インターンシップ」の履修登録については、指導教員の下承が必要であるため、公共政策大学院チームで履修登録を行う。(UTASによる各自での履修登録は不要)

「リサーチペーパー」及び「研究論文」の履修登録方法、履修登録期間、作成要領、日程等詳細については、掲示にて通知する。

なお、「インターンシップ」の申請は随時受け付ける。申請手続き等詳細については、掲示にて通知する。

- (3) UTAS で登録できない科目がある場合には、各自、シラバスや当該科目を開講している各研究科等の事務室にて履修制限に問題がないことを事前に確認の上、期間内に公共政策大学院チームまで申し出ること。履修登録期間を過ぎてからの申し出は認めない。

履修登録撤回期間

上記履修登録期間で履修登録した科目のうち、履修を撤回したい科目は、この期間内に UTAS から履修登録を削除すること。なお、この期間に履修登録科目の「変更」及び「追加」は認められない。また、この期間を過ぎてからの撤回は認めない。

S1、S1S2、通年科目	4月20日(月)～	4月23日(木)
S2科目	6月22日(月)～	6月25日(木)
A1、A1A2科目	10月12日(月)～	10月15日(木)
A2、W科目	12月7日(月)～	12月10日(木)

ただし、集中講義の履修登録撤回は上記「履修登録撤回期間」によらず、初回の授業が実施された日まで認める。履修登録撤回期間外のため UTAS 上で履修撤回の操作ができない場合は、初回の授業が実施された日中に、公共政策大学院チームへメールにて履修登録撤回を申し出ること。翌日以降の撤回は認めない。なお、授業担当教員から履修登録撤回についてシラバス等で別途制限がされている場合は、その指示を優先する。また、他学部・他研究科科目の場合、開講学部・研究科の指示を優先する。

【重要】履修登録単位の上限について

公共政策大学院では、学生の計画的な授業の履修を促す観点から、履修登録できる単位数の上限を、年間38単位までと定めている。(9月入学の学生は9月から起算して1年間)

「リサーチペーパー」「研究論文」「インターンシップ」の単位数もこれに含まれる。
また、履修登録期間後ではなく、履修登録撤回期間後の単位数が対象となり、前学期に「未受験」「不可」となった科目の単位数も、上記38単位の中に含まれるので注意すること。

他学部・他研究科科目履修上の注意

法学部の演習科目については、公共政策大学院との合併科目でない場合、履修することはできない。

学部・研究科により成績報告期限が異なるため、修了判定の時期までに成績が確定されない場合、当該科目は修了判定に算入しない。従って、最終年次の後期は、他学部・他研究科科目を修了要件に算入する単位として履修登録しないこと。

「リサーチペーパー」、「研究論文」用の参考科目

公共政策大学院では、2020年度に、論文（エッセイ）の書き方等を指導する科目を以下のとおり3つ開講する。

特に、リサーチペーパー又は研究論文の提出を予定している場合、博士課程への進学を希望する場合の参考にされたい。

※開講日等の最新の情報は、UTAS で確認すること。

科目名：Essential Academic Skills: Writing and Research Planning

科目番号：5123312-1

担当教員：MARSZALEC Daniel Janusz

科目名：Advanced Academic Writing

科目番号：5130200

担当教員：FAYE Singh

科目名：Introduction to Academic Writing

科目番号：5130205

担当教員：FAYE Singh

教務関係の諸手続きについて

住所、電話番号、電子メールアドレスの登録・変更について

- (1) ガイダンス時に配付された「UTokyo Account パスワード通知書」により、UTAS にログインし、速やかに住所・電話番号・電子メールアドレスを UTAS に登録すること。
- (2) 大学からの連絡は、UTAS に登録された連絡先宛に行う。
- (3) 特に、重要な事項（修了に関わること等）や、至急に確認したい事項が発生した場合、個別に電子メールや電話で連絡するので、確実に連絡のとれる電子メールアドレスと電話番号を常時登録しておくこと。連絡先に変更が生じた場合、連絡先を更新しておくこと。

学生への連絡方法について

- (1) 一般的な連絡事項、授業に関すること（開講・休講情報等）や、奨学金に関すること、修了（式）に関すること等についての案内は、Web 在校生掲示板に掲載するので毎日必ず確認すること。
- (2) 他学部・他研究科との合併科目について、休講・試験等に関する情報は、当該学部・研究科の掲示板でも、必ず確認すること。

証明書等の発行について

- (1) 在学証明書、成績証明書、修了見込み証明書（最終年次のみ）、学割証については、証明書自動発行機により、即時発行される。
- (2) 証明書自動発行機を利用する際に必要な暗証番号は、「UTokyo Account パスワード通知書」で確認すること。
- (3) その他の証明書については、「証明書交付願」に基づき、以下のとおり発行する。
 - 和文・・・翌日に交付（土日・休日を除く）
 - 英文・・・1週間後に交付（土日・休日を除く）

授業料について

- (1) 授業料は、5月（前期分）及び11月（後期分）に納めること。
- (2) 「授業料預金口座振替依頼書」により登録された口座からの自動引き落としによる。
- (3) 口座振替日は、前期分が5月27日、後期分が11月27日（当該日が金融機関の非営業日にあたる場合は翌営業日）である。
- (4) 口座振替日の前日までに当該口座に授業料相当額を入金しておくこと。

※ 個別に引き落としに係る連絡等は行わない。

* 参考：http://www.u-tokyo.ac.jp/fin02/h01_01_j.html

奨学金について

- (1) 主に、本学独自の学内奨学制度、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・民間団体が設置している奨学金がある。
- (2) 出願方法・スケジュール等の詳細は、随時掲示により周知するので、Web 在校生掲示板を各自確認すること。

* 参考：http://www.u-tokyo.ac.jp/index/h02_j.html

学籍異動について

休学、留学、コース変更、在学期間延長等を願い出る場合は、開始予定日の1ヶ月前までに、所定の様式等を公共政策大学院チーム窓口へ提出すること。
詳細は、後述の「休学の手続きについて」、「海外渡航する場合の手続きについて」、「所属コース変更の手続きについて」、「在学期間延長の手続きについて」の項を参照のこと。

海外渡航について

私的な旅行や一時帰国等、留学以外の海外渡航をする場合、所定の「海外渡航届」を事前に提出すること。

公共政策大学院チーム窓口について

受付時間： 9時00分～17時00分
(土日・休日、年末年始等の休業期間、入学試験実施日等を除く)
E-mail: ppin@j.u-tokyo.ac.jp
TEL: 03-5841-1349 (受付時間内)

○休学の手続きについて

休学する場合は、次のことを十分心得ておくこと。

1. 手続き

休学をする場合は、休学を希望する1ヶ月前までに、所定の「休学願」を公共政策大学院チームへ提出し、許可を受けなければならない。

休学の基準については、大学院便覧記載の「学生の休学の基準」及び「学生の休学の基準に関する要介護者及び社会に貢献する活動の範囲について」を参照すること。

なお、申請時の休学期間は1年間が最長である。休学を延長する場合は、休学期間が終了する2ヶ月前までに休学の再手続きをすること。

(休学のために必要な書類)

海外への留学(修学)	休学願、修学計画書、入学許可証明書又は在学証明書
海外への学術調査	休学願、調査見学計画書(日程表含む)
経済的理由	休学願、理由書
病気	休学願、診断書
出産又は育児	休学願、母子手帳(写し)
介護	休学願、医師の診断書
社会に貢献する活動	休学願、計画書
一時帰国(留学生)	休学願、理由書

2. 休学期間と修業年限及び在学年数(東京大学大学院専門職学位課程規則第18条)

休学期間として認められる期間は2ヶ月以上で2年を超えることはできない。

休学した期間は修業年限(2年間)及び在学年限(3年間)には算入されないので注意すること。また、休学期間中は、授業科目の履修はできない。

3. 復学

休学期間中に休学の事由が解消された場合は、所定の「復学願」を公共政策大学院チームへ提出すること。また、休学期間が終了し復学する場合も復学願を提出すること。

4. 授業料

休学する者はその期間の授業料は徴収されない。なお、手続きが遅れた場合は、前期分あるいは後期分の授業料を納入しなければならないことがあるので、注意すること。

復学を許可された場合は、復学した月から当該学期末までの授業料を復学した月内に納入しなければならない。なお、既に納入した授業料については、返還しない。

○海外渡航する場合の手続きについて

1. 休学して海外へ渡航

2ヶ月以上、海外の教育・研究施設等において修学する場合、あるいは海外において調査・見学を必要とする場合は、「休学」の手続きを行うこと。

休学によって海外へ渡航する場合、休学した期間(上限2年間)は修業年限及び在学年限の計算には算入されない。また、前期分の場合は2月末日、後期分の場合は8月末日までに休学願を提出し許可されれば、休学期間中の授業料は免除される(「休学の手続きについて」

の項を参照すること。)

2. 海外留学（東京大学大学院公共政策学教育部規則第9条2項）

海外の大学等に留学することを希望する者は、公共政策大学院チームで必要な手続きをとること。

外国の大学等において、専攻分野に関する授業科目を履修し単位を取得した場合、修了要件として定められた単位の1/2を超えない範囲で、本教育部において相当する科目及び単位数を修得したものと認定することができる（ただし、公共政策学教育部規則第10条により入学前の既修得単位の認定を受けている者は、公共政策大学院チームに予め問い合わせること。）。

なお、本教育部との交流協定に基づく協定校への留学については、別途掲示される通知を参照すること。

○所属コース変更の手続きについて

特別の事情があると認められた場合に限り、所属するコースを変更することができる。（東京大学大学院公共政策学教育部規則第2条2項）

所属コースの変更は、1回限りとする。また、コース変更にあたっては、①現所属コースに一年以上在籍していること、②変更を希望する先の所属コースの主な科目を履修し、一定の成績を修めていることが必要となる。

コース変更を希望する場合は、あらかじめ公共政策大学院チームに確認すること。

1. 手続き

所属コースの変更を希望する場合は、変更を希望する学期が始まる1ヶ月前までに、所定の「所属コース変更願」を公共政策大学院チームへ提出し、許可を受けなければならない。

2. 所属コース変更と休学期間、修業年限及び在学年数

所属コースを変更した場合の変更後の修業年限、在学年限及び休学期間は、変更前の期間と通算する。

3. 修得単位

所属コースを変更した者が変更前のコースにおいて取得した単位は、本教育部規則第4条に規定する単位に算入することができる。

○在学期間延長の手続きについて

本教育部の標準修業年限は2年間である（東京大学大学院公共政策学教育部規則第3条）。標準年限を超えて在学期間を延長する場合は、当初の修了予定月の前月末までに在学期間延長届を提出すること。（長期履修学生の場合は、公共政策大学院チームに確認すること。）

ただし、本教育部の在学年限は3年である（東京大学大学院専門職学位課程規則第17条）ため、延長できる期間は1年間が最長である（休学期間を除く）。

公共政策大学院の施設利用について

赤門総合研究棟及び国際学術総合研究棟における公共政策大学院関係施設の学生の利用については、下記の通りとする。

I 赤門総合研究棟

1. 利用可能な室名及び利用方法

赤門総合研究棟4階			
室名	人数	設備	利用方法等
学生自習室N	54人		常時施錠。学生証のID情報をカードリーダーに照合させて入室。
学生自習室W	30人		
学生PC室	24人	PC24台 コピー機	常時施錠。学生証のID情報をカードリーダーに照合させて入室。
ディスカッションスペース1	6人		常時開放。
ディスカッションスペース2	6人		
ディスカッションスペース3	6人		
ディスカッションスペース4	6人		
ディスカッションスペース5	6人		
ロッカー室			常時開放。
学生ラウンジ		コピー機	常時開放。

2. 利用日

1) 原則として、年末年始その他入学試験等建物への入館できない場合を除いて利用することができる。利用できない日時については、予め公表する。

3. 学生自習室及び学生PC室の利用上の注意

- 1) 室内では静粛にし、他の利用者の迷惑となるような行為を慎むこと。(携帯電話はマナーモードにし、会話は禁止。)
- 2) 室内でのペットボトル以外の飲食は、原則として禁止する。
- 3) 私物等を置いて席を占拠しないこと。
- 4) 備品その他は大事に使用し、汚さないこと。
- 5) エネルギーの節約のため、使用しないとき、退室時には、電灯、エアコン、PCのスイッチを切り、窓を閉めること。
- 6) 施設の利用にあたっては、利用上の注意事項を守り、学生の自主的な管理に委ねることとする。ただし、注意事項が守られず、不適切な利用が行われたときは、利用を制限することがある。

4. ディスカッションスペースの利用方法

1) 利用に際しては、自習室の利用上の注意事項の2)～6)を適用する。

5. ロッカー室及び学生ラウンジの利用上の注意

- 1) 使用を認められたロッカーについては、責任をもって管理すること。
- 2) ラウンジでは飲食をすることができる。ただし、備品等は大事に使用し、部屋を汚さないこと。エネルギーの節約を心掛け、退室時には、電灯、エアコンのスイッチを切ること。

II 国際学術総合研究棟

1. 利用可能な室名及び利用方法

国際学術総合研究棟12階		
室名	人数	利用方法等
演習室A	36人	
演習室B	24人	

演習室 C	24 人	全ての演習室が、公共政策大学院チームへの申込みにより 利用可
演習室 D	24 人	
演習室 E	36 人	
演習室 F	12 人	

2. 利用日及び利用時間

- 1) 原則として、年末年始その他入学試験等建物への入館できない場合を除いて利用することができる。利用できない日時については、予め公表する。
- 2) 利用時間は、**午前 9 時から午後 10 時 30 分**までとする。

3. 演習室の利用方法

- 1) 学生が演習室を利用する場合は、自主的な勉強会のみとする。
- 2) 演習室の利用を希望する学生は、公共政策大学院チームに備えた予約簿に予約をする。
- 3) 利用時間は、原則として 2 時間とし、続けて利用可能な場合は延長することができる。
- 4) 既に予約されている場合であっても、授業又は公共政策大学院の行事等の予約申込みがあったときは調整し、予約を変更する場合がある。

4. 演習室利用上の注意

- 1) 室内でのペットボトル以外の飲食は、原則として禁止する。
- 2) 備品その他は大事に使用し、汚さないこと。
- 3) エネルギーの節約のため、使用しないとき、退室時には、電灯、エアコンのスイッチを切り、窓を閉めること。
- 4) 施設の利用にあたって、利用上の注意事項が守られず、不適切な利用が行われたときは、利用を制限することがある。

連絡先一覧

主な所掌事項	担当部署	場所
学籍・履修・成績に関すること、UTASに関すること、教室や自習室等に関すること	公共政策大学院チーム 03-5841-1349	国際学術総合研究棟13階
交換留学・ダブルディグリーに関すること	公共政策大学院チーム exchange@pp.u-tokyo.ac.jp	国際学術総合研究棟13階
全学の相談施設(部署)への総合案内	なんでも相談コーナー 03-5841-7867、0786 http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/nsc/	プレハブ研究A棟(第2食堂隣)
学業・進路・人間関係等の悩みに関すること、カウンセリング、コンサルテーション	学生相談所 03-5841-2516 http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/scc/	プレハブ研究A棟(第2食堂隣)
キャリア相談、就職活動支援	キャリアサポート室 03-5841-2650 http://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/	学生支援センターB1F
入学料・授業料の免除・徴収猶予に関すること	奨学厚生課奨学チーム 03-5841-2547、2548	学生支援センターB1F
日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・公益法人奨学金に関すること	奨学厚生課奨学チーム(奨学金担当) 03-5841-2520	学生支援センターB1F
学生PC室のプリンター・コピー機に関すること	東大生協 第一購買部 03-3816-0711	
アパート・貸間の紹介	東京大学生協 住まい相談コーナー 03-5841-7945	法文2号館地下1階
定期健康診断、診療、健康相談	本郷保健センター 03-5841-2573 http://www.hc.u-tokyo.ac.jp	第2本部棟2階
セクシュアル・ハラスメントに関すること	ハラスメント相談所 03-5841-2233 http://har.u-tokyo.ac.jp/	医学部1号館1階S107
アカデミック・ハラスメントに関すること	学生相談所、ハラスメント相談所、等	
学内の遺失物、警備、盗難に関すること	警備室 03-5841-4919	安田講堂1階北側(ローソン側)

授業科目表

Class Subject List

最新版は公共政策大学院 Web サイトで
確認すること。

Make sure to check updated list on the GraSPP Website.

Reference : <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/courses/>

履修登録に際しての注意点

原則、既に単位を修得した授業科目名と同一科目名の授業科目を再度履修することはできない。ただし、下記科目を除く。

- ・ 5140735 Case Study (GraSPP Policy Challenge for SDGs 1)
 (旧科目名 : Case Study (GraSPP Policy Challenge I))
 4単位を上限として履修可能

また、下表の科目について、科目名が変更となっているが授業内容の重複があるため、昨年度までに下表右の授業科目の単位を修得している者についての履修を認めない。

2020年度科目名			2019年度までの科目名		
科目番号	授業科目名	単位数	科目番号	授業科目名	単位数
5121290	医事法/Medical Law ※英語タイトルのみ変更	2	5121290	医事法/Law and Medicine	2
5122201-1	Contemporary Chinese Politics and Diplomacy	2	5122201-1	Contemporary Chinese Politics	2
5122375	Quantitative Social Science	2	5122375	Causal Inference	2
5130200	Advanced Academic Writing	2	5130200	English Advanced Academic Writing	2
5140280	事例研究 (財政政策 I)	2	5140280	事例研究 (財政政策・問題分析)	2
5140310	事例研究 (財政政策 II)	2	5140310	事例研究 (財政政策・解決策分析)	2
5140399	Case Study (Macroeconomic Policy for Practitioners)	2	5130280	Macroeconomics in the real world: A view from the IMF	2
5140404-3	Case Study (Foreign Policy of Japan)	2	5140404-1	Case Study (Foreign Policy of Japan I)	2
5140404-3	Case Study (Foreign Policy of Japan)	2	5140404-2	Case Study (Foreign Policy of Japan II)	2
5140485	事例研究 (政策環境・事業環境検討手法としてのシナリオプランニング: 理論と実践)	2	5140485	事例研究 (政策環境検討手法としてのシナリオプランニング: 理論と実践)	2
5140790-1	Case Study (Development Economics and Policy I)	2	5140790-1	Case Study (Empirical Development Microeconomics I)	2
5140791-1	Case Study (Development Economics and Policy II)	2	5140791-1	Case Study (Empirical Development Microeconomics II)	2

2020年度公共政策学教育部授業科目表

Class Subject List offered by GraSPP for AY2020/2021

Courses taught in English are indicated by English course titles.

- 基幹科目 (法律分野) / Basic Courses: Law
- 基幹科目 (政治分野) / Basic Courses: Political Science
- 基幹科目 (経済分野) / Basic Courses: Economics
- 展開科目 (法律分野) / Topics Courses: Law
- 展開科目 (政治分野) / Topics Courses: Political Science
- 展開科目 (経済分野) / Topics Courses: Economics
- 実践科目 / Practical Training
- 事例研究 / Case Studies
- リサーチペーパー・研究論文 / Research Paper and Thesis

公共政策学専攻/Master of Public Policy

	科目番号	授業科目	担当教員		学期	単位数			備考
			職名	氏名		講義	演習	実習	
基幹科目	5111010	*民事法の基層と現代的課題	教授	石川 博康	S1S2	2			
	5111020	*公法の基層と現代的課題	教授	小島 慎司	S1S2	2			
			非常勤講師	寺田 麻佑					
	5111030	政策決定・行政統制論	教授	齊藤 誠	S1S2	2			(法)
	5111040	行政組織法	教授	山本 隆司	S1	2			
	5111050	財政法	教授	藤谷 武史	S1S2	2			(法科)(総)
	5111060	地方自治法	非常勤講師	板垣 勝彦	A1A2	2			(法科)(総)
	5111070	地方財政・租税論	准教授	神山 弘行	A1A2	2			(法科)(法)(総)
	5111080	租税政策	准教授	神山 弘行	S1S2	2			(法科)(法)(総)
	5111090	立法学	非常勤講師	伊藤 和子	A1A2	2			(法科)(総)実践科目
	5111110	刑事政策	教授	川出 敏裕	A1A2	2			(法科)(総)
	5111120	知的財産政策	非常勤講師	加藤 浩	S1S2	2			実践科目
	5111150	国際組織と法	教授	森 肇志	S1S2	2			(法科)
	5111160	国際経済法	教授	中谷 和弘	A1A2	2			(法科)(総)
			教授	伊藤 一頼					
	5111170	国際人権法	教授	寺谷 広司	S1S2	2			(法科)(総)
	5111190	Law and Public Policy	客員准教授	佐藤 智晶	S1S2	2			E
	5111200	法制執務の基礎と応用-法治国家の政策対応	非常勤講師	外山 秀行	S1S2	2			実践科目
	5111210	Introduction to Japanese Law	特任教授	FOOTE Daniel	A1A2	2			(法)(総)E
	政治分野	5112010	*政治学I	教授	谷口 将紀	S1S2	2		
5112030		政治思想と公共政策	教授	菊部 直	S1S2	2			(法)(総)
5112040		政策分析	非常勤講師	田邊 國昭	S1S2	2			[科]
5112050		自治体行政学	教授	金井 利之	S1S2	2			(法)(総)実践科目
5112060		公共管理論I	教授	金井 利之	S1S2	2			実践科目
			非常勤講師	尾西 雅博					
5112070		公共管理論II		(未定)	A1A2	2			実践科目
5112080		ポリティカル・メソドロジー	教授	加藤 淳子	S1S2	2			(総)(総合文化)
5112090		国際行政論	教授	城山 英明	A1A2	2			(法)(総)
5112101		国際政治経済 I	教授	飯田 敬輔	S1S2	2			(法)(総)
5112102		国際政治経済 II	教授	樋渡 展洋	S1S2	2			
5112111	International Conflict Study	教授	藤原 帰一	S1S2	2			(法)(総)(学際)E	

	5112131	Science, Technology and Public Policy	教授	城山 英明	A1	2	(工)(新領域) [海][科]E	
			非常勤講師	ALEMANNO Alberto				
			特任准教授	松尾 真紀子				
	5112140	開発研究	教授	佐藤 仁	A1	2	(総合文化)(新領域)実践科目	
	5112150	政策過程論	非常勤講師	田邊 國昭	A1A2	2	[科]	
	5112170	現代日本政治	教授	谷口 将紀	S1S2	2	(法)(総)	
	5112181	Modern Japanese Diplomacy	教授	小原 雅博	A1A2	2	(法)(総)(学際)E	
	5112191	Policy Process and Negotiation	准教授	青木 尚美	S1S2	2	[科]実践科目E	
	5112195	Field Seminar in International Relations	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2	E	
			教授	青井 千由紀				
	5112211	Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process	客員教授	林 良造	A1A2	2	実践科目E	
	5112220	Governance and Development	非常勤講師	元田 結花	A1A2	2	E	
	5112241	Politics and Public Policy	准教授	前田 健太郎	A1A2	2	(法)(総)E	
	5112242-2	末期ロシア帝国の辺境統治	教授	松里 公孝	A1A2	2	(法)(総)	
	5112243-2	世界各地の準大統領制	教授	松里 公孝	S1S2	2	(法)(総)	
	5112250	Introduction to Social Science	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2集中	2	E	
	5112260	Introduction to International Politics	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2	2	E	
	5112265	Introduction to Public Management	准教授	青木 尚美	A1A2	2	E	
	5112270	Security Studies	教授	HENG Yee Kuang	A1A2	2	E	
経済分野	5113007	*Principles of Microeconomics	教授	小川 光	S1	2	E	
	5113009	*Principles of Macroeconomics	非常勤講師	吉野 直行	S2	2	E	
	5113016	*Microeconomics for Public Policy	教授	飯塚 敏晃	A1A2	4	E	
	5113017	*Practice Session for Microeconomics for Public Policy	教授	飯塚 敏晃	A1A2	1	E	
	5113018	*Macroeconomics for Public Policy	特任教授	加藤 涼	S1S2	4	E	
	5113019	*Practice Session for Macroeconomics for Public Policy	特任教授	加藤 涼	S1S2	1	E	
	5113021	Microeconomics	教授	渡辺 安虎	S1S2	4	E	
	5113031	Practice Session for Microeconomics	教授	渡辺 安虎	S1S2	1	E	
	5113041	*Macroeconomics	准教授	仲田 泰祐	A1A2	4	E	
	5113051	*Practice Session for Macroeconomics	准教授	仲田 泰祐	A1A2	1	E	
	5113060	*統計分析手法	非常勤講師	陣内 悠介	S1S2	4		
	5113061	*Statistical Methods	非常勤講師	FABINGER Michal	A1A2	4	E	
	5113065	*Practice Session for Statistical Methods	非常勤講師	FABINGER Michal	A1A2	1	E	
	5113074	Econometrics for Public Policy	教授	川口 大司	S1S2	4	E	
	5113075	Econometrics for Public Policy	非常勤講師	FU Rong	A1A2	4	E	
	5113084	Practice Session for Econometrics for Public Policy	教授	川口 大司	S1S2	1	E	
	5113085	Practice Session for Econometrics for Public Policy	非常勤講師	FU Rong	A1A2	1	E	
	5113090	公共政策の経済評価	教授	岩本 康志	A1A2	4	[科]実践科目	
	5113100	公共政策の経済評価実習	教授	岩本 康志	A1A2	1	[科]実践科目	
	5113152	International Trade Policy	講師	KUCHERYAVYY Konstantin	S1S2	2	(経)E	
5113161	International Financial Policy	准教授	植田 健一	A1	2	(経)E		
			特任教授	加藤 涼				
5113180	Development Economics: Microeconomic Approach	教授	高崎 善人	A1A2	2	(経)E		
5113190	Development Economics: Macroeconomic Approach	准教授	植田 健一	S1S2	2	(経)E		
5113195	Political Economy of Regime Change	講師	高木 悠貴	A1A2	2	(経)E		
5113240	Economic Analysis of Public Sector	教授	小川 光	A1A2	2	[科]E		
展開科目	法律分野	5121010	環境法	教授	中谷 和弘	S1S2	2	(法科)
				非常勤講師	大塚 直			
				非常勤講師	桑原 勇進			
	5121020	競争政策と法	教授	白石 忠志	S1S2	4	(法科)(総)	

	5121040	経済刑法	教授	樋口 亮介	A1A2	2	(法科)(総)
	5121050	公共哲学と法	教授	瀧川 裕英	A1A2	2	
	5121080	労働法政策	非常勤講師	濱口 桂一郎	S1S2	2	実践科目
	5121110	国際租税法	教授	増井 良啓	S1S2	2	(法科)(総)
	5121121	International Environmental Law	非常勤講師	佐藤 修二			E
	5121130	国際空間秩序と法	教授	高村 ゆかり	S1S2	2	(法科)(総)[海]
	5121150	ヨーロッパ法	教授	中谷 和弘	S1S2	2	(法科)(総)(総合文化)
	5121201	ヨーロッパ統合と法1	教授	伊藤 洋一	S1S2	2	(法科)(法)(総)
	5121202	ヨーロッパ統合と法2	教授	伊藤 洋一	A1A2	2	(法科)(総)
	5121227	国家と法の基本問題	非常勤講師	網谷 龍介			
	5121271	金融商品取引法	教授	石川 健治	A1A2	2	(法科)(法)(総)
	5121272	上級金融商品取引法	客員教授	大崎 貞和	S1S2	2	実践科目
	5121275	知的財産法演習	特任教授	三井 秀範	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
	5121290	医事法	教授	大渕 哲也	A1A2	2	(法科)(法)(総)実践科目
	5121291	医事法発展演習	教授	米村 滋人	S1S2	2	(法科)(法)(総)実践科目
	5121300	金融法	教授	米村 滋人	A1A2	2	(法)(総)実践科目
	5121380	法医学	教授	加藤 貴仁	A1A2	2	(法)(総)
	5121424	アメリカ信託・信認法	特任教授	三井 秀範			(法)
	5121433	証券市場法演習	非常勤講師	岩瀬 博太郎	A1A2	2	(法)
	5121436	国際商事仲裁	教授	溜箭 将之	A1A2	2	(法科)(総)
	5121450	企業法務	客員教授	大崎 貞和	A1A2	2	(法)(総)
	5121452	アジア・ビジネス法	非常勤講師	朱 大明			
	5121454	国際ビジネス法	教授	唐津 恵一	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
	5121461	Law and Society in East Asia	教授	唐津 恵一	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
	5121470	国際法の基本問題	教授	平野 温郎	A1A2	2	(法)(総)実践科目
	5121490	国際法実務演習	教授	唐津 恵一	S1S2	2	(法)(総)
	5121500	国際海洋法制度概論	教授	平野 温郎			
	5121510	コーポレートガバナンス	教授	松原 健太郎	S1S2	2	(法)(総)E
			教授	寺谷 広司	S1S2	2	(法科)(総)
			非常勤講師	岡野 正敬	S1S2	2	実践科目
			非常勤講師	北川 剛史			
			教授	西村 弓	S1S2	2	[海]
			非常勤講師	許 淑娟			
			非常勤講師	西本 健太郎			
			客員教授	林 良造	S1S2	2	
			客員教授	中原 裕彦			
			客員准教授	佐藤 智晶			
政治分野	5122011	市民社会組織・政策論	客員教授	田中 弥生	S1S2	2	[科]
	5122035	政府間関係論	教授	金井 利之	A1A2	2	(総)
	5122070	地域政治A (現代中国の政治)	教授	高原 明生	S1S2	2	(法)(総)(総合文化)(新領域)
	5122081	地域政治B (現代南アジアの政治)	非常勤講師	湯浅 剛	S1S2	2	(法)(総)
	5122083	地域政治B (現代朝鮮半島の政治)	教授	木宮 正史	S1S2	2	(法)(総)
	5122084	地域政治B (現代ラテンアメリカの政治)	教授	大串 和雄	S1S2	2	(法)(総)
	5122085	地域政治B (現代アフリカの政治)	教授	遠藤 貢	S1S2	2	(法)(総)
	5122092	地域政治C (現代アメリカの政治)	教授	久保 文明	A1A2	2	(法)(総)
	5122097	地域政治C (現代アメリカ政治特殊研究)	教授	久保 文明	S1S2	2	(総)
	5122110	自治体行政聴査	教授	金井 利之	A1A2	2	(法)(総)実践科目
	5122135	New Dimensions of Security in the Risk Age	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2	E
	5122136	U. S. Diplomacy toward Asia	非常勤講師	森 聡	A1A2	2	(総)(学際)E

	5122137	Ethics and International Relations	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2	2	E
	5122140	国際政治経済の諸問題	教授	飯田 敬輔	A1A2	2	(法)(総)
	5122158	Insurgency and Counterinsurgency	教授	青井 千由紀	S1S2	2	E
	5122159	Transformation of Warfare and Technology	教授	青井 千由紀	A1A2	2	E
	5122170	西欧比較政治論	教授	中山 洋平	A1A2	2	(法)(総)
	5122182	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	教授	高原 明生	S1S2	2	(法)(経学)実践科目E
			教授	五百旗頭 薫			
			非常勤講師	加藤 宏			
			非常勤講師	萱島 信子			
			非常勤講師	北岡 伸一			
			非常勤講師	北野 尚宏			
			非常勤講師	澤田 寛之			
			教授	西沢 利郎			
			教授	松原 健太郎			
			客員教授	林 良造			
			教授	牧原 出			
			非常勤講師	山田 順一			
	5122201-1	Contemporary Chinese Politics and Diplomacy	非常勤講師	林 載桓	A1A2	2	(法)(総)(新領域)(学際)E
	5122206	International Relations and Political Regimes	教授	樋渡 展洋	A1A2	2	E
	5122211	発展途上国の政治	教授	大串 和雄	S1S2	2	(法)(総)
	5122215	先進国の比較政治	非常勤講師	網谷 龍介	A1A2	2	(法)(総)
	5122226	Cross-Strait Relations	教授	松田 康博	S1	2	(総)(学際)E
	5122370	現代日本政治文献講読	教授	谷口 将紀	S1S2	2	(法)(総)
	5122375	Quantitative Social Science	教授	今井 耕介	S1S2集中	2	(法)(総)(総合文化)E
	5122384	Space Development and Public Policy	非常勤講師	菊地 耕一	A1A2	2	[科]E
			教授	城山 英明			
			教授	中須賀 真一			
	5122389	Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia	教授	NOBLE Gregory	A1A2	2	(法)(総)E
	5122394	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー	教授	平島 健司	A1A2	2	(総)(総合文化)
	5122400	Global Governance		(未定)	A1A2集中	2	
	5122402	Japan in Today's World	教授	藤原 帰一	S1S2集中	2	(法)(総)実践科目E
	5122501	海洋科学技術政策論	特任講師	山口 健介	A1A2	2	[海][科]実践科目
			教授	城山 英明			
	5122502	海事政策論	特任教授	長谷 知治	A1A2	2	[海]実践科目
経済分野	5123021	環境政策	教授	有馬 純	A1A2	2	(経学)
	5123026	再生可能エネルギーと公共政策	教授	有馬 純	S1S2	2	(経学)
	5123028	観光政策概論	客員教授	佐藤 善信	S1S2	2	[科]
			教授	大橋 弘			
	5123029	観光地域政策	客員教授	佐藤 善信	A1A2	2	[科]
			教授	大橋 弘			
	5123030	都市地域政策	特任教授	長谷 知治	A1A2	2	(経)
			教授	高橋 孝明			
			非常勤講師	河端 瑞貴			
			講師	中川 万理子			
	5123031	地域交通政策研究	客員教授	宿利 正史	A1A2	2	[科]
		特任教授	長谷 知治				
	5123032-1	Energy Security	教授	有馬 純	S1S2	2	実践科目E
		客員教授	田中 伸男				
	5123032-2	Energy Security	教授	有馬 純	A1A2	2	実践科目E

5123033	Energy Systems	客員教授 准教授 教授	田中 伸男 小宮山 涼一 藤井 康正	S2	2	(工)E
5123034	Resilience Engineering	准教授 教授	小宮山 涼一 古田 一雄	S1S2	2	(工)E
5123036	Advanced Topics in International Trade	特任講師	藤井 大輔	S1S2	2	(経)E
5123038	Data Science for Practical Economic Research	講師	KUCHERYAVY Konstantin	S1S2	2	(経)(経学)[科]E
5123042	International Trade	教授	古澤 泰治	A1A2	2	(経)E
5123045	Data Science and Machine Learning	非常勤講師	FABINGER Michal	A1A2	2	(経)(経学)E
5123046	食糧安全保障と農業政策	客員教授	山下 一仁	S1S2	2	実践科目
5123047	Behavioral Science for Public Policy	非常勤講師	大貫 真友子	S1S2	2	E
5123062	国際開発政策・評価論	非常勤講師	青柳 恵太郎	A1A2	2	実践科目
5123081	Political Economics	教授	渡辺 安虎	A1A2	2	(経)(経学)[科]E
5123171	日本の財政金融政策	教授 教授	小川 光 仲 浩史	S1S2	2	(経学)実践科目
5123172	Evolution of Global Economic Policies	客員教授	中尾 武彦	A1A2	2	実践科目E
5123211-2	Development Economics I (Foundations of Advanced Development Economics)	教授	澤田 康幸	S2	2	(経)(経学)(総合文化)E
5123215	Contemporary Issues in Development Economics	教授	CHEN Stacey	A1A2	2	E
5123221	家計とコミュニティの開発経済学	准教授	庄司 匡宏	A2	2	(経)
5123222	High Performance Computing with R	准教授	WEESE Eric	A1A2	2	(経)(経学)E
5123236	Topics on Modern Japanese Economy	教授	星 岳雄	A1	2	(経学)E
5123245	保健医療経済学	教授	康永 秀生	S1	2	(医)
5123250	エネルギー政策	客員教授 教授	小山 堅 有馬 純	S1S2	2	(経学)
5123256	Central Banking	非常勤講師	関根 敏隆	S1S2	2	(経)(経学)E
5123262	Asian Economic Development and Integration	非常勤講師	吉野 直行	A1A2	2	E
5123272	医療イノベーション政策	客員教授 教授 客員教授 客員教授 客員教授 客員准教授	大西 昭郎 鈴木 寛 岸本 充生 林 良造 佐藤 智晶	A1A2	2	[科]実践科目
5123275	イノベーションの経済学	非常勤講師	五十川 大也	S1集中	2	[科]
5123300	Asian Financial Markets	客員教授	河合 正弘	S1S2	2	E
5123311	Introduction to Auctions and Mechanism Design	講師	MARSZALEC Daniel	A1A2	2	(経)(経学)E
5123312-1	Essential Academic Skills: Writing and Research Planning	講師	MARSZALEC Daniel	A1	2	(経)(経学)E
5123312-2	Essential Academic Skills: Speaking and Presentation	講師	MARSZALEC Daniel	A2	2	(経)(経学)E
5123350	Public Policy and Energy	特任教授 客員教授 客員教授	芳川 恒志 BIROL Fatih 日下 一正	A1A2	2	実践科目E
5123400	Economic Analysis of Innovation	客員准教授	鎗目 雅	S1S2集中	2	[科]E
5123402	Advanced Time Series Analysis	教授	新谷 元嗣	A1A2	2	(経)(経学)E
5123405	Global Financial Regulation	客員教授	河合 美宏	A1A2	2	実践科目E
5123406	Financial System	教授	星 岳雄	S1S2	2	(経)(経学)E
5123433	Sovereign Debt	教授	西沢 利郎	A1A2	2	実践科目E
5123440	経済物理学	准教授 教授 特任講師	島田 尚 和泉 潔 坂地 泰紀	S1S2集中	2	実践科目

			非常勤講師	高安 秀樹					
			非常勤講師	高安 美佐子					
			非常勤講師	水田 孝信					
			非常勤講師	山田 健太					
			非常勤講師	金澤 輝代士					
	5123450	国際交通政策	客員教授	宿利 正史	S1S2	2			[科]
			特任教授	長谷 知治					
			教授	大橋 弘					
	5123471	Labor Economics	教授	川口 大司	A1A2	2			(経)E
	5123475	機械学習の実証経済学への応用	准教授	川田 恵介	A1A2	2			(経)(経学)
	5123480	コーポレートファイナンスと公共政策	非常勤講師	新井 富雄	A1A2	2			
	5123485	Environmental Economics	教授	高崎 善人	S1S2	2			E
	5123487	Economic Crisis	准教授	植田 健一	A2	2			(経)E
			特任教授	加藤 涼					
	5123488-1	金融市場と公共政策	特任教授	湯山 智教	S1S2	2			(経学)実践科目
	5123495	Monetary Policy	教授	青木 浩介	S1	2			(経)(経学)E
	5123497	Empirical Industrial Organization	講師	若森 直樹	S2	2			(経)E
	5123498	Advanced Industrial Organization	講師	若森 直樹	S1	2			(経)E
	5123499	Financial Markets and Institutions	特任教授	加藤 涼	A1A2	2			E
	5123502	Topics in Industrial Organization	教授	大橋 弘	A1A2	2			(経)E
実践科目	5130010	政策分析・立案の基礎		(未定)	A1A2	2			実践科目
	5130020-1	交渉と合意	客員教授	松浦 正浩	S1S2	2			[海][科]実践科目
	5130035	教育政策と教育法	教授	鈴木 寛	A1A2	2			実践科目
	5130072	Economic Structural Policy and Abenomics	客員教授	林 良造	S1S2	2			実践科目E
	5130076	International Organizations for Sustainable Development in the 21st Century	特任教授	芳川 恒志	A1A2	2			実践科目E
			特任准教授	ORSI Roberto					
			教授	城山 英明					
	5130092	Development Operations of the World Bank Group	教授	仲 浩史	S1S2	2			実践科目E
	5130095	消費者政策の現代的展開	客員教授	山田 正人	S1S2	2			実践科目
			客員教授	加納 克利					
			客員准教授	佐藤 智晶					
	5130120	精神保健学 I	教授	川上 憲人	S1S2	2			(医)実践科目
			准教授	西 大輔					
	5130200	Advanced Academic Writing	非常勤講師	FAYE Singh	A1A2	2			実践科目E
	5130205	Introduction to Academic Writing	非常勤講師	FAYE Singh	A1A2	2			実践科目E
	5130210	Presentations and Discussion	非常勤講師	FAYE Singh	S1S2	2			実践科目E
	5130220	Advanced Study of Science & Technology	教授	小林 廉毅	A1集中	2			[科]実践科目E
			教授	光石 衛					
			准教授	中富 浩文					
			教授	元橋 一之					
		教授	松橋 隆治						
		教授	古田 一雄						
		教授	加納 信吾						
		教授	丸山 茂夫						
		特任教授	李 廷秀						
5130230	Social Design and Global Leadership	教授	鈴木 寛	S1S2集中	2			[科]実践科目E	
		教授	城山 英明						
5130240	社会と健康I	准教授	近藤 尚己	A1	2			(医)実践科目	
		教授	橋本 英樹						
		教授	川上 憲人						

	5130241	社会と健康II	准教授	近藤 尚己	A2	2		(医)実践科目
	5130245	Global Health Policy	教授	橋爪 真弘	S1A1	2		(医)実践科目E
	5130248	Introduction to Cybersecurity Policy	客員教授	林 良造	S1S2	2		実践科目E
			客員教授	大西 昭郎				
			客員教授	高見澤 將林				
	5130250	Mathematics for Public Policy	非常勤講師	柿中 真	A1A2	1		実践科目E
	5130260	社会保障・人口問題の現代的諸相	非常勤講師	佐藤 格	A1A2	2		実践科目
	5130270	医療コミュニケーション学	教授	木内 貴弘	S1	2		(医)実践科目
			准教授	奥原 剛				
	5130290	International Projects	教授	加藤 浩徳	S2	2		(工)実践科目E
			講師	小松崎 俊作				
	5135030	CAMPUS Asia Joint Course: International Public Policy in East Asia	特任准教授	能勢 学	S1S2	4		実践科目E
	5139000	インターンシップ		各教員	通年	1		実践科目
事例研究	5140011	事例研究 (法政策I-A)	准教授	柳生 正毅	S1S2	2		実践科目
	5140012	事例研究 (法政策I-B)	准教授	柳生 正毅	S1S2	2		実践科目
	5140041	事例研究 (現代行政I)	客員教授	増田 寛也	A1A2	2		(総)
	5140060	事例研究 (現代行政III)	教授	金井 利之	通年	4		(法)(総)実践科目
	5140076	事例研究 (テクノロジーアセスメント)	客員教授	谷口 武俊	S1S2	4		(工)[科]
			特任准教授	松尾 真紀子				
	5140078	事例研究 (人工知能と社会)	特任講師	江間 有沙	S1S2	2		(総合文化)(情報理工)
			教授	國吉 康夫				(学際)[科]
			教授	佐倉 統				
			教授	城山 英明				
	5140079	Case Study (Cybersecurity)	客員教授	林 良造	A1A2	2		実践科目E
			客員教授	大西 昭郎				
			客員教授	高見澤 將林				
	5140090	事例研究 (外交政策I)	客員教授	齋木 尚子	S1S2	4		実践科目
	5140100	事例研究 (外交政策II)	客員教授	齋木 尚子	A1A2	4		実践科目
	5140105	事例研究 (現代日本外交演習)	教授	小原 雅博	S1S2	2		(法)(総)(総合文化)
	5140143	Case Study (International Political Economy)	教授	樋渡 展洋	S1S2	4		E
	5140165	事例研究 (デジタル時代の行政と社会)	教授	城山 英明	A1A2	2		(情報理工)[科]
			准教授	青木 尚美				
			教授	坂井 修一				
			非常勤講師	羅 芝賢				
	5140202	事例研究 (政策評価のための因果推論I)	教授	川口 大司	S1S2	2		★
5140203	事例研究 (政策評価のための因果推論II)	教授	川口 大司	A1A2	2		★	
5140205	事例研究 (公共経済政策：問題分析)	教授	小川 光	S1S2	2		実践科目★	
		非常勤講師	深澤 映司					
5140206	事例研究 (公共経済政策：解決策分析)	教授	小川 光	A1A2	2		実践科目★	
		非常勤講師	深澤 映司					
5140209	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)	教授	飯田 敬輔	A1A2	4		(法)(学際)E	
5140217	事例研究 (政治とマスメディア I)	教授	谷口 将紀	S1S2	2		(法)(総)実践科目	
		非常勤講師	吉田 貴文					
5140218	事例研究 (政治とマスメディア II)	教授	谷口 将紀	A1A2	2		(法)(総)実践科目	
		非常勤講師	吉田 貴文					
5140226	事例研究 (都市地域政策と 社会資本ファイナンス・問題分析)	客員教授	金本 良嗣	S1S2	2		実践科目★	
		非常勤講師	辻田 昌弘					
		特任教授	長谷 知治					
		非常勤講師	楠田 幹人					

5140256	事例研究（都市地域政策と 社会資本ファイナンス・解決策分析）	客員教授 非常勤講師 特任教授 非常勤講師	金本 良嗣 辻田 昌弘 長谷 知治 楠田 幹人	A1A2	2	実践科目★
5140280	事例研究（財政政策Ⅰ）	教授	岩本 康志	S1S2	2	実践科目★
5140286	Case Study (International Intellectual Property Management)	教授	渡部 俊也	A1A2	2	(工)実践科目E
5140298	Case Study (Japanese Macroeconomic Policy: Solutions to Monetary and Fiscal Policy Challenges)	非常勤講師	林 伴子	S1S2	2	実践科目E★
5140299	事例研究（日本のマクロデータによる政策分析）	非常勤講師 非常勤講師	林 伴子 梅溪 健児	A1A2	2	実践科目★
5140301	事例研究（医療政策・問題分析）	教授 教授	飯塚 敏晃 渡辺 安虎	S1S2	2	実践科目★
5140310	事例研究（財政政策Ⅱ）	教授	岩本 康志	A1A2	2	実践科目★
5140331	事例研究（医療政策・解決策分析）	教授 教授	飯塚 敏晃 渡辺 安虎	A1A2	2	実践科目★
5140346	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・政策分析入門）	客員教授 非常勤講師 特任教授 非常勤講師	金本 良嗣 辻田 昌弘 長谷 知治 楠田 幹人	S1S2	2	実践科目★
5140348	事例研究（金融システム分析）	特任教授	湯山 智教	S1S2	2	実践科目★
5140393	Case Study (Quantitative Macroeconomics I)	教授	楡井 誠	S1S2	2	E★
5140394	Case Study (Quantitative Macroeconomics II)	教授	楡井 誠	A1A2	2	E★
5140395	事例研究（資本市場と公共政策）	客員教授	小野 傑	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
5140396	事例研究（金融資本市場論）		(未定)	A1A2	2	実践科目★
5140397-1	事例研究（信託法に関する実務上の諸問題）	非常勤講師	水野 大	S1S2	2	(法)(総)実践科目
5140398	Case Study (Macro-Financial Linkages)	准教授 准教授	植田 健一 仲田 泰祐	A1A2	2	E★
5140399	Case Study (Macroeconomic Policy for Practitioners)	非常勤講師 教授	SCHIFF Jerald 西沢 利郎	S2	2	実践科目E★
5140404-3	Case Study (Foreign Policy of Japan)	非常勤講師	竹内 春久	A1A2	2	実践科目E
5140412	Case Study (International Financial Institutions)	客員教授	河合 美宏	A1A2	2	実践科目E★
5140414	事例研究（企業の技術戦略と国際公共政策）	非常勤講師 客員教授	中川 淳司 米谷 三以	S1S2	2	[科]実践科目
5140415	事例研究（国際経済ルールの形成と利用）	非常勤講師 客員教授	中川 淳司 米谷 三以	A1A2	2	(法科)実践科目
5140416	Case Study (Global Financial Policy Making)	客員教授	河合 美宏	A1A2	2	実践科目E★
5140485	事例研究（政策環境・事業環境検討手法と してのシナリオプランニング：理論と実践）	客員教授 非常勤講師	角和 昌浩 杉野 綾子	S1S2	2	[科]実践科目
5140486	Case Study (Business Environment, Stakeholders and Issues: a Learning Experience in Collaboration with Japanese Industry)	非常勤講師	九門 崇	A1A2	2	[科]実践科目E
5140488	Case Study (Public-Private Partnerships)	教授	西沢 利郎	S1S2	2	実践科目E★
5140494	事例研究（アメリカ政治外交史演習）	教授	久保 文明	通年	4	(法)(総)実践科目
5140498	Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy)	特任教授	鎌江 伊三夫	A1A2	2	[科]E★
5140500	事例研究（海洋問題演習Va）	教授 特任講師	木村 伸吾 山口 健介	S1S2	2	[海]実践科目
5140501	事例研究（海洋問題演習Vb）	教授 特任講師	木村 伸吾 山口 健介	A1A2	2	[海]実践科目
5140503	事例研究（アメリカ政治におけるメディアの役割）	教授	久保 文明	A1A2	2	実践科目

5140600	事例研究 (科学技術イノベーション政策研究)	非常勤講師 特任准教授	山脇 岳志 松尾 真紀子	A1A2	2	(工)[科]実践科目
5140611	事例研究 (科学技術と政治・行政 II)	非常勤講師 教授	牧岡 亮 城山 英明	S1S2	2	(法)(総)[科]
5140700-1	Case Study (International Energy Governance)	教授	有馬 純	S1S2	2	実践科目E
5140700-2	Case Study (International Energy Governance)	客員教授 教授	田中 伸男 有馬 純	A1A2	2	実践科目E
5140715	事例研究 (コーポレートガバナンス)	客員教授 客員教授	田中 伸男 林 良造	A1A2	2	
5140723	Case Study (Finance and Development in Emerging Asia)	客員教授 教授	中原 裕彦 西沢 利郎	A1A2	2	実践科目E★
5140730-1	Case Study (International Field Workshop)	教授	西沢 利郎	S2集中	2	実践科目E
5140730-2	Case Study (International Field Workshop)	教授	西沢 利郎	A2集中	2	実践科目E
5140735	Case Study (GraSPP Policy Challenge: Global Innovative Public Policy Solutions)	教授	鈴木 寛	A2集中	2	[科]実践科目E
5140738	Case Study (Writing Public Policy Cases for SDGs)	特任准教授 教授	ORSI Roberto 西沢 利郎	S1S2	2	実践科目E
5140739	Case Study (GraSPP SDGs Fieldwork)	非常勤講師 非常勤講師 特任准教授	K. E. SEETHARAM 福井 龍 ORSI Roberto	A2集中	2	実践科目E
5140741	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)	教授	鈴木 寛	A1A2集中	2	[科]実践科目E
5140751	事例研究 (社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 I)	非常勤講師 教授	五十棲 浩二 城山 英明	S2集中	2	実践科目
5140752	事例研究 (社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 II)	教授	青木 尚美	A1A2	2	実践科目
5140765	Case Study (Comparative Constitutional Design)	教授	鈴木 寛	A1A2	2	(総)(学際)E
5140771	Case Study (Current Global Economic Issues)	教授 准教授	MCELWAIN Kenneth Mori 植田 健一	A1A2	2	E★
5140790-1	Case Study (Development Economics and Policy I)	准教授 教授	仲田 泰祐 高崎 善人	S1S2	2	E★
5140791-1	Case Study (Development Economics and Policy II)	教授	高崎 善人	A1A2	2	E★
5150010	リサーチペーパー		各教員	通年	2	
5150011	Research Paper		各教員	年度跨り	2	
5150020	研究論文		各教員	通年	6	
5150021	Thesis		各教員	年度跨り	6	

- ※ (法科)は、法科大学院との合併授業を示す。
(総)は、法学政治学研究科総合法政専攻との合併授業を示す。
(法)は、法学部との合併授業を示す。
(経)は、経済学研究科との合併授業を示す。
(経学)は、経済学部との合併授業を示す。
(人文)は、人文社会系研究科との合併授業を示す。
(教育学)は、教育学研究科との合併授業を示す。
(総合文化)は、総合文化研究科との合併授業を示す。
(教養)は、教養学部後期課程との合併授業を示す。
(工)は、工学系研究科との合併授業を示す。
(医)は、医学系研究科との合併授業を示す。
(新領域)は、新領域創成科学研究科との合併授業を示す。
(情報理工)は、情報理工学系研究科との合併授業を示す。
(学際)は、学際情報学府との合併授業を示す。
[海]は、海洋学際教育プログラムを示す。

[科]は、科学技術イノベーション政策の科学教育プログラムを示す。

Eは、英語で行われる授業科目を示す。

★は、経済系の事例研究の授業科目を示す。

*印は未修者対象の授業科目を示す。

国際公共政策学専攻/Doctoral course

	科目番号	授業科目	担当教員		学期	単位数			備考	
			職名	氏名		講義	演習	実習		
共通研究科目	必修	5170001	教授	HENG Yee Kuang	A1A2		2			
		5170002	教授	青井 千由紀	A1A2		2			
		5170003			通年		6			
		5170004	国際公共政策研究							
専門応用科目	選択	▼国際金融・開発研究：経済学系								
		5171001	Economic Crisis	准教授	植田 健一	A2	2			
				特任教授	加藤 涼					
		5171003	International Financial Policy	准教授	植田 健一	A1	2			
				特任教授	加藤 涼					
		5171004	Development Economics: Microeconomic Approach	教授	高崎 善人	A1A2	2			
		5171005	Development Economics: Macroeconomic Approach	准教授	植田 健一	S1S2	2			
		5171006-2	Development Economics I (Foundations of Advanced Development Economics)	教授	澤田 康幸	S2	2			
		5171007	Monetary Policy	教授	青木 浩介	S1	2			
		5171008	International Trade Policy	講師	KUCHERYAVYY Konstantin	S1S2	2			
		5171009	Central Banking	非常勤講師	関根 敏隆	S1S2	2			
		5171011	Advanced Industrial Organization	講師	若森 直樹	S1	2			
		5171012	Environmental Economics	教授	高崎 善人	S1S2	2			
		5171013	Macro Contract Theory and Empirics	准教授	植田 健一	S1S2	2			
		5171014	Advanced Topics in International Trade	特任講師	藤井 大輔	S1S2	2			
		5171015	国際開発政策・評価論	非常勤講師	青柳 恵太郎	A1A2	2			
		5171016	Development Operations of the World Bank Group	教授	仲 浩史	S1S2	2			
		5171017	Topics in International Trade	教授	古澤 泰治	A1A2	2			
		5171018	Advanced Time Series Analysis	教授	新谷 元嗣	A1A2	2			
		5171019	家計とコミュニティの開発経済学	准教授	庄司 匡宏	A2	2			
		5171020	Topics in Industrial Organization	教授	大橋 弘	A1A2	2			
		5171021	Macro-Financial Linkages	准教授	植田 健一	A1A2		2		
				准教授	仲田 泰祐					
		5171022	Current Global Economic Issues	准教授	植田 健一	S1S2		2		
				准教授	仲田 泰祐					
		5171023	Data Science for Practical Economic Research	講師	KUCHERYAVYY Konstantin	S1S2	2			
		5171024	Data Science and Machine Learning	非常勤講師	FABINGER Michal	A1A2	2			
		5171026	Evolution of Global Economic Policies	客員教授	中尾 武彦	A1A2	2			
		5171027	Political Economy of Regime Change	講師	高木 悠貴	A1A2	2			
		5171028	Contemporary Issues in Development Economics	教授	CHEN Stacey	A1A2	2			
				▼国際金融・開発研究：政治学系						
		5172001	International Relations and Political Regimes	教授	樋渡 展洋	A1A2	2			
5172002	Governance and Development	非常勤講師	元田 結花	A1A2		2				
5172003	開発研究	教授	佐藤 仁	A1		2				
		▼国際金融・開発研究：法学系								
5173001	国際経済法	教授	中谷 和弘	A1A2	2					
		教授	伊藤 一頼							
		▼国際金融・開発研究：学際系								
5174001	International Projects	教授	加藤 浩徳	S2	2					
		講師	小松崎 俊作							

5174002	International Intellectual Property Management	教授	渡部 俊也	A1A2	2		
5174003	経済物理学	准教授	島田 尚	S1S2集中	2		
		教授	和泉 潔				
		特任講師	坂地 泰紀				
		非常勤講師	高安 秀樹				
		非常勤講師	高安 美佐子				
		非常勤講師	水田 孝信				
		非常勤講師	山田 健太				
		非常勤講師	金澤 輝代士				
5174004	Behavioral Science for Public Policy	非常勤講師	大貫 真友子	S1S2	2		
	▼国際安全保障研究：政治学系						
5175001	Security Studies	教授	HENG Yee Kuang	A1A2	2		
5175002	New Dimensions of Security in the Risk Age	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2		
5175003	Insurgency and Counterinsurgency	教授	青井 千由紀	S1S2	2		
5175004	Transformation of Warfare and Technology	教授	青井 千由紀	A1A2	2	2	
5175005	International Conflict Study	教授	藤原 帰一	S1S2	2		
5175006	Science, Technology and Public Policy	教授	城山 英明	A1	2		
		非常勤講師	ALEMANNO Alberto				
		特任准教授	松尾 真紀子				
5175007-1	Contemporary Chinese Politics and Diplomacy	非常勤講師	林 載桓	A1A2	2		
5175010	国際政治経済の諸問題	教授	飯田 敬輔	A1A2	2		
5175011	アメリカ政治外交史演習	教授	久保 文明	通年	4		
	▼国際安全保障研究：法学系						
5176001	国際組織と法	教授	森 肇志	S1S2	2		
5176002	国際人権法	教授	寺谷 広司	S1S2	2		
5176004	International Environmental Law	教授	高村 ゆかり	S1S2	2		
	▼国際安全保障研究：経済学系						
	▼国際安全保障研究：学際系						
5178001	Resilience Engineering	准教授	小宮山 涼一	S1S2	2		
		教授	古田 一雄				
5178002	Energy Systems	准教授	小宮山 涼一	S2	2		
		教授	藤井 康正				
5178003	Global Health Policy	教授	橋爪 真弘	S1A1	2		
	▼科学技術政策研究：政治学系						
5171101	Governance and Development	非常勤講師	元田 結花	A1A2	2		
5171102	開発研究	教授	佐藤 仁	A1	2		
5171103	New Dimensions of Security in the Risk Age	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2		
5171104	Transformation of Warfare and Technology	教授	青井 千由紀	A1A2	2		
5171105	Science, Technology and Public Policy	教授	城山 英明	A1	2		
		非常勤講師	ALEMANNO Alberto				
		特任准教授	松尾 真紀子				
5171106	国際政治経済の諸問題	教授	飯田 敬輔	A1A2	2		
5171107	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	教授	高原 明生	S1S2	2		
		教授	五百旗頭 薫				
		非常勤講師	加藤 宏				
		非常勤講師	萱島 信子				
		非常勤講師	北岡 伸一				
		非常勤講師	北野 尚宏				
		非常勤講師	澤田 寛之				

		教授	西沢 利郎				
		教授	松原 健太郎				
		客員教授	林 良造				
		教授	牧原 出				
		非常勤講師	山田 順一				
5171108	Space Development and Public Policy	非常勤講師	菊地 耕一	A1A2	2		
		教授	城山 英明				
5171109	Global Governance	教授	中須賀 真一				
5171110	海洋科学技術政策論		(未定)	A1A2集中	2		
		特任講師	山口 健介	A1A2	2		
		教授	城山 英明				
5171111	テクノロジーアセスメント	客員教授	谷口 武俊	S1S2		4	
		特任准教授	松尾 真紀子				
5171112	人工知能と社会	特任講師	江間 有沙	S1S2		2	
		教授	國吉 康夫				
		教授	佐倉 統				
		教授	城山 英明				
5171113	International Political Economy	教授	樋渡 展洋	S1S2		4	
5171114	デジタル時代の行政と社会	教授	城山 英明	A1A2		2	
		准教授	青木 尚美				
		教授	坂井 修一				
		非常勤講師	羅 芝賢				
5171115	Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy	特任教授	鎌江 伊三夫	A1A2		2	
	▼科学技術政策研究：法学系						
5172102	International Environmental Law	教授	高村 ゆかり	S1S2	2		
5172103	企業の技術戦略と国際公共政策	非常勤講師	中川 淳司	S1S2		2	
		客員教授	米谷 三以				
	▼科学技術政策研究：経済学系						
5173101	Advanced Industrial Organization	講師	若森 直樹	S1	2		
5173102	Environmental Economics	教授	高崎 善人	S1S2	2		
5173103	Development Operations of the World Bank Group	教授	仲 浩史	S1S2	2		
5173104	Topics in Industrial Organization	教授	大橋 弘	A1A2	2		
5173105	Data Science for Practical Economic Research	講師	KUCHERYAVYY Konstantin	S1S2	2		
5173106	Data Science and Machine Learning	非常勤講師	FABINGER Michal	A1A2	2		
5173107	High Performance Computing with R	准教授	WEESE Eric	A1A2	2		
5173108	Economic Analysis of Innovation	客員准教授	鎗目 雅	S1S2集中	2		
	▼科学技術政策研究：学際系						
5174101	International Projects	教授	加藤 浩徳	S2	2		
		講師	小松崎 俊作				
5174102	International Intellectual Property Management	教授	渡部 俊也	A1A2	2		
5174103	Resilience Engineering	准教授	小宮山 涼一	S1S2	2		
		教授	古田 一雄				
5174104	Energy Systems	准教授	小宮山 涼一	S2	2		
		教授	藤井 康正				
5174105	Global Health Policy	教授	橋爪 真弘	S1A1	2		
5174106	経済物理学	准教授	島田 尚	S1S2集中	2		
		教授	和泉 潔				
		特任講師	坂地 泰紀				
		非常勤講師	高安 秀樹				

			非常勤講師	高安 美佐子				
			非常勤講師	水田 孝信				
			非常勤講師	山田 健太				
			非常勤講師	金澤 輝代士				
実践 科目		▼国際公共政策実践研究						
	5179001	Social Design and Global Leadership	教授	鈴木 寛	S1S2集中	2		
	5179002	Public-Private Partnerships	教授	城山 英明				
	5179003	GraSPP Policy Challenge: Global Innovative Public Policy Solutions	教授	西沢 利郎	S1S2	2		
			教授	鈴木 寛	A2集中	2		
			特任准教授	ORSI Roberto				
	5179004-1	International Field Workshop	教授	西沢 利郎	S2集中	2		
	5179004-2	International Field Workshop	教授	西沢 利郎	A2集中	2		
	5179005	Writing Public Policy Cases for SDGs	教授	西沢 利郎	S1S2	2		
			非常勤講師	K. E. SEETHARAM				
			非常勤講師	福井 龍				
	5179006	Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions	教授	鈴木 寛	A1A2集中	2		
			非常勤講師	五十棲 浩二				
			教授	城山 英明				
			准教授	青木 尚美				
	5179007	GraSPP SDGs Fieldwork	特任准教授	ORSI Roberto	A2集中	2		
	5179008	Introduction to Cybersecurity Policy	客員教授	林 良造	S1S2	2		
		客員教授	大西 昭郎					
5179009	Cybersecurity	客員教授	林 良造	A1A2	2			
		客員教授	大西 昭郎					
5179010-1	Energy Security	教授	有馬 純	S1S2	2			
		客員教授	田中 伸男					
5179010-2	Energy Security	教授	有馬 純	A1A2	2			
		客員教授	田中 伸男					
5179011	医療イノベーション政策	客員教授	大西 昭郎	A1A2	2			
		教授	鈴木 寛					
		客員教授	岸本 充生					
		客員教授	林 良造					
		客員准教授	佐藤 智晶					

Contents

Year Schedule and Class Hours	-----	33
Completion Requirements	-----	34
Course Registration	-----	38
Procedures for Academic Matters	-----	40
Various Contact Information List	-----	45
GraSPP Room Use Guidelines	-----	46
Important Reminder on the Course Registration	-----	49
Class Summaries	-----	51

※ Refer to GraSPP website for class schedules.

Refer to UTAS and GraSPP website for details of Class Summaries. Confirm the notice of bulletin board, always, because important messages including class cancellation, classroom change, and administrative procedures are posted (See "Procedures for Academic Matters") .

Bulletin Board of GraSPP is

- on the Website of GraSPP

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-bulletin-board/>

- on the 13F of International Academic Research Bldg.

2020/2021 Academic Year Schedule and Class Hours

Academic schedule

[S1S2] Classes April 3 (Fri) – July 9 (Thu)

[S1] Classes April 3 (Fri) – June 1 (Mon)

[S2] Classes June 2 (Tue) – July 20 (Mon)

April 29(Wed)	no class day, Public holidays
May 3(Sun) – May 6(Wed)	no class day, Public holidays
May 7(Thu)	Wednesday classes will be held
May 15(Fri) PM – 17(Sun)	no class day, GOGATSU-SAI
July 3(Fri) AM	S1S2, no class day (PM classes will be held) S2, normal class day

[A1A2] Classes September 25 (Fri) – January 7 (Thu)

[A1] Classes September 25 (Fri) – November 18 (Wed)

[A2] Classes November 19 (Thu) – January 18 (Mon)

November 3(Tue)	no class day, Public holiday
November 23(Mon)	no class day, Public holiday
December 25(Fri)	A1A2, no class day A2, normal class day
December 28(Mon) – January 3(Sun)	no class day
January 4(Mon)	A1A2, no class day A2, normal class day
January 6(Wed)	A1A2, no class day A2, normal class day
January 7(Thu)	Monday classes will be held
January 11(Mon)	no class day, Public holiday A1A2, outside of classes term
January 15(Fri)	no class day A1A2, outside of classes term

- ※ In principle, examinations are held during the last class of the term/semester.
- ※ With respect to combined courses offered by other faculties and graduate schools, examinations will be held during the periodical examination periods set by each respective faculty and graduate school.

Class hours

Period 1:	8:30 – 10:15	Period 4:	14:55 – 16:40
Period 2:	10:25 – 12:10	Period 5:	16:50 – 18:35
Period 3:	13:00 – 14:45	Period 6:	18:45 – 20:30

Completion Requirements

In order to complete the program of study at the Graduate School of Public Policy (GraSPP), you must be enrolled for **two years or longer and earn 46 course credits or more.** In addition, you must complete the required courses in your program (sub-specialization) and policy stream when applicable, and earn credits for them.

You may include up to eight credits earned for courses taken at the University of Tokyo's any other graduate schools or the Interfaculty Initiative in Information Studies, or faculties when calculating the required credits for completion of the GraSPP degree.

You cannot register more than 38 credits of courses in one academic year. This includes credits for Research Paper, Thesis, and/or Internship as well. Please refer to the University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy in regards to credits obtained at another graduate school or obtained before admission to the Graduate School.

Take note that you basically cannot register for courses which have the same name as the courses for which you have already earned credits for.

Program-specific completion requirements:

- ※ A module which meets more than one completion requirement will be counted as meeting all relevant completion requirements.
- ※ Take note that if a course is not listed in the Class Subject List, it is not held in this academic year.

○ International Program (MPP/IP)

for students who enrolled in MPP/IP on or after April 1, 2017

<NOTES>

Students must complete the required courses and gain credits for them in one of the policy streams of their choice from Economic Policy, Finance and Development (EPFD) or Public Management and International Relations (PMIR).

< Economic Policy, Finance and Development (EPFD) >

Required credits number	Completion Requirements
6 credits	<p>Completion of Law and Political Science courses listed below (6 credits, including 2 credits obtained for one of the compulsory elective courses indicate with * below)</p> <p><i>Public Management</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Politics and Public Policy* • Introduction to Public Management* • Introduction to Social Science • Comparative Political Parties and Elections • Policy Process and Negotiation • Science, Technology and Public Policy • Governance and Development • Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process • Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia

	<p><i>International Relations</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Introduction to International Politics* • International Conflict Study* • Field Seminar in International Relations* • International Relations and Political Regimes • Modern Japanese Diplomacy • Security Studies • Insurgency and Counterinsurgency • Contemporary Chinese Politics • Contemporary Chinese Diplomacy • International Politics in East Asia • Conflict Prevention and Post Conflict Politics • Global Governance • New Dimensions of Security in the Risk Age • Transformation of Warfare and Technology • U.S. Diplomacy toward Asia • Asia-Pacific Security • Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy • Japan in Today's World • <p><i>Law</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Law and Public Policy • Public International Law and Domestic Implementation • International Environmental Law • Introduction to Japanese Law • Law and Society in East Asia •
12 - 15 credits	<p>I. Completion of Basic Economics Courses listed below (12-15 credits from all the three groups 1 to 3)</p> <p>1 A or B or C</p> <p>A Microeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Microeconomics for Public Policy (1 credit)</p> <p>B Microeconomics (4 credits) and Practice Session for Microeconomics (1 credit)</p> <p>C Microeconomics I (2 credits) and Microeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>2 A or B or C</p> <p>A Macroeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics for Public Policy (1 credit)</p> <p>B Macroeconomics (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics (1 credit)</p> <p>C Macroeconomics I (2 credits) and Macroeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>3 A or B or C</p> <p>A Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit)</p> <p>B Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit)</p>

	C Econometrics I (2 credits) and Econometrics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics
8 credits	A minimum of eight credits of Case Studies offered by GraSPP
28 credits	A minimum of twenty-eight credits of courses taught in English (28 credits out of 46, double-countable)
4 credits	A minimum of four credits of courses categorized as Practical Training (4 credits out of 46, double-countable)

< Public Management and International Relations (PMIR) >

Required credits number	Completion Requirements
10 credits	<p>Completion of Law and Political Science courses listed below</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A and B (4 credits) <ol style="list-style-type: none"> A. Politics and Public Policy (2 credits) ; or Introduction to Public Management Note: If you have completed and earned credits for Politics and Public Policy given by Faculty of Law, you do not need to take this course in the GraSPP Program. B. Compulsory elective courses (Choose one): Introduction to International Politics (2 credits); or International Conflict Study (2 credits); or Field Seminar in International Relations (2 credits) 2. Choose three courses from Law and Political Science courses listed below, but not to be taken twice. (6 credits) <p><i>Public Management</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Politics and Public Policy • Introduction to Public Management • Introduction to Social Science • Comparative Political Parties and Elections • Policy Process and Negotiation • Science, Technology and Public Policy • Governance and Development • Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process • Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia <p><i>International Relations</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Introduction to International Politics* • International Conflict Study* • Field Seminar in International Relations* • International Relations and Political Regimes • Modern Japanese Diplomacy • Security Studies • Insurgency and Counterinsurgency • Contemporary Chinese Politics • Contemporary Chinese Diplomacy • International Politics in East Asia • Conflict Prevention and Post Conflict Politics • Global Governance

	<ul style="list-style-type: none"> • New Dimensions of Security in the Risk Age • Transformation of Warfare and Technology • U.S. Diplomacy toward Asia • Asia-Pacific Security • Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy • Japan in Today's World • <p><i>Law</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Law and Public Policy • Public International Law and Domestic Implementation • International Environmental Law • Introduction to Japanese Law • Law and Society in East Asia •
8 - 10 credits	<p>I. Completion of Basic Economics Courses listed below (8-10 credits when the option 1 is chosen or 9 credits with the option 2)</p> <p>1 Choose two out of A, B or C</p> <p>A Microeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Microeconomics for Public Policy (1 credit); or Microeconomics (4 credits) and Practice Session for Microeconomics (1 credit); or the set of Microeconomics I (2 credits) and Microeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>B Macroeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics for Public Policy (1 credit); or Macroeconomics (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics (1 credit); or the set of Macroeconomics I (2 credits) and Macroeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>C Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit); or Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit); or the set of Econometrics I (2 credits) and Econometrics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>2 The following three courses</p> <p>A Principles of Microeconomics (2 credits)</p> <p>B Principles of Macroeconomics (2 credits)</p> <p>C Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit); or Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit)</p>
8 credits	A minimum of eight credits of Case Studies offered by GraSPP
28 credits	A minimum of twenty-eight credits of courses taught in English (28 credits out of 46, double-countable)
4 credits	A minimum of four credits of courses categorized as Practical Training (4 credits out of 46, double-countable)

Course Registration

You should register your courses online using the UTAS system on the internet. You will need a user ID and password to log onto UTAS. These are noted in the "Password Notice" which was distributed during the new student orientation session.

Registration period

- (1) From your personal computer, log onto UTAS using the URL below to register your courses. Intensive courses registration period is the same as regular courses registration period.

S1, S1S2 and year-round courses: April 10 (Fri) – April 16 (Thu)

S2 courses: June 9 (Tue) – June 15 (Mon)

A1, A1A2 courses: October 2 (Fri) – October 8 (Thu)

A2 courses and W courses: November 26 (Thu) – December 2 (Wed)

[UT–mate URL]

https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en_US

- (2) The consent from an academic advisor is required to register for “Research Paper”, “Thesis”, and “Internship”. Please submit your application form to the GraSPP Office for registration. (Your registration via UTAS is unnecessary.)
The registration procedure and period for “Research Paper” and “Thesis” will be announced via Current Students webpage. Further information on report writing requirements and the schedule will also be announced via Current Students webpage.

Internship applications are accepted as needed. Details on application procedures will be announced via Current Students webpage.

- (3) If you are experiencing difficulties with registration of courses via UTAS, please first check the syllabus or with the respective graduate school administrative offices on your eligibility to take those courses, then contact GraSPP Office within the registration period.

Course registration withdrawal period

If you wish to withdraw from any of the courses in which you have registered according to Registration period mentioned above, you must de-register them using the UTAS system during this period. **Changes or additions to registration of courses are not allowed during this period. Besides, withdraw beyond this period is not permitted.**

S1, S1S2 and year-round courses: April 20 (Mon) – April 23 (Thu)

S2 courses: June 22 (Mon) – June 25 (Thu)

A1, A1A2 courses: October 12 (Mon) – October 15 (Thu)

A2 and W courses: December 7 (Mon) – December 10 (Thu)

However, withdrawal of Intensive courses does not apply to the withdrawal period indicated above. When you cannot withdraw intensive courses via UTAS because of outside of the withdrawal period, please notify to Graduate School Office by email. Please note that the email should be sent by the end of the 1st class day of the course. Any request for withdrawal after the 1st class day of the course will not be accepted. If there is any specific announcement given by the faculty of the course regarding withdrawal such as in the syllabus, such announcement will override the rule mentioned above. If intensive courses are offered from other faculties or schools, the rules at such faculties or schools will be prioritized.

[IMPORTANT] Maximum amount of credits

At GraSPP, maximum amount of credits that students can register per academic year* is 38 in order for students to achieve in systematic manner.

This includes credits for Research Paper, Thesis and Internship which registration is done outside of the registration period. The amount of credits are counted after the withdrawal period and not after the registration period. Courses students received M or F in previous semester shall also be counted as part of the maximum amount of credits.

***Fall enrolled students: academic year will be counted from fall.**

Caution: Registration of Courses with Other Faculties and Graduate Schools

You cannot take courses for those case studies of Faculty of Law which are not joint curricular courses with GraSPP.

As the grades reporting period differ amongst faculties/graduate schools, there is a possibility that you will not be able to complete in time should your grades cannot be ascertained by the completion assessment period. Students in their final semester of studies should not take courses from other faculties or graduate schools as part of your credits required for completion. Those credits are NOT counted as required credits for completion.

Information: Courses for “Research Paper” and “Thesis”

In AY2020/2021, GraSPP will offer three courses to strengthen English writing skills, presentation skills and effective delivery of works.

Students, especially those who are willing to submit either Research Paper or Thesis or those who seek to enroll in a PhD program, are advised to consider taking the course(s) below.

※Please check syllabus in the UTAS for more details.

Course Title : Essential Academic Skills: Writing and Research Planning

Course Number : 5123312-1

Name of Lecturer : MARSZALEC Daniel Janusz

Course Title : Advanced Academic Writing

Course Number : 5130200

Name of Lecturer : FAYE Singh

Course Title : Introduction to Academic Writing

Course Number : 5130205

Name of Lecturer : FAYE Singh

Procedures for Academic Matters

Registration and change of address, telephone number and e-mail address:

- (1) Once you receive a notice of your UTAS password, you must promptly register your address, telephone number and e-mail address through the UTAS system.
- (2) GraSPP Office may contact you via e-mail or telephone when necessary. **Be sure to check your e-mail address registered to UTAS.**
- (3) When critical matters arise (i.e. regarding completion requirements) or urgent issues occur, GraSPP Office will contact via e-mail or telephone respectively. It is crucial that student register e-mail address and telephone number at all times in UTAS and update in case of change in e-mail address and telephone number.

Student Contact (Announcements etc.):

- (1) GraSPP students bulletin board webpage is to be checked daily by students as information on academic matters, scholarship, commencement ceremony information etc. are posted frequently.
- (2) Please also check information on examinations and cancellation of classes etc. of the joint curricular courses with other faculties and graduate schools, which are announced at their various respective bulletin boards.

Issuance of certificates:

- (1) Some certificates, such as student records, student identification, and expectation of completion, as well as student fare cards are issued immediately by the automatic certificate dispenser.
* An expectation of completion certificate can be issued for only the second year.
- (2) Your PIN for the automatic certificate dispenser is the same as the UTAS password.
- (3) Other certificates are issued according to a "Application for Certificate" as follows.
Certificates in Japanese: Issued next day (except Saturdays, Sundays and holidays)
Certificates in English: Issued in a week (except Saturdays, Sundays and holidays)

Tuition Payments:

- (1) Tuition payments are made twice a year for the summer semester (April – September) and the winter semester (October – March) and one half of the annual amount must be paid each in May and November.
- (2) Payment by automatic remittance from an account registered based on a tuition deposit account remittance request form.
- (3) Account remittance dates are May 27 for the summer semester and November 27 for the winter semester (or the next business day if the payment date is a financial institution non-business day).
- (4) Please be sure to deposit an amount equal to the tuition payment in the relevant account at least one the day prior to the remittance date.
※ **There will not be notifications for each deduction of tuition fees.**

* Reference: https://www.u-tokyo.ac.jp/en/prospective-students/tuition_fees.html

Scholarship Matters: ※ (mainly for Japanese Students)

- (1) Primarily, scholarships are available under UT's in-house scholarship schemes, Japan Student Services Organization (JASSO), Local Public Organizations or Public Interest Organizations.
- (2) Please check GraSPP Current Students webpage on your own for information on application procedures and schedule etc, which will be announced when available.

※ **International Students should be careful of information from International Student Adviser. Please ask International Student Adviser if you want to know the details.**

* Reference: <https://www.u-tokyo.ac.jp/en/prospective-students/scholarships.html>

Changes on your student registration status:

If you wish to request permission for temporary withdrawal, study abroad, change of division, or extension of your enrollment period, you must submit a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission one month in advance of the commencement of the requested leave. For more information, see the sections relating to the procedures for “temporary withdrawal”, “foreign travel”, “changing program” and “extension of enrollment period” below.

Travel abroad:

When you travel abroad or go back to your home country except for studying at overseas universities, you must submit a "Notice of Travelling Abroad" beforehand.

GraSPP Graduate School Office

Office hours: 9:00 – 17:00

(Except Saturdays, Sundays, holidays, the New Year holidays and the day of entrance exam)

E-mail: ppin@j.u-tokyo.ac.jp

Phone: 03-5841-1349 (same as office hours)

- Procedures for temporary withdrawal

If you wish to temporarily withdraw from your degree, you should keep the following in mind:

1. Procedures

If you wish to temporarily withdraw from your study at GraSPP, by one month before submit a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission.

For the criteria regarding the granting of permission for temporary withdrawal, refer to the “Criteria for Granting Permission for Temporary Withdrawal by Student” and the “Scope of Recipient of Care and Activities of Social Merits for the Criteria for Granting Permission for Temporary Withdrawal by Student”.

The maximum period for temporary withdrawal is one year. If you wish to extend your withdrawal beyond this period you must re-apply at least two months before the expiration of your permitted withdrawal.

(Documents required for the application of temporary withdrawal)

For studying (taking course) abroad	Application for permission of temporary withdrawal; study plan; letter of acceptance or student identification from the foreign institution.
For scientific research abroad	Application for permission of temporary withdrawal; research/field trip plan (including itinerary)
For financial reasons	Application for permission of temporary withdrawal; letter of explanation
For medical reasons	Application for permission of temporary withdrawal; doctor’s certificate
Due to childbirth or childcare commitments	Application for permission of temporary withdrawal; maternity record book (copy)
For nursing care	Application for permission of temporary withdrawal; doctor’s certificate
For activities of social merit	Application for permission of temporary withdrawal; activity plan
For a home visit (foreign students)	Application for permission of temporary withdrawal; letter of explanation

2. Temporary withdrawal, years required for completion and years in enrollment

(see Article 18 of The University of Tokyo Rules on Graduate School Professional Degree Programs)

The duration of temporary withdrawal to be permitted is a minimum of two months but shall not exceed two years.

You should note that the period of your temporary withdrawal will not be included in the calculation of the years required for completion (i.e., 2 years) and the limit on years in enrollment (i.e., 3 years). You are not allowed to take any courses during the period of temporary withdrawal.

3. Re-enrollment

Once the reason for your temporary withdrawal becomes non-existent at any time during your leave, you must submit a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission. You must follow the same procedures when you return to school at the end of your temporary withdrawal period.

4. **Tuition fees**

You are exempted from payment of tuition during your temporary withdrawal. If you have not completed the temporary withdrawal procedure on time, you should note that you could pay tuition for either the summer or winter semester even if you will be absent from your studies.

When you receive permission to return to your studies, you must pay tuition fees during the month in which you return for the entire period from that month to the end of the semester. Any tuition which has been paid will not be refunded.

- **Procedures for foreign travel**

1. **Traveling abroad while on leave for temporary withdrawal**

If you intend to enroll in an educational or research institution abroad, or conduct research and field trips abroad, you must take procedure of temporarily withdraw.

The period of temporary withdrawal (a maximum of two years) will not be included in the calculation of the years required for completion and the enrollment limit. Further, if you have submitted and received approval for an application for temporary withdrawal prior to the end of the submission period (end of February for the summer semester and end of August for the winter semester), you will be exempted from paying tuition fees for the period of your temporary withdrawal (see “Procedures for temporary withdrawal”).

2. **Studying abroad** (Article 9, Paragraph 2 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy)

If you wish to study at a university in a foreign country, you must carry out the procedures required by the Graduate School Office.

If you will be taking courses which are related to your major and earning credits for those courses at a university abroad, you may be deemed to have taken the equivalent courses at GraSPP and gain credits up to one-half of the credits required for completion of the course. (Note: If you have transferred credits which existed prior to your enrollment pursuant to Article 10 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy, contact the GraSPP Graduate School Office before starting the application procedures).

For study at a university affiliated under a student exchange agreement with GraSPP, refer to the notices separately posted.

- **Procedures for changing program (sub-specialization)**

You may be allowed to change your program (sub- specialization) if you are deemed to have an acceptable reason. (See Article 2, Paragraph 2 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy) You may change your program only once during your enrollment. In order to change program, you must (1)study in the currently enrolled program at least one year, and, (2)complete some of the courses (class subjects) offered by the program in which you wish to change, and show the certain level of academic achievements.

When you want to change your program, please make sure to check with the GraSPP Graduate School Office beforehand for more details.

1. **Procedures for change**

If you wish to change your program, you must submit a designated application form to the Graduate School Office to request permission at least one month before the commencement of the term in which you wish to make the change.

2. **Change of program, temporary withdrawal period, years required for completion and limit**

on years enrolled

The number of years required for completion, the limit on years enrolled and the duration of temporary withdrawal are aggregated with the years you have accumulated before the change.

3. Treatment of credits previously taken

Credits which you have already gained before you change program may be included in the calculation of the credit requirements as stipulated in Article 4 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy.

- **Procedures for extension of enrollment period**

The standard period of enrollment is two years (see Article 3 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy).

If you wish to extend your enrollment beyond this standard limit, you must submit a notice of extension of enrollment on or before the end of the month preceding the month for your original completion. (Long-term students should contact the Graduate School Office for confirmation).

It should be noted that enrollment in GraSPP is limited to three years (see Article 17 of The University of Tokyo Rules on Graduate School Professional Degree Programs). Accordingly, you can extend your enrollment for one only year (excluding the period of temporary withdrawal).

Various Contact information list

Main Matters In Charge	Advising Centers	Place
Matters relating to Registration, Courses and Grades, UTAS, Classroom	Graduate School Office of GraSPP 03-5841-1349	13th floor, International Academic Research Bldg.
Matters relating to Overseas Exchange and Double Degree Program	Graduate School Office of GraSPP exchange@pp.u-tokyo.ac.jp	13th floor, International Academic Research Bldg.
General Guide to Campus-wide Consultation Facilities(Departments)	One-Stop Resources Office 03-5841-7867、0786 http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/nsc/en/	Research Prefabricate Bldg. A (next to Second Refectory)
Counseling and Consulation relating to Academic Life, Career Options and Interpersonal Relations.	Student Counseling Center 03-5841-2516 http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/scc/en/	Research Prefabricate Bldg. A (next to Second Refectory)
Career Advice, Job Search Assistance	Career Center 03-5841-2650、3989 http://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/internationalstudents	B1, Student Support Center
Matters relating to Exemption and Deferred Payment of Entrance Fee and Tuition Fees	Scholarship Team, Student Scholarship and Welfare Group 03-5841-2547、2548	B1, Student Support Center
Matters relating to Scholarships from JASSO, Local Public Organizations or Public Interest Organizations	Scholarship Team, Student Scholarship and Welfare Group 03-5841-2520	B1, Student Support Center
Matters relating to Printer and Copy Machine located PC room	The University of Tokyo CO-OP 03-3816-0711	
Recommendation of Apartment, Lodging	The University of Tokyo CO-OP 03-5841-7945	Basement floor, Faculty of Law & Letters Bldg.2
Regular Health Check, Medical Examination and Health Consultation	Hongo Health Service Center 03-5841-2573 http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/en/index	2nd floor, Administration Bureau Bldg.2
Matters relating to Sexual Harassment	Harassment Counseling Center 03-5841-2233 http://har.u-tokyo.ac.jp/en/	Room S107, 1st floor, Faculty of Medicine Bldg.1
Matters relating to Academic Harassment	Student Counseling Center, Harassment Counseling Center, etc	
Matters relating to lost items, security and theft in campus	SECURITY OFFICE 03-5841-4919	1st floor north side, Yasuda

GraSPP Room Use Guidelines

Followings are to set general rules for students' use of GraSPP facilities in Akamon General Research Building and International Academic Research Building.

I Akamon General Research Building

1. Rooms open to students / How to enter

4 th floor, Akamon General Research Building			
Name	Seats	Equipment	How to enter
Student Study Room N	54		Locked all the time.
Student Study Room W	30		To enter, touch your student ID card onto the card reader near the door.
Computer Lab	24	24 computers 2 copiers	Locked all the time. To enter, touch your student ID card onto the card reader near the door.
Discussion Space 1	6		Unlocked all the time.
Discussion Space 2	6		
Discussion Space 3	6		
Discussion Space 4	6		
Discussion Space 5	6		
Student Locker Room			Unlocked all the time.
Student Lounge		1 copier	Unlocked all the time.

2. Available days for students

1) In principle, students are able to use the rooms listed above except for the designated close off dates such as New Year's holidays and days for entrance exams. Unavailable dates will be announced to students in advance.

3. Important notes for using Student Study Rooms and Computer Lab

- 1) Keep quiet and refrain from disturbing others in the room. Set your cell phone to silent mode and refrain from talking on the phone.
- 2) Eating and drinking are not allowed in the room except for pet bottles, in principle.
- 3) Do not occupy desks with your personal belongings.
- 4) Use the room and its equipment with care. Do not damage them.

5) In order to save energy, turn off all the lights, air conditioners, and computers when you do not use them or leave the room. Be sure to close the windows after use.

6) GraSPP may delegate the use of the rooms to its students as long as they take good care of using the rooms in an autonomous way following the room use guidelines.

In case they do not follow the guidelines and inappropriate use is found, GraSPP will limit its students' room use.

4. How to use Discussion Spaces

1) Items 2)-6) of the above "Important notes for using Student Study Rooms and Computer Lab" are applied.

5. Important notes for using Student Locker Room and Student Lounge

1) Use and take good care of an approved locker with your own responsibility.

2) Eating and drinking are allowed in the Student Lounge. Use Lounge and its equipment with care, do not damage them. In order to save energy, turn off all the lights and air conditioners when you leave.

II International Academic Research Building

1. Rooms open to students / How to use

12 th Floor, International Academic Research Building		
Name	Seats	How to use
Seminar Room A	36	Reservation required at Graduate School Office
Seminar Room B	24	
Seminar Room C	24	
Seminar Room D	24	
Seminar Room E	36	
Seminar Room F	12	

2. Available days & time for students

1) In principle, students are able to use the rooms listed above except for the designated close off dates such as New Year's holidays and days for entrance exams. Unavailable dates will be announced to students in advance.

2) Rooms can be used from 9:00 am to 10:30 pm.

3. How to use Seminar Rooms

1) Seminar Rooms can only be booked for students' study group.

2) Room reservation is required at Graduate School Office.

- 3) A student can book a room for 2 hours in principle. If the room is still available after his/her use on the day, he/she can extend the time of use.
- 4) GraSPP's courses and events have priorities of using the Seminar Rooms. Even if the room was booked by a student in advance, his/her reservation might be re-arranged by GraSPP when needed.

4. Important notes for using Seminar Rooms

- 1) Eating and drinking are not allowed in the room except for pet bottles, in principle.
- 2) Use the room and equipment with care. Do not damage them.
- 3) In order to save energy, turn off all the lights and air conditioners when you do not use them or leave the room. Be sure to close the windows after use.
- 4) In case students do not follow the room use guidelines and inappropriate use is found, GraSPP will limit its students' room use.

Important Reminder on the Course Registration

Basically, you may not register courses which have same names as the courses for which you have already earned credits for, except for the following course.

・5140735 Case Study (GraSPP Policy Challenge for SDGs 1) (The course title before the change : Case Study (GraSPP Policy Challenge I)) ※You may earn up to four credits.

As for the subjects of the list shown below, the course title is changed, but the registration of those who acquired the credits of right side course by last year is not accepted because the part of contents are almost the same.

Course Title in AY 2020/2021			Course Title in AY 2019/2020		
Course No.	Course Title	Credits	Course No.	Course Title	Credits
5121290	医事法/Medical Law ※Only English title has been changed.	2	5121290	医事法/Law and Medicine	2
5122201-1	Contemporary Chinese Politics and Diplomacy	2	5122201-1	Contemporary Chinese Politics	2
5122375	Quantitative Social Science	2	5122375	Causal Inference	2
5130200	Advanced Academic Writing	2	5130200	English Advanced Academic Writing	2
5140280	事例研究 (財政政策I)	2	5140280	事例研究 (財政政策・問題分析)	2
5140310	事例研究 (財政政策II)	2	5140310	事例研究 (財政政策・解決策分析)	2
5140399	Case Study (Macroeconomic Policy for Practitioners)	2	5130280	Macroeconomics in the real world: A view from the IMF	2
5140404-3	Case Study (Foreign Policy of Japan)	2	5140404-1	Case Study (Foreign Policy of Japan I)	2
5140404-3	Case Study (Foreign Policy of Japan)	2	5140404-2	Case Study (Foreign Policy of Japan II)	2
5140485	事例研究 (政策環境・事業環境検討手法としてのシナリオプランニング：理論と実践)	2	5140485	事例研究 (政策環境検討手法としてのシナリオプランニング：理論と実践)	2
5140790-1	Case Study (Development Economics and Policy I)	2	5140790-1	Case Study (Empirical Development Microeconomics I)	2
5140791-1	Case Study (Development Economics and Policy II)	2	5140791-1	Case Study (Empirical Development Microeconomics II)	2

授業内容概略

Class Summaries

時間表、詳細、最新版は UTAS 及び公共政策大学院の Web サイトで確認すること。

Make sure to check class schedules, details, and updated versions via UTAS and in GraSPP Website.

Reference : <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/courses/>

基 幹 科 目

Basic Courses

Course Code	5111010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	民事法の基層と現代的課題				
Faculties	石川 博康				
Course Objectives/Overview	<p>法の生成・展開過程や法を支える社会の構造等を踏まえた基礎的考察を通じて法の基層に降り立つことは、民事法における諸制度を設計し、またそれを解釈・運用するに際しての欠くべからざる諸前提のうちの一つである。本講義では、既存の法制度を評価し、また新たに法制度を構想する際に必要な、民事法の基本的な考え方および概念について講義する。法学未習者と、学部で民事法を一通り勉強した学生で民事法を支える理論的諸基盤についてより広い視野からもう一度理解し直そうと考えている者とを、対象とする。</p> <p>本年度は、民事法の諸制度を支えている歴史的基盤に着目し、現代法に関し法史学の観点からの一定の見通しを得ることを目的とした検討を行う。</p>				

Course Code	5111020	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公法の基層と現代的課題				
Faculties	小島 慎司／寺田 麻佑				
Course Objectives/Overview	<p>法学未修者のみならず、学部で公法を一通り勉強した学生であっても、公法の全体を広い視野からもう一度理解し直したい者をも歓迎する。前半は小島（憲法）が担当する。既存の法制度を評価し、また新たに法制度を構想する際に必要な、憲法学の基本的な考え方および概念を講義する。重点的にテーマをしばり、また現実の具体的な諸問題を素材にして、講義を進める。後半は寺田（行政法）が担当する。公共政策の良き担い手や発案者となることができるよう、「行政を動かし、コントロールして政策を実現するための法」としての行政法を概観する。とりわけ、法執行過程の全体を手段として捉えることができるようになることを目標とする。</p>				

Course Code	5111030	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政策決定・行政統制論				
Faculties	齊藤 誠				
Course Objectives/Overview	<p>憲法判例百選・行政判例百選に収録されている多くの事例を見ればわかるように、自治体行政、自治体立法は、公法関係紛争の生の現場である。</p> <p>最新の地方自治関係判例から、憲法・行政法及び政策決定・行政統制の重要な論点を含むものを選択して考究する。</p> <p>地方自治法の体系的な知識は受講の前提としないが、入門書等でアウトラインはつかんでおいて欲しい。その上で、国の議会・行政と自治体議会・行政の類似面、異なる面についても、報告と討議を通</p>				

	じて深めてもらいたい。
--	-------------

Course Code	5111040	Term	S 1	Credits	2
Course Title	行政組織法				
Faculties	山本 隆司				
Course Objectives/Overview	伝統的に行政組織法として論じられてきた狭義の行政組織法、公務員法および公物法を扱う。基本法理、日本の実定法の構造とその特徴を理解し、立法論上の課題も考察する。				

Course Code	5111050	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	財政法				
Faculties	藤谷 武史				
Course Objectives/Overview	<p>財政法は、文字通り「財政」を規律する法規範の体系であるが、政治的・経済的動態性を本質とする財政を法学的に扱うことは、元来、極めて困難な企てである。財政の法学的把握は未だ満足な水準に達しておらず、しばしば現象の後追的な記述に留まる。しかし、ある時期までの近代議会民主制の展開を主導したのが財政問題であったこと、さらに財政が金融制度を介して市場経済社会のあり方と密接に関わってきたことを考えれば、「財政の法学的把握」を巡る如上の現状は、深刻な方法論的反省の対象とされて然るべきであろう。</p> <p>斯様な問題意識に立脚する本講義は、(1)財政法学が議論すべき対象としての「財政」を幅広い経済・社会構造の中で捉え、(2)方法論の拡張によって実質的に意味のある「財政の法学的把握」を提示することを目的とする。第(1)の側面では、最低限、財政と金融市場や通貨秩序（いずれもその国際的側面を含む）の関係が視野に含まれる。第(2)の側面では、現代財政の機能面での変質（例えば社会保障制度による財政の時間軸の長期化）が財政法にいかなる質的变化をもたらしたか、に注意が喚起され、この構造を把握しうる法的概念が探究される。そのために、現在進行形であり未だ正解が（国際的にも）確立していない財政上の諸問題、例えば、日本銀行による巨額の公債保有、マイナス金利政策、財政規律ルール導入、「国富ファンド」のガバナンス、政府調達における社会的政策追求などを具体的に論じ、これらとの対峙を通して現代財政の実像に即した財政法学の体系と課題を析出した。</p>				

Course Code	5111060	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地方自治法				
Faculties	板垣 勝彦				

Course Objectives/Overview	地方自治に関する法制度、裁判例、学説、運用状況を理解し、解釈論を展開する能力、立法論を展開する能力を身に着けること。				
----------------------------	--	--	--	--	--

Course Code	5111070	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地方財政・租税論				
Faculties	神山 弘行				
Course Objectives/Overview	<p>民主的議会は「現在世代」の利害調整の場として機能してきました。そのため、議会による財政統制は、現在世代が「まだ存在しない将来世代」の利益を考慮に入れる範囲でしか、将来世代の利益が考慮されないという構造的問題を内包しています。現在世代は将来世代の利益をどのように（又どの程度）考慮するべきなのでしょう。本演習では、将来世代に大きな影響を及ぼしうる財政問題・社会保障問題・環境問題等を念頭に、租税・財政の観点から世代間衡平について考察を加えてみることにします。</p>				

Course Code	5111080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	租税政策				
Faculties	神山 弘行				
Course Objectives/Overview	<p>租税法では、これまで経済学やファイナンス理論など関連社会科学の知見を参照する形で法理論・法制度が発展してきました。本演習では、ミクロ経済学やファイナンス理論だけでなく、行動経済学 (behavioral economics) や行動科学 (behavioral science) などの知見も参照することで、伝統的な議論では見落とされてきた租税法の構造や暗黙の前提に光を当てることを目的とします。演習では、現行租税法の理解更新という事実解明的分析(positive analysis)に加え、規範的分析 (normative analysis) の観点から立法政策論も扱うこととなります。</p>				

Course Code	5111090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	立法学				
Faculties	伊藤 和子				
Course Objectives/Overview	<p>大学における法学教育は、実定法の解釈学を中心としたものであるが、本講義では、実定法の制定がどのように行われているかについて、立法過程、立法政策、立法技術等の視点から多角的に概説する。経済社会に生起する諸問題の解決に向けて、一定の政策目標を最も適切な形で実定法に組み込むための実践的な手法を学ぶことは、公共政策のテーマと重なるものである。</p> <p>講義に当たっては、進行中の事案も含め実際の立案事例を紹介するとともに、国会見学（講義外・任意参加）の機会を設けるなど、</p>				

	立法という営為をリアルかつアクティブなものと感じられるように心がけたい。
--	--------------------------------------

Course Code	5111110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	刑事政策				
Faculties	川出 敏裕				
Course Objectives/Overview	現在の刑事政策に関わる様々なテーマにつき、その問題状況を把握するとともに、あるべき解決策を探ることを目的とする。				

Course Code	5111120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	知的財産政策				
Faculties	加藤 浩				
Course Objectives/Overview	<p>知的財産権とは、特許権、商標権、意匠権、著作権などの総称であり、近年、政策的なアプローチの重要性が高まっている。本講義では、これらの知的財産権を取り扱う知的財産政策について、基礎理論を整理した上で、知的財産政策の経緯と現状について解説し、今後の政策課題について考察することを講義のねらいとする。講義では、第一に、知的財産分野の主要なテーマごとに、知的財産政策について講義を行う。例えば、企業・大学における知的財産活動の現状・課題や、イノベーション政策、情報社会などのテーマにおける政策課題について考察する。また、秘密情報管理や安全保障との関係から、知的財産政策の今後の方向性について検討する。第二に、クールジャパン戦略について解説し、文化政策や地域政策における知的財産行政の現状と課題について考察する。また、文化多様性・生物多様性と知的財産政策との関連性についても考察する。第三に、グローバルな視点から、知的財産政策について講義を行う。例えば、途上国に対する開発投資や環境保全における知的財産政策の役割について考察する。また、人権保護の観点を含めて、医薬品行政・医療行政と知的財産政策の在り方について考察する。受講生として、公共政策に関心のある文科系の学生・社会人だけでなく、技術系の学生・社会人も想定し、最近のトピックス（オープンイノベーション、AI（人工知能）、ブランド戦略、クールジャパン政策、産学連携など）も適宜取りあげていく予定である。講師の意図としては、知的財産法制・政策がどうなっているかより、なぜそうなっているかを考えることに主眼を置いた講義を進めることとしたい。教科書、参考書は、最初の講義で紹介するが、原則として、講義資料を講師が作成して毎回、配布する。（希望者には、経済産業省、文部科学省、文化庁の見学などを実施する予定。）</p>				

Course Code	5111150	Term	S1S2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	国際組織と法
Faculties	森 肇志
Course Objectives/Overview	<p>近年国際条約、とりわけ多数国間条約が数多く結ばれているが、これらのうち、条約により運営機関が設置されるものが多くみられ、条約体制と呼ばれるものが形成されている。それらは当該条約の適用・執行さらには発展という、国際法の実現において大きな役割を果たしている。また、そうした条約の多くは、それを実施するための国内法や国内裁判所による適用等を通じて、国内法平面においてもますます重要になってきている。こうした条約によるもの以外に、非拘束的合意（ソフトロー）によるものの重要性も増している。本演習では、こうした条約体制（国際組織を含む）の構造ならびに実際の運用のあり方を、参加者のリサーチを中心に明らかにすることを通し、現代国際法の現実の姿の一端を明らかにする。具体的イメージとして、2015年10月から2017年9月まで『法学教室』に連載された「国際条約の世界」、とりわけ2015年10月号掲載の「連載開始にあたって」を参照されたい。</p> <p>本演習は法科大学院との合併授業である。</p>

Course Code	5111160	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際経済法				
Faculties	中谷 和弘／伊藤 一頼				
Course Objectives/Overview	WTO法と国際投資法を中心に講義する。国家債務、経済制裁等に関する国際公法上の問題にも触れる。実務家の特別講義を予定している。				

Course Code	5111170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際人権法				
Faculties	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	<p>今日、人権は国際社会における最も中心的な関心の一つであり、日本でも法曹関係者を初め、多くの立法・行政機関関係者、民間団体が「国際人権」に関与するようになってきている。この授業では、人権の国際的保障の現状とあるべき姿について考察する。そのために、現行諸制度の仕組みと運用について理解を深めるのはもちろんのこと、背景となる歴史と理論、特に国際法理論との連続を重視して討論する。</p>				

Course Code	5111190	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Public Policy				

Faculties	SATO Chiaki
Course Objectives/Overview	This course aims to learn and think how to realize public policies by laws in Japan. The goal is to have enough abilities in analyzing and making a presentation about solving strategies to public issues we face. Also, we will compare Japanese ways and those of other countries for implementation of public policies. We will learn rule making processes and implementation of public policies with reading, writing, and discussing in this course.

Course Code	5111200	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法制執務の基礎と応用-法治国家の政策対応				
Faculties	外山 秀行				
Course Objectives/Overview	政府の各府省は、所管法令について、個別事案に応じた解釈運用を行うとともに、新たな政策課題に対応した制度改正を行うべく企画立案事務を遂行している。本講義は、こうした法令の解釈運用と企画立案に当たって必要となる基礎的・技術的な事項を解説し、併せて、立法過程の仕組みを概観することにより、法令解釈、立法技術、立法過程の三分野にわたって、法制執務に携わるために必要な知識を養成することを目標とする。				

Course Code	5111210	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Japanese Law				
Faculties	FOOTE Daniel Harrington				
Course Objectives/Overview	This course will help students understand the fundamentals of law in contemporary Japan. Students will emerge with at least a foundational understanding of key concepts in Japanese law, both in isolation and in their social context. Students will learn critically to discuss strengths and weaknesses of various areas of Japanese law, and offer comparisons with other systems where appropriate. The course assumes no knowledge of Japanese law, or law in general.				

Course Code	5112010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治学 I				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	政治系諸科目を履修したことがない、または政治学を基礎から学び直したい公共政策大学院生を主対象として、政治学的なものの方や基礎的な概念を一通り把握できるようになることを目標とします。				

Course Code	5112030	Term	S1S2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	政治思想と公共政策
Faculties	荻部 直
Course Objectives/Overview	<p>政治思想上の諸問題は、政策を作り、運用する過程に、さまざまな形で深くかかわっている。これは、いわゆる「公務員倫理」（あるいは「政治倫理」？）といったような、決定者の心得にとどまるものではない。現場で直面する、個々の課題について選択を迫られるとき、結論に至る筋道は多くの場合、何がいったい「平等」か、人のいかなる「自由」を守るべきか、政府がなすことの限界をどうさだめるか、そもそも「政治」とはいったい何なのか.....といった、原理上の問いについて、当面する状況に適したアイディアを見いだす思考作業と切り離せないのである。</p> <p>この授業は、担当者の報告と、参加者全員の討論による、演習形式で行なう。研究者養成コースである、大学院法学政治学研究科総合法政専攻と合併。</p>

Course Code	5112040	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政策分析				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析は、決定者に対してどのような政策的な選択肢が存在するのかを示し、その効果やコスト等に関する情報を明らかにするものである。この授業においては、政府が社会経済に働きかける政策の様々な手段という側面を中心的な視点にして考察してゆく。</p> <p>まず、最初に現在のガバナンスの変容が政策手段の選択にどのような影響を与えているのか、その大きな動きについて論ずる。さらに、政策の様々な手段を評価し、判断する軸として、どのような観点が重要となるのかを議論する。次に、具体的な政策の事例を挙げながら、(1) 規制、補助金、直接供給等といった政府の用いる政策手段の基礎的なレパートリーにどのようなものがあるのか、また、(2) 個々の政策手段には、どのようなメリットとデメリットが存在するのか、さらに(3) 個々の政策手段が有効に機能する条件はどのようなものであるのか、について考察してゆきたい。この授業を通じて、政策的な課題に対応するための手段的な選択肢についての一定の見取り図を得、具体的な課題にそって具体的な手段を組み合わせ新たに構築してゆくための基礎的な能力を身につけることを目的とする。</p>				

Course Code	5112050	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	自治体行政学				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	本講義では、現代日本の自治体行政に関して、実際の制度と運用に				

	<p>即して概説する。</p> <p>行政学各論として、行政学一般を自治体に適用する講義を行う。</p> <p>なお、行政学各論としての性格から、都市政治・自治体政治に関することは、基本的には本講義の対象外かもしれないが、政治行政の密接な関係から、重要な環境要因として解説する。また、自治体政府相互の関係、あるいは、自治体政府と全国政府の関係は、政府間関係論の領域かもしれないが、必要な範囲で、本講義でも言及することはある。</p>
--	--

Course Code	5112060	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅰ				
Faculties	金井 利之／尾西 雅博				
Course Objectives/Overview	<p>公共政策の形成、実施、評価は、主として行政機関による組織的活動である。組織活動を効果的に実施するためには、多数の要素から構成されている組織活動の適切な「管理」が不可欠である。この授業では、このような公共政策に関する管理を「公共管理」と捉え、その基本的な考え方について述べるとともに、統治制度の枠組に触れた後、行政組織について、「行政管理」のための資源と手法、病理、改革等の基本的事項について考察する。今年度も以前に引き続き、行政管理の中心的なテーマであるとともに「基盤行政」ともされてきた、人事管理及び公務員制度について、公務員制度改革にも焦点を当てながら講義を展開する。</p>				

Course Code	5112070	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅱ				
Faculties	(未定)				
Course Objectives/Overview					

Course Code	5112080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ポリティカル・メソドロジー				
Faculties	加藤 淳子				
Course Objectives/Overview	<p>政治学の方法論の基礎を身につけることを目的とする。比較の方法を中心に、基本的なゲーム理論・社会的選択理論を含む合理的選択理論、基本的な統計分析の考え方、歴史的アプローチを含む新制度論、実験の方法など、政治学における分析手法を幅広く取り扱う。これらの文献は、海外の政治学博士課程プログラムで読まれているものであり、この授業に参加することで、政治学の様々な方法を包括的に理解することができる。</p>				

Course Code	5112090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際行政論				
Faculties	城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>国際行政とは国境を越えた相互依存にともなう諸課題を解決するための様々な組織的マネジメントである。多国間国際組織の活動のみならず、二国間等の調整活動やNGO等の活動も含まれる。国際組織と国、NGOといった組織間関係のマネジメントも1つの焦点である。国際行政は2つの特質を持つ。第1に国際行政の対象は多量かつ多様である。第2に国際行政活動は諸主権国家制という分権的な統治制度の下で行われる。本講義では以上のような基本的特質を持つ国際行政現象について、組織論、管理論（財政、人事等）、活動論の観点から行政学的に分析することを試みる。活動論に関しては、国際安全保障（国際刑事司法、科学技術と安全保障を含む）、国際援助、国際的規制調和等の具体的事例をとりあげる。</p>				

Course Code	5112101	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治経済 I				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	<p>国際政治経済論は国際政治と国際経済は相互にどのように関係しているのかを理論的かつ体系的に解明することを目標とする。理論的枠組みとしては、現在の国際関係理論の主要理論であるリアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムを中心に考察する。応用分野としては、通商、通貨、金融、開発などのほか、環境問題も扱う。</p>				

Course Code	5112102	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治経済 II				
Faculties	樋渡 展洋				
Course Objectives/Overview	<p>現在の国際経済の政治的統治の特徴は政治と経済、政策決定の国際要因と国内要因が交錯することにある。戦後の西側先進諸国の政治経済は「埋め込まれた自由主義」と称され、戦間期の民主制と国際貿易・通貨制度の崩壊を教訓に、その特徴としては、民主政治の帰結としての国内経済政策による経済発展と社会安定を前提に、国際経済機関の下での国家間合意による自由な貿易、資本移動を拡大させて来たことにある。近年の最も注目すべき展開は、民主化の第三の波や社会主義体制の崩壊により、民主政体と市場経済に立脚した「埋め込まれた自由主義」が国際的に規範化され、新興民主国や発展途上国に波及していることである。</p>				

注目すべきは、現在の経済の国際化は、先進諸国にとっても、発展途上国にとっても未曾有の状態である。それに伴い、一方では、国際経済協定の数が急速に増大し、国際経済機関の役割が拡大し、地域的経済統合が深化してきているものの、他方では開放経済の浸透に対する国内反発も先進諸国、発展途上国を問わず高く、それが国際化の程度と速度に影響を与えていることである。いずれにせよ、国際的相互依存の深化により、「埋め込まれた自由主義」は、政治と経済、政策の国際要因と国内要因の連動・緊張関係を一層強化させるかたちで変容している。

国際政治経済とは、このような現状を念頭に、政府の対外経済政策や国家間の経済関係の政治的要因を理解する学問で、その独自性は、経済的要因を前提に、それらの国際・国内政治の影響について究明するところにある。その分析枠組は—

外経済政策・国際経済関係 = 政治的独立変数 + 経済的制御変数+ 政治的* 経済的交差変数

と定式化でき、制御変数に関しては経済学の基礎理論を引用し、独立変数に関しては国際政治や現代政治分析の知見を応用する。

本講は、このような国際政治経済の基礎と最近の理論展開および最新の実証成果を紹介する。

国際経済関係の規定要因としての国内制度や国際協定に焦点を当てることは、経済危機や経済開放の世界的伝播とそれへの対応としての構造改革を理解する上で極めて重要である。そして、経済の国際化に伴い、安定的な経済運営と政権維持の両立に迫られた政府の政策的選択肢がどう制約・規定され、各国政府の政策的対立・連携の結果、地域・国際経済関係がどう展開・変容しているかを理解することは、行動主体としての国家が経済政策的合理性と国内政治的正当性をどう調整するかを考察することでもある。この調整を理解することが本講の政策実践的含意であるとともに、本講と国際経済、国際政治、国際経済法科目との補完的相違点である。

Course Code	5112111	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Conflict Study				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	<p>What is an international conflict? Will it be possible to discuss the origins of international conflicts in more general and abstract ways, or would it be the case that each conflicts are so distinct in nature that rule out theoretical abstraction? Those are the basic topics that I aim to cover in this course.</p> <p>International conflicts encompass a wide terrain; here I will focus on what has come to be called the new kind of wars, those in which cultural symbols and identity play out in the development of violent conflicts, as opposed to the more traditional kind of warfare based on the acquisition of secular interests.</p>				

Course Code	5112131	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Science, Technology and Public Policy				
Faculties	SHIROYAMA Hideaki / ALEMANNNO Alberto / MATSUO Makiko				
Course Objectives/Overview	<p>The development and diffusion of science innovative technologies is indispensable for modern society. However, despite its benefits, the development of science and technology is not without various risks and social problems. So far as we are going to make societal decisions for the use of science and technologies with diverse social implications that encompass both risks and benefits, sometimes involving values implications, there is a need for mechanisms of decision making and management of the development and utilization of science and technology. Decisions can be different depending on environmental, institutional and cultural conditions. In addition, innovative policy instruments/ mechanisms to deal with rapidly changing science and technology, including regulatory measures, are required for implementing decisions.</p> <p>This course will deal with wide range of issues from local to global levels faced at the interface areas between science, technology and public policy from comparative perspective of Japan, the US and Europe. It offers key theoretical issues surrounding Science and Technology and provides students with the tools and frameworks, such as risk assessment/ management and transition management, to analyze them. This course invites students from both natural science backgrounds (i.e. the graduate school of engineering, new frontier science and so on) and social science backgrounds (graduate school of public policy, law and politics, and economics and public policy). We expect students to acquire interdisciplinary perspective in addition to their primary major, which is one of the critical skill in analyzing complex social technical issues posed by science and technology.</p>				

Course Code	5112140	Term	A 1	Credits	2
Course Title	開発研究				
Faculties	佐藤 仁				
Course Objectives/Overview	<p>開発/発展という現象を歴史的、批判的な観点から検証し、あわせて研究手法の紹介も行う。とりわけ、開発援助における権力作用、国家とは何か、貧困への視点、技術の役割、援助の役割などを扱う。学生諸君が先入観として持っている「開発」のイメージを揺さぶり、一段深い考察のレベルに誘導することが目標である。</p> <p>形式は、講義と演習を折衷した形をとり、課題文献の予習を前提として、学生が主体的に議論に参加する形をとる。よって「学ぶだけ」の学生は歓迎しない。考えたことを発信する意欲のある学生を歓迎する。課題文献の要約と批判を含めたミニ・レポートを3回課すが、この採点は、学生同士で行う。また、教室では、議論の喚起を目的とした簡潔な報告をする訓練を行い、対話する上でのコミュニケーション能力養成も視野にいれる。英語を中心に一定量の文献を毎週読んでもらうが標準的に4時間程度の予習時間が確保できそうもない人には受講をすすめない。</p>				

	具体的なスケジュールや課題文献リストについては初回の授業でシラバスを配布したうえで解説するので、受講希望者は必ず初回の授業に出席してほしい。
--	--

Course Code	5112150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策過程論				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	政策の決定・実施・評価の一連のプロセスについて検討する。政策過程の政策課題の認識、課題設定、具体案の作成、意思決定(行政部内、議会)、モニタリング・評価の各段階において、どのような要因が影響するのか等に関する見取り図を与えることを意図する。また、各々の段階で配慮すべき事項についても、具体的事例を素材に検討する。				

Course Code	5112170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	現代日本政治の主要トピックスのうち、いくつかを選び、さまざまなアプローチを用い、インテンシブに分析します。 現在住んでいる日本の政治を、自分なりの言葉で分析・説明できるようになること、他人の見方を鵜呑みにするのではなく、政治を主体的に考え、結論を出せるようになるためのキッカケを提供することが本授業の目的です。				

Course Code	5112181	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Modern Japanese Diplomacy				
Faculties	KOHARA Masahiro				
Course Objectives/Overview	私たちの守るべき国益とは何か？そして、それをどうやって実現するか？ 米国の覇権に陰りが見える中で、台頭する国家やテロリストが跋扈し始め、冷戦後のリベラルな国際秩序は力による現状変更や破綻国家が生み出す暴力や難民に傷ついている。グローバル化、情報化、技術革新は新たな価値や豊かさを生み出す一方で、リスクや脅威も増大させている。そして、気候変動や感染症などが猛威を振るい、国家や人間の生存を脅かす。今日、国家・国民の安全と繁栄という国益はこうした多様な挑戦を受けている。日本はこれにどう対処すべきなのか？そして、世界と深くつながる日本として世界の平和と繁栄、そして自由で開かれた秩序の維持に何ができるのだろうか？ 本講義は、以上の問題意識に立って、国益を座標軸の中心に据え、				

	<p>日本の外交、そして世界の平和と繁栄の問題を考えていく。 What is National Interest which we have to defend? How can it be realized? While the United States is shaky in its hegemony in the world, the rising powers and terrorists are becoming rampant. The liberal international order in the post-Cold War period is hurt by the alteration of the status quo due to violence and a refugee crisis caused by the failure of nation states('failed states'). Globalization and a technology revolution with an ever evolving social media produce new values and affluence, while, on the other hand, they multiply risks and threats in the world. Climate change and infectious diseases are raging and threaten the survival of nation states and humanity. Today, national interest, such as the security and prosperity of a nation and people, faces these various threats. How does Japan tackle them? What can Japan do to maintain the peace and prosperity of the world? What can Japan do to defend free and open international order? Japan is deeply connected to all these issues and therefore is inextricably involved in them. With an awareness of the above mentioned issues, this course's lectures provide a framework centered around Japan's National Interest and how Japanese diplomacy can help maintain the peace and prosperity of the world.</p>
--	---

Course Code	5112191	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Policy Process and Negotiation				
Faculties	AOKI Naomi				
Course Objectives/Overview	<p>Social scientists have an advanced understanding of how public policies are formulated and implemented. This course introduces some of their work. The lecturer believes in the potential of a comparative and global approach, which enables students to look at their own countries from the outside and to see their distinctiveness. Students are also asked to critically evaluate trade-offs involved in policy processes, which can vary considerably, especially at the international level. A comparative approach comes at the expense of in-depth analyses of single national or local cases – a gap students are encouraged to fill when they write reflection essays.</p>				

Course Code	5112195	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Field Seminar in International Relations				
Faculties	HENG Yee Kuang / AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This course provides an overview of the key issues and theories of global and international affairs. Introductory sessions will cover core theories as well as integrating concepts to help understand International Relations as a complex interplay between power and interests, cooperation and discord; institutions and norms, and diverse actors. Subsequent weeks will apply these concepts to selected issue areas including security and war; peacekeeping and humanitarian intervention; international trade and finance; and global public goods such as climate change and global health. It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the international system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global agenda of the</p>				

	<p>new millennium will be shaped by drivers such as globalisation, cooperation and discord, and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools 2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives 3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 4. Critical thinking, analytical and reading skills
--	---

Course Code	5112211	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process				
Faculties	HAYASHI Ryoza				
Course Objectives/Overview	<p>Objective</p> <p>The objective of this course is to understand the different economic policy-making process by analyzing Japanese process from comparative perspective. While important policy is carried out through either budgetary measures or legislative measures, the course will focus on legislative process of regulatory policy. Legislation is heavily influenced by the following three actions; interaction among a part of legislators, relevant executive officials and interest groups, leadership role of chief executive officer and the enhancement of policymaking technique. National system, the combination of above-mentioned elements is shaped by the history, values and institution of each country. After identifying these elements in Japanese system, we will examine how these elements shape economic policy in American and British system. Then we compare the pros and cons of each system under specific environment.</p> <p>Adequate emphasis will be made on the analysis of process of Trump economic policy and Abenomics(economic policy of Abe administration).</p> <p>Student will be expected to make short presentation in the class, and to participate in the class discussion.</p> <p>Class will be conducted in English. Students are encouraged to actively participate in the class.</p>				

Course Code	5112220	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Governance and Development				
Faculties	MOTODA Yuka				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of the course are: 1) to give students a historical understanding of the context of the rise and fall of major development theories on which donors have based their aid policies; 2) to deal with the ways in which current international development cooperation takes place in the areas at issue - with the primary focus being placed on 'governance' amongst them; 3) to provide a critical assessment of the ways in which the concept of 'governance' and the role of state are framed through international development discourse in general and development aid in particular.</p> <p>By the end of the course, students will be able to understand firstly why a certain theory was emerged at a certain point of history and why it was adopted by donors,</p>				

	and how it was turned into their aid policies. Secondly, students will deepen their understandings of the impact of implemented aid policies on recipient states' governments and societies at large - i.e. the governance of recipient states. Thirdly, students will be able to follow up emergent 'unorthodoxies' that challenge the dominant discourse on governance and development in the international aid industry.
--	---

Course Code	5112241	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Politics and Public Policy				
Faculties	MAEDA Kentaro				
Course Objectives/Overview	This course is a general introduction to political science. We will survey a wide range of topics in order to acquaint students with the basic concepts and theories that are useful for understanding politics in the modern world. Since political science is a vast discipline, our coverage is limited to the most important topics. Students will learn why politics has been considered as a crucial aspect of human life, how political decisions are made, and how those decisions are related to the fundamental goals of our society such as freedom, equality, and justice.				

Course Code	5112242-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	末期ロシア帝国の辺境統治				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業問題、公教育の普及などの近代化の課題と民族問題がどのように絡み合っていたかを学ぶ。 2. 個々の帝国を個別に考察するのではなく、隣接帝国間の相互作用から生まれる歴史を学ぶ。 3. 帝国の胎内から国民国家が生まれる様を空間表象論を駆使して学ぶ。 				

Course Code	5112243-2	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	世界各地の準大統領制				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> 1. 議会制、大統領制と比べて、準大統領制にはどのような特徴があるのかを学ぶ。 2. 準大統領制採用した国々の政治史の全般的な特徴との関係で、準大統領制の機能を考察する。 3. 権威主義体制からそれ以外の体制への移行における準大統領制の役割を考察する。 4. 新冷戦といわれる国際状況の中で、準大統領制が国内政治対立を緩和することができるかどうか考察する。 				

Course Code	5112250	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Social Science				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>The course provides an overview of epistemological and methodological concepts, issues and techniques concerning the production of scientifically relevant knowledge in the domain of social sciences. It is designed and intended for an audience of post-graduate or doctoral students coming from both quantitative and qualitative backgrounds, therefore including students of natural and applied sciences. It proceeds from the illustration of key basic concepts in defining research activities and production of knowledge, with particular reference to their historical evolution in philosophical debates, to the clarification of methodological choices for a number of social science disciplines, to the exploration of themes which are contingent to methodological questions, such as methodological pluralism and interdisciplinarity, ethics of scientific research and effective communication.</p>				

Course Code	5112260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to International Politics				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>At the end of this course, the student should have familiarised with a series of ongoing discussions concerning the nature of international politics, both in its theoretical articulation and in its several sectorial dimensions. International political theory will be introduced through an analysis of the major schools of thoughts providing a definition of what international politics is about (ontology) and how it is supposed to be studied (epistemology). For this initial part (Lectures 1-7), the students will become familiar with the concepts of realism, Realpolitik, anarchy, power, national interest, zero-sum-game, relative vs. absolute gain, polarity, globalisation, sphere of influence, intervention, human rights, emancipation. A second group of four lectures introduces specific sub-disciplines and study fields in international politics, dealing with geopolitics, international political economy, international organisation, and international environmental issues. Student will become acquainted with the influence that geography exercises on the life of political communities, and how much of international political debates and struggles revolve around the position of a certain state within the economic architecture of the globe. International organisations will be illustrated as the key component of a highly interconnected world in need of governance structures, however tenuous. A strong emphasis will be put on environmental questions, particularly climate change, and the student will familiarise with the specific difficulties characterising environment protection in a globalised world with high levels of resource competition.</p>				

Course Code	5112265	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Public Management				
Faculties	AOKI Naomi				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to introduce selected topics of public management research and reform discourse. It is designed to serve students who aspire to work for a public</p>				

	organization or to become informed citizens who can critically assess the functioning of their government organizations. The lectures cover theories and empirical research findings, as well as real-world examples, and the treatment of topics is comparative and international in scope; this approach helps students to look at their own countries from an outside perspective and to see their distinctiveness. It also helps students to see trade-offs involved in different approaches to public management, which can differ substantially at the international level. Discussions are based on cases and questions prepared by the instructor.
--	--

Course Code	5112270	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Security Studies				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>The aim of this module is to introduce students to key concepts and issues that constitute the agenda of Security Studies today. It stresses different approaches to understanding security; and the key ongoing transitions and drivers within the global system, which has led to a mix of both 'old' and 'new' security challenges to be addressed. Various historical and theoretical debates on what might be termed 'classical' or 'old' security concepts in the 21st century are examined, such as the role of Great Powers, the Security Dilemma, Arms Races; territorial disputes and geo-political competition. At the same time, it also enables students to understand current debates about the impact of globalization on security through studying issues such as trans-national terrorism; the spread of infectious diseases and ethnic conflicts. These may be loosely labelled the 'new' security agenda. It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the global system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global security agenda of the new millennium will be shaped by drivers of change such as globalisation and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools 2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives 3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 4. Critical thinking, analytical and reading skills 				

Course Code	5113007	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Principles of Microeconomics				
Faculties	OGAWA Hikaru				
Course Objectives/Overview	This course covers the introductory microeconomics to students who are not majoring in Economics. It provides key concepts, economic ideas, and a framework for learning about microeconomics. The course places primary emphasis on the role of market, and then analyzes the role of government in the market.				

Course Code	5113009	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Principles of Macroeconomics				
Faculties	YOSHINO Naoyuki				
Course Objectives/Overview	The main objective of this course is to give beginners a basic understanding of the system of overall economy, with emphasis on the theory. This course is a further study from your microeconomics course where you studied on the decision-making of rational consumers and producers.				

Course Code	5113016	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Microeconomics for Public Policy				
Faculties	IIZUKA Toshiaki				
Course Objectives/Overview	This is an introductory course in microeconomics, which covers the fundamental theories of the consumer, the firm, and markets. Emphasis will be on applying these theories to understanding and evaluating real world events so that the student learns to think like an economist. It assumes no prior knowledge of economics, and some of high school level mathematics and graph based reasoning will be used.				

Course Code	5113017	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics for Public Policy				
Faculties	IIZUKA Toshiaki				
Course Objectives/Overview	Under the supervision of Prof. Iizuka, the TA will go over some lecture materials, problem sets and homework materials.				

Course Code	5113018	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics for Public Policy				
Faculties	KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	This course aims to provide a fundamental knowledge of macroeconomics primarily for students majoring in public policy, including first-time learners. I intend students to be able to better understand economic news, articles, and financial market reports among other materials related to macro-economy. Students will also learn skills to handle macroeconomic data.				

Course Code	5113019	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics for Public Policy				
Faculties	KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	This course complements "Macroeconomics for Public Policy" [5113018] via recitation sessions by teaching assistants (TAs). Each session reviews the contents				

	of the preceding main classes and TAs assist students to solve the homework problems.
--	---

Course Code	5113021	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Microeconomics				
Faculties	WATANABE Yasutora				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to develop understandings of microeconomic analysis. We study how economic agents, such as consumers and firms, make choices. The first half of the course will cover the standard price theory. After covering the partial equilibrium analysis, we dig deeper into consumer behavior and producer behavior, and then equilibrium under monopoly and competitive market. In the second half of the course, we cover strategic interaction (game theory), externalities, public goods, models of imperfect competition, asymmetric information, and other related topics.				

Course Code	5113031	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics				
Faculties	WATANABE Yasutora				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to develop understandings of microeconomic analysis. We study how economic agents, such as consumers and firms, make choices. The first half of the course will cover the standard price theory. After covering the partial equilibrium analysis, we dig deeper into consumer behavior and producer behavior, and then equilibrium under monopoly and competitive market. In the second half of the course, we cover strategic interaction (game theory), externalities, public goods, models of imperfect competition, asymmetric information, and other related topics.				

Course Code	5113041	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics				
Faculties	NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	In this course, students will learn various models that help us (i) better understand the dynamics of key macroeconomic variables and (ii) analyze how governments and the central bank should design their policies.				

Course Code	5113051	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics				
Faculties	NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	"Practice Session for Macroeconomics" provides TA session series that complement "Macroeconomics."				

Course Code	5113060	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	統計分析手法				
Faculties	陣内 悠介				
Course Objectives/Overview	統計学の基礎理論を習得し、データ分析のスキルを身に付けること。				

Course Code	5113061	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Statistical Methods				
Faculties	FABINGER Michal				
Course Objectives/Overview	<p>This is an introductory course in statistics and/or econometrics. The objective of the course is to make students become familiar with how to perform exploratory data analysis, use and interpret basic descriptive statistics, probability distributions, point and interval estimations, hypothesis testing, forecasting, regression analyses, and machine learning. The course will focus on concepts and practice needed for understanding the existing empirical studies as well as for carrying out their own empirical works in economics. Students will learn how to apply the methods presented in class to datasets using Python and R.</p> <p>Course will cover probability theory of discrete and continuous random variables, sample statistics, estimation, hypothesis testing, regression, regularization and validation, omitted variable bias, instrumental variable estimation, panel data, time series analysis, and machine learning, including basics of deep learning.</p>				

Course Code	5113065	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Statistical Methods				
Faculties	FABINGER Michal				
Course Objectives/Overview	This is a practice session that complements Statistical Methods (5113061).				

Course Code	5113074	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course introduces basic econometrics that is indispensable to evaluate the effectiveness of public policies.				

Course Code	5113075	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculties	FU Rong				

Course Objectives/Overview	This course introduces basic econometrics that is indispensable to evaluate the effectiveness of public policies.				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5113084	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113085	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculties	FU Rong				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113090	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	公共政策の経済評価				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	<p>政策形成をより合理的なものに改善していくためには、政策分析の質的向上が必要である。</p> <p>なかでも、政策の効果を経済学的に分析することは、その結果を肯定するにせよ、否定するにせよ、政策形成上必須であろう。しかし、これまで、政策の効果を経済学的に分析することは日本の政策現場では伝統的に軽視されてきた。</p> <p>本科目の主要な目標は、以下の2つである。1つは、費用便益分析の標準的な教科書に基づいて費用便益分析の全体像を習得することである。もう1つは、費用便益分析の知識を理解するには現実の事象への応用が不可欠という観点に立ち、受講者がグループに分かれ、社会資本投資、市場設計、規制評価等、自ら選んだ事例について費用便益分析を行うことである。</p> <p>なお、ミクロ経済学、マクロ経済学及び統計学の素養が前提となるが、高度な経済学的分析を追求するものではなく、前提とする水準は「Principles of Microeconomics」及び「統計分析手法」程度である。</p>				

Course Code	5113100	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	公共政策の経済評価実習				

Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	「公共政策の経済評価」の理解を深めるため、演習問題や、費用便益分析を現実に適用するための実習を行う。				

Course Code	5113152	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Trade Policy				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>This is an introductory class to International Trade. In the class we will address the main issues associated with international trade:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Is free trade beneficial to countries? - What are the potential consequences of trade liberalization? - What are the ways trade can improve country's welfare? - How does trade impact income inequality? - Who are the winners and losers from trade? - What are the right trade policies? <p>While answering these questions, we will cover some of the main theories of international trade: Ricardian, Heckscher–Ohlin, Krugman, and Melitz models. The focus will be in understanding these theories on the conceptual level, rather than going into in-depth mathematical details of these models.</p>				

Course Code	5113161	Term	A 1	Credits	2
Course Title	International Financial Policy				
Faculties	UEDA Kenichi / KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	<p>Understand objectives and effects of key policies in international finance from both theoretical and empirical perspectives. In particular, this course focuses on a fundamental question: How does, and should, the international financial system play roles in two important macroeconomic phenomena, i.e., business cycle and economic growth? In addition, this course covers frequently discussed recent policy issues such as monetary union, international reserve, and spillovers of macroeconomic policies to other countries.</p>				

Course Code	5113180	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Microeconomic Approach				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to understand the basic concepts and methods of development microeconomics. It is designed for a wide range of students who are interested in international development. It covers development, poverty, inequality, vulnerability, program evaluation, demography, health, education, labor, migration, social protection, finance, political economy, and institution. This lecture course is offered in English.</p>				

Course Code	5113190	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Macroeconomic Approach				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	Understand key policy issues in macro development from both theoretical and empirical perspectives. First, students are expected to build theoretical foundations through neo-classical growth theory and the new growth theory. Second, students are expected to build empirical foundations through key data analyses for the catch-up process of developing countries. Third, students are expected to recognize various barriers for economic development, effects of removing barriers in the development process (of now advanced countries), and policy implications from the related studies. In addition, students are expected to find that key barriers lie in the financial system and the labor markets as well as in the social institutions (e.g., family and gender issues).				

Course Code	5113195	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Political Economy of Regime Change				
Faculties	TAKAGI Yuki				
Course Objectives/Overview	This course is an upper-level undergraduate seminar providing an introduction to the political economy of regime change. The course explores theories of state consolidation, the determinants of regime types, and the effects of regime types, and how regimes change. Some of the questions we will investigate in the class include: Why are some states democratic but not others? Does democracy lead to economic growth? What are the long-term effects of geography and natural endowments? This class will help you develop an understanding of the answers to these questions.				

Course Code	5113240	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Public Sector				
Faculties	OGAWA Hikaru				
Course Objectives/Overview	This course covers the fundamentals of economic analysis of public sector ("public economics"). Specifically, it provides an overview of the key theorem, hypothesis, and the concept in micro- and macroeconomic public policy analyses. Particular emphasis is directed at developing tools that can be applied theoretically to clarify essential economic concerns in the current public sector. Such concerns include the public debt, fiscal sustainability, pension, equality issues, externality, public goods provision, and optimal taxation..				

展開科目

Topics Courses

22206 Course Code	5121010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	環境法				
Faculties	中谷 和弘／大塚 直／桑原 勇進				
Course Objectives/Overview	わが国では幾多の公害事件訴訟を通して不法行為や差止め等をめぐる民事法理論に大きな進展が見られたところであり、まずはその流れを把握するとともに最新の問題状況を正確に理解することが第一の課題である。しかし、損害賠償や差止めといった民事法の伝統的なテーマに思考を局限することなく、環境救済法という枠組みの下に、経済学理論に基づく近時の救済手法や環境哲学に立脚する新たな救済原理などをも視野に収めた幅広い考察を求めていく。				

Course Code	5121020	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	競争政策と法				
Faculties	白石 忠志				
Course Objectives/Overview	競争法（独禁法）の基本的な枠組みと考え方を理解する。法令・ガイドライン・主要事例などに根ざした体系的講義を、具体的な事例等によって肉付けする。				

Course Code	5121040	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	経済刑法				
Faculties	樋口 亮介				
Course Objectives/Overview	経済取引に関わる犯罪についての理解を深める。具体的には、企業の処罰、企業内の個人の過失責任、マネーロンダリング、独占禁止法、証券犯罪、横領・背任を扱う。				

Course Code	5121050	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共哲学と法				
Faculties	瀧川 裕英				
Course Objectives/Overview	<p>公共政策は公共的理由によって正当化されることが必要である。では、公共的理由とは何か。公共政策を正当化するとき、援用できる理由は何であり、援用できない理由は何であるのか。</p> <p>例えば、特定の文化芸術を選別して公的支援を行うことを正当化するとき、その文化芸術が伝統を持つということは援用できる理由か。その文化芸術がマイノリティーのものかどうか。その文化芸術が観光資源となるということはどうか。そもそも文化芸術に対する公的支援は正当化されるのか。</p> <p>この授業は、論争的で実践的な問題を検討することを通じて、何が公共的理由となりうるかを考察する能力を養うことを目的とする。</p>				

	それと同時に、公共政策を提案するときに必要な情報とは何か、という点をも考察していく。
--	--

Course Code	5121080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	労働法政策				
Faculties	濱口 桂一郎				
Course Objectives/Overview	伝統的な公労使三者構成の審議会において労使団体と政府(厚生労働省)の間で行われる対立と妥協のメカニズムとともに、近年顕著な官邸主導による立法も含め、具体的な労働立法の政策決定過程を跡づける形で、労働法制の内容を説明する。いわば、完成品としての労働法ではなく、製造過程に着目した労働法の講義である。				

Course Code	5121110	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際租税法				
Faculties	増井 良啓／佐藤 修二				
Course Objectives/Overview	租税法の国際的側面を学びます。企業活動がグローバル化する中で、国際取引を行ったときに課税がどうなるかを検討できると、法律家として仕事をする上で大きな強みになります。そこでこの授業では、所得課税を中心にして、国際的な課税問題についてまとめた見通しを得ることを目標にします。制度の理論的基礎を講ずるのみならず、具体的な取引事例を素材とすることにより、問題発見やプランニングのための力を養います。				

Course Code	5121121	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Environmental Law				
Faculties	TAKAMURA Yukari				
Course Objectives/Overview	International environmental law (IEL), an evolving branch of international law aimed at protecting the environment, has provided a legal framework for addressing transboundary environmental challenges. The objectives of the course is to deepen understanding of historical developments, basic concepts and principles, feature of IEL in a comprehensive manner, and to examine various contemporary and cross-cutting issues, such as climate change, trade and the environment, and human rights and the environment, with view to exploring a possible solution in a practical and creative manner.				

Course Code	5121130	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際空間秩序と法				
Faculties	中谷 和弘				

Course Objectives/Overview	<p>演習「国際空間秩序と法」</p> <p>陸・海・空・宇宙を対象とするいわゆる領域論は、国際法の諸分野の中でも非常に重要な分野であり、国際法の解釈・適用の上でもまた外交政策・公共政策上も興味深い様々な素材を提供してきた。</p> <p>この授業では、海洋、国際航空、宇宙、領土をめぐる国際法上の諸課題について、実定国際法の解釈はもとより、明日のあるべき法(国際空間秩序)の提案も射程に入れつつ検討を行う。あわせて、第5の空間といわれるサイバー空間に関する国際法問題(特にサイバー攻撃の問題)についても検討してみたい。</p>
----------------------------	--

Course Code	5121150	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ法				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>東西冷戦の終結とともに、ヨーロッパ連合(EU)は、安全保障をも視野にいたった広い権限を持つ地域的国際組織として、今や国際経済のみならず国際政治においても大きな意義を持つ存在となった。</p> <p>また、ヨーロッパ統合の進展とともに、EU法の重要性は増加の一途をたどっており、特に、EU法の基礎的知識は、EU加盟国の国内法理解に際しても今や不可欠となっている。ヨーロッパ法が、いかにして国内法においても重要性を獲得するようになってきたのかは、国際レベルにおける法の支配の確立事例としても極めて興味深い問題である。</p> <p>近年のユーロ危機、移民危機、ポーランド・ハンガリーの権威主義体制化問題、更にイギリスのEU脱退(Brexit)移行期間の2020年末満了とその後の通商関係等、岐路に立つ欧州統合に関する話題には事欠かない。これらの「複合危機」を背景として、EUに関する報道は少なくないが、残念ながら、日本のマスコミ関係者でも、現実のEUにおける制度設計、法形成がどのようになされ、またどのように運用されているかにつき、正確な理解を持つ者は多くない。一方で、Brexitキャンペーンの際に、「ブリュッセル」が諸悪の根源であって、EUから脱退しさえすれば、全ての問題が解決するという、単純明快なポピュリストの主張が、しばしば報道されたことは記憶に新しい。ところが、Brexitを巡るその後のイギリス国内政治の混迷により、「行き過ぎた欧州統合」を非難するだけで、「グローバル化」による相互依存関係が進んだ現在の世界における全ての問題が解消するわけでもないことが、明らかとなった。EUが常に「非民主的」だと非難され、「ブリュッセル」だけが諸悪の根源だとする非難は本当に正しいのか、正しいとした場合、誰もが「民主的」だと認めるような制度は、どのようにすれば形成できるのか。それほどまでに「非民主的」な組織であるにも拘らず、なぜ加盟国は、イギリスの後を追って次々に脱退し、あるいはEUを直ちに廃止しようとならないのか、といった疑問が次々に浮ぶであろう。</p> <p>一言で言えば、グローバル化の進展過程において、古典的な主権国家の枠を超える「民主的」な国際組織をどのように設計すべきかと</p>				

	<p>いう大きな問題としても、EU の制度・運用の研究は重要な意義を持つのである。</p> <p>以上のように、EC/EU 法は、従来の古典的国際法とどのように異なるのか、加盟国の国内法との間にどのような影響関係があるのか、「民主的」な国際組織の設計はどのようなものであるべきかといった問題は、学問的にも重要な理論的問題を提起している。</p> <p>本講では、上述のような近時の問題状況をも念頭に置きつつ、現行法たるリスボン条約を中心に講義を行う予定である。EU 法の対象分野は、共同体管轄事項が拡張されてきた結果、今や多岐にわたっているが、EU 組織法の理解は、個別の EU 実体法理解のため不可欠の前提となる。本講では、EU 法の総論部分にあたる組織法、具体的には、EU の機構、法源、争訟制度等について順次講じる予定である。</p>
--	--

Course Code	5121201	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法 1				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>ヨーロッパ統合の大きな特色は、「法による統合」であることである。特に、広義のヨーロッパ法(EU 法およびヨーロッパ人権法)の国内法に対する優越の結果、加盟国においては、国内法の「ヨーロッパ法化」が近年顕著な現象となっており、ヨーロッパ法の影響を無視して加盟国の国内法のみを研究することは、もはや困難となってきた。特に、ヨーロッパ諸国の基本権保障については、ヨーロッパ人権条約および EU 基本権憲章の影響を無視することはできなくなっている。</p> <p>本演習では、フランス国務院 (行政裁判所系統の最上級審)のトップであった Jean-Marc Sauvé 副院長の論文を教材として講読する予定である。同論文は、国内裁判所構成員の視点から、国務院による EU 法およびヨーロッパ人権法適用の展開を回顧するものであり、近年のフランスにおけるヨーロッパ法の影響増大と、それに対する対応の実態を垣間見せてくれるであろう。</p>				

Course Code	5121202	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法 2				
Faculties	伊藤 洋一／網谷 龍介				
Course Objectives/Overview	<p>EU 加盟国における、国内法の「ヨーロッパ法化」が顕著な現象として注目されるようになって既に久しい。このような現象は、EC/EU 法における直接適用性・国内法に対する優越原理の形成と不可分である。</p> <p>しかし、ヨーロッパ法といえども、一日にして形成されたものではない。往々にして見受けられるデマゴグの主張するところとは異なり、ヨーロッパ法は、決して加盟国と全く無関係に「ブリュッセル</p>				

	<p>ル」が形成してきたものではなく、既に半世紀にわたる、EC 裁判所 (リスボン条約発効以後は、EU 裁判所と改称)と国内裁判所との相互影響関係、近年頻繁に使われるようになった言葉を用いれば「裁判官の対話(dialogue des juges, judicial dialogue)」を通じて形成されてきたものである。</p> <p>残念ながら、日本における従来のヨーロッパ法研究は、ともすればヨーロッパレベルの動向のみを対象とし、その動的な性格を軽視しがちであったが、ヨーロッパ法は、決して EU 裁判所が象牙の塔の中で無から作り上げたものではなく、加盟国の国内裁判所との間の相互的影響のもとに形成されてきたものであることを忘れてはならない。換言すれば、国内法の「ヨーロッパ法化」は、一面では、ほかならぬ加盟国の国内機関の手によるものなのである。</p> <p>このような相互的影響は、実定法解釈学としての EU 法研究のみならず、アメリカを中心とする政治学研究の対象としても注目を集めるようになり、「法と経済学」ならぬ「法と政治学」、具体的には judicial politics 研究として少なからぬ研究業績が蓄積されてきている。ヨーロッパ統合の特色は、「法による統合」である点にあると言われてきたが、これは逆に言えば、EU 法が単なる実定法解釈に止まらない政治的意義を持つということであり、EU 法の形成過程を深く理解するためには、政治学との協働が欠かせない。</p> <p>そこで、今年度は、judicial politics 研究の展開に大きな影響を与えた論文(Stein, Eric, <i>Lawyers, Judges, and the Making of a Transnational Constitution</i>, <i>American Journal of International Law</i> 1981, vol 75, pp. 1-27; Weiler, Joseph H.H., <i>The Transformation of Europe</i>, <i>Yale Law Journal</i> 1991, vol. 100, pp. 2403-2483)を中心に、その後の研究の展開を概観する合計約 10 本程度の論文(英語)(開講時にリスト配布予定)を取り上げる予定である。</p> <p>本授業は、judicial politics に関する総論的論文および各論的論文の均衡、参加者数等をも考慮し、適宜選択した論説を、参加者(参加者の人数によっては、グループ)が毎回分担報告する形式で進める。</p> <p>指定された文献を手がかりとして、EU 裁判所と国内憲法裁判所との相互影響関係を具体的に検討することにより、ヨーロッパ法に対する理解を深めることが、本講の目的である。</p>
--	--

Course Code	5121227	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国家と法の基本問題				
Faculty	石川 健治				
Course Objectives/Overview	戦後日本の最高裁判例のうち、読み応えのあるものを選んで、判例の読み方を訓練することを目的とする。				

Course Code	5121271	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融商品取引法				
Faculty	大崎 貞和				

Course Objectives/Overview	日本における資本市場法制の中核をなす金融商品取引法の概要を解説する。法規制の技術的側面に過度に目を奪われることなく、基本的な構造と制度の背景となっている考え方を把握することを目指す。資本市場をめぐる時事的な話題も取り上げ、現実の市場のダイナミズムを感じ取れるような講義にしたい。				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5121272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	上級金融商品取引法				
Faculties	三井 秀範				
Course Objectives/Overview	S セメスターの授業を通じて金融商品取引法の基礎を理解していることを前提として実務上の問題となることの多い論点を取り上げ、問題の背景や争点、その経済的・社会的な影響をも含めた深い理解に努め、実務家として、将来、実務上の取扱いが未確定・不確定な問題に遭遇した場合に対応できる応用力を養う。				

Course Code	5121275	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	知的財産法演習				
Faculties	大淵 哲也				
Course Objectives/Overview	知的財産法に関して、総合的な判例研究を行う。法的分析力・思考力・表現力等の涵養を主眼とする。本演習においては、特定の判例を指定するという形を取らず、特定の重要テーマを指定した上で、そのテーマにおける重要判例を自ら探し当て、これに分析・検討を加えるという、より高度ともいべき判例研究を行う。テーマの選定に当たっては、特に、判例等の今後の大きな動きが期待される研究実務の最先端のテーマに力点を置く。判例に重点を置くが、学説や立法論等にも十分ふれるようにする（特に判例の乏しい分野について）。新たな分野に果敢に挑戦する受講者の参加を期待したい。				

Course Code	5121290	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	医事法				
Faculties	米村 滋人				
Course Objectives/Overview	医事法は、医療に関するさまざまな法律問題に加え、胚、死体、ヒト由来組織・臓器の法的地位、さらには種々の医学・生命科学研究の法規制の問題など、きわめて広い範囲にわたる問題を扱う法領域である。これらの問題を考える際には、民刑事法、行政法などの一般的知識を前提としつつ、さらに医療政策や生命倫理なども考慮した複合的な問題解決能力が必要となる。本講義では、一般的な医事法の解釈問題につき解説を行うのみならず、医療・医学研究の実態や近時の動向を盛り込みつつ、現実に発生している法的問題を扱う				

	ことで、医療を中心とする法的諸問題の問題解決能力を涵養するとともに、医療のあり方や法の役割についての理解を深めることを目的とする。
--	---

Course Code	5121291	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医事法発展演習				
Faculties	米村 滋人				
Course Objectives/Overview	<p>医事法は、医療や医学研究に関する法律問題を扱う法分野である。従来から存在した医療過誤・薬害等の類型に加え、近時では特殊医療や医学研究に対しても法規制が強化されており、この分野に関する法律問題は急速に拡大しつつある。ところが、これらの問題は法学部・法科大学院の講義で扱われないことが多く、また医学や医療政策等の総合的な知識が必要であるため、独学での学習は相当に困難である。本科目は、医療・医学研究の分野で発生している法律問題に関して、医学・法学・公共政策学等の専門家をゲスト講師に招くなどして背景的知識を補いつつ、問題の多角的な検討を行い、当該分野の法制度のあり方などにつき発展的な考察を行うことを通じて、医学・法学の両者にまたがる専門的問題解決の能力を培うことを目的とする。</p>				

Course Code	5121300	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	金融法				
Faculties	加藤 貴仁／三井 秀範				
Course Objectives/Overview	<p>この講義では、金融実務に詳しい実務家をゲストとして招いて実務の現状や実際に生起している問題点などを具体的に話してもらい、それに基づいて理論的な分析や展望などを試みる。</p>				

Course Code	5121380	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	法医学				
Faculties	岩瀬 博太郎				
Course Objectives/Overview	<p>法医学とは法が適正に執行されるべく医学的な助言を行うための学問である。すなわち、国民の安全や権利を守るための医学といえる。法医学は死因究明のほか、虐待を受けた小児等の保護も業務として実施しているが、本講義ではそうした法医学の目的や業務を理解することを目的としている。</p>				

Course Code	5121424	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	アメリカ信託・信託法				
Faculties	溜箭 将之				
Course Objectives/Overview	日本で高齢化が進んでいることは周知のとおりだが、アメリカでは日本に先んじて高齢者法の重要性に注目してきた。本授業では、アメリカにおける高齢者に関わる法を分野横断的に検討する。高齢化社会への日米の取り組みを見てゆく中で、これからの法律家の取り組むべき課題を探るとともに、日本とアメリカの社会のあり方についても考えてゆくことを目標とする。				

Course Code	5121433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	証券市場法演習				
Faculties	大崎 貞和／朱 大明				
Course Objectives/Overview	金融商品取引法に関する基本的な諸問題について、海外の法制との比較を踏まえつつ、法の考え方を学ぶとともに、実務的な論点について検討する。				

Course Code	5121436	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際商事仲裁				
Faculties	唐津 恵一				
Course Objectives/Overview	企業活動のグローバル化に伴い、国際商取引紛争は増大している。国際商取引に関する紛争解決方法として、国際商事仲裁が定着してきており、日本企業が当事者となる国際商事仲裁事件数も増えてきている。本講義においては、序盤に仲裁制度の基礎知識を習得したうえで、国際商事仲裁に関する理論的な枠組みを理解し、中終盤では国際商事仲裁の各論点につき、実務的な観点から、理解を深める。序盤は日本人教員が中心となり日本語で行うが、中終盤は国際商事仲裁に精通した外国人実務家が英語により行う。				

Course Code	5121450	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	企業法務				
Faculties	唐津 恵一				
Course Objectives/Overview	上場企業における法務部門が担うべき機能を把握することが目的である。上場企業経営における資本市場との関りを理解したうえで、利害関係者が多岐にわたり、多くの法律が関係するプロジェクトであるM&Aを題材に、現実に動いている実例の分析や、仮設のプロジェクトでのビジネスプランニング・交渉・契約締結に至るプロセスを体験的に踏襲する。初めの数回は、企業法務一般論、企業価値論、M&Aプロジェクトのプロセス等、担当教員の講義により				

	進める。M&Aに必要な法律・会計・税務等の基本知識は、各参加者が分担して調査・報告して、共通の知見を把握する。終盤には、企業経営者、企業法務担当者、弁護士、会計士、税理士等のゲストを招きご講話していただく。
--	---

Course Code	5121452	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	アジア・ビジネス法				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルに事業展開する上で必須の機能である「国際企業法務」を、アジア（中国・香港及びいくつかのASEAN 主要国を取り上げる予定）をテーマとして概観する。事業の法的イシュー・リスクを発見し、最適解を導き出すことにより、その持続的な成功を法的に担保するという、所謂「リーガルリスク・マネジメント」（これはビジネスパーソンのコアスキルである）の素養を身に着けることが目的である。将来、企業の法務部門や事業部門で、アジア関係業務を中心に専門性を活かして活躍したい参加者を想定しているが、アジアに関心を持つ参加者も可能な限り歓迎する。</p>				

Course Code	5121454	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際ビジネス法				
Faculties	唐津 恵一／平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルにビジネス展開を行うにあたっては、様々な法分野にまたがる国際的な法知識を有するとともに、これを駆使していかに企業価値を最大化するかというビジネスセンスを有し、かつ言語を含めた国際的素養を有する法務人材が求められる。本授業はこのような人材育成を念頭に、外国人ゲストスピーカーも含めた複数の実務経験者が教員となり、実例を中心に、ビジネスのさまざまな局面における法的問題を概観する。</p> <p>Nowadays, companies developing their businesses globally need legal experts, who have knowledge of various areas of international law, good business sense for utilizing such knowledge to maximize corporate value and broad exposure to international matters including knowledge of foreign languages. This course will seek to develop student awareness and knowledge of the foregoing human resource imperatives by examining legal issues that arise in various business situations by introducing cases. Lectures will be conducted by instructors, including foreign guest lecturers, who have experience in this field.</p>				

Course Code	5121461	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Society in East Asia				
Faculties	MATSUBARA Kentaro				

Course Objectives/Overview	This seminar aims to discuss the social / historical bases on which a modern legal system might operate in various East Asian societies, and to provide an introduction to some of those problems involving the integration of different legal traditions into a pluralistic yet coherent legal regime. We will focus on the tensions experienced by these societies, involving the importation of what were presented as "universal" values and norms, and the near-universal resistance to these values and norms, such resistance being based on the notions of custom and tradition. While the initial focus will be mainly on the experiences concerning the formation of legal institutions in China and Japan, students will be encouraged to bring in perspectives from other societies as well. The problems discussed will include: the difficulties regarding what exactly can be identified as East Asian legal traditions; how legal regimes were structured through the actions of actors exploiting the plurality of legal traditions; and how the relationship between legal arrangements and the political power-structure played out. Particular attention will also be paid to the issues of colonialism, and the uneasy relationship between Modernisation, Westernisation and Colonisation in these societies. The ability to read source materials written in Chinese and/or Japanese would be of much help, but will not be essential.
----------------------------	---

Course Code	5121470	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法の基本問題				
Faculties	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	今日、人権は統治のための普遍的枠組みと理解されている。 このゼミでは、ドイツの代表的な国際法学者で国際立憲主義者としても知られる Anne Peters の著作を読んで、現代の国際法における人権や個人の位置づけについて討議する。				

Course Code	5121490	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法実務演習				
Faculties	岡野 正敬／北川 剛史				
Course Objectives/Overview	外交における国際法の役割につき、具体的な事例・問題に則し、実務家の視点を踏まえて理解する。各回毎に講師が具体的な事例・問題を設定して関連する国際法上の論点を提起するので、参加者は提起された国際法上の論点について各自の考えを整理し積極的に議論に参加する。				

Course Code	5121500	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際海洋法制度概論				
Faculties	西村 弓／許 淑娟／西本 健太郎				
Course Objectives/Overview	海洋にかかわる国際法上の問題は、日本の対外関係および国際法実務において重要なものとなっている。そこで、本授業では、海洋にかかわる国際法制度の全体的な枠組について理解を深めることを				

	<p>目的とする。その検討のための具体例として、東シナ海のガス田開発問題、ソマリア沖海賊問題、資源探査や科学調査を含めた海洋調査規制など、近年、日本との関連で実際に懸案となっている諸事象をとりあげて考察する予定である。</p> <p>担当者によるリレー講義の形式で進める。トピックに応じて、外交実務家等をゲストスピーカーとして招聘する可能性がある。また、質疑応答を通じて、多様な参加者とのディスカッションを取り入れる。学際海洋教育プログラム科目の一つである。</p> <p>文献は随時指定し、必要に応じてプリントを配布する。海洋法に関する条約・国内法を収録した冊子を配布する。</p>
--	--

Course Code	5121510	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	コーポレートガバナンス				
Faculties	林 良造／中原 裕彦／佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>わが国では、90年代後半のバブル崩壊・不良債権処理の遅れの顕在化以降、会社法・金融商品取引法・会計規則・税法などの諸制度の改正が進み、株式所有形態の変化などと相まって企業経営の監視は格段に充実された。また、近年では成長戦略の一環としてコーポレートガバナンスに関する関心が高まっている。昨年には「機関投資家が対話を通じて企業の中長期的な成長を促すなど、受託者責任を果たすため」として『責任ある機関投資家』の諸原則(日本版ステュワードシップ・コード)が実施され、さらに今年には「会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため」として「コーポレートガバナンス・コード」が実施に移された。</p> <p>この授業では、我が国のコーポレートガバナンス制度が直面している課題及び適切な制度構築に向けた論点を検討するとともに、実際のコーポレートガバナンスの現場や各国のガバナンス制度の違いを把握することから、さらなる制度設計に向けた視座を得る。</p>				

Course Code	5122011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	市民社会組織・政策論				
Faculties	田中 弥生				
Course Objectives/Overview	<p>本講義の目的は2つある。第1にNPOやNGOなど市民社会組織の理論と現状を学び、関連の制度および政策を分析することである。第2は、新たな試みで、非営利組織の評価論の基礎を集中的に学ぶことである。</p> <p>市民社会組織が、政策的課題として本格的に取り上げられるようになったのは東西冷戦終焉直後からである。だが、主たる期待は社会サービスの補填機能であった。昨今、ポピュリズムや民主主義の危機が取りざたされる中で、大きな緊張感が生じている。こうした中で市民社会は正にも負にも作用する。そこで、ナチスなど歴史的</p>				

	<p>変遷にも着目しながら、市民社会とその中軸を担う非営利組織について考察する。</p> <p>日本では人生 100 年時代と言われ、働き方や人生設計のあり方の転換を求められている。こうした中、パラレルキャリアが注目を浴びている。日本の大企業を対象に行ったアンケート調査(1.7 万サンプル)の分析結果とあわせて、高度化するボランティア・マネジメントについて海外の最新動向も踏まえ学んでゆく。</p> <p>また、昨年より評価論の基礎を集中的に学ぶ機会を設けた。SDGs や休眠預金法の施行にあたり、官民より大量の資金が非営利セクターに投じられる可能性があるが、同時に、評価による説明責任が求められるようになってきている。他方で、非営利の評価は技法が先行し、それに振り回される傾向がある。そこで、ベースにある考え方や思考を抑えた上で、代表的な手法についてワークショップ形式の講義を交え学んでゆく。なお、これらは政府が実施する政策評価論と共有するもので、公共セクターにも適用されている。</p> <p>【内容】 以下のような内容を網羅する予定である。詳細は詳細版を参照のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクション：日本社会の持続性と非営利組織 ・社会統治と市民社会 ～ドラッカーとナチスとボランティア～ ・市民社会組織運営：経営論 ・新人材開発：パラレルキャリアと高度化人材マネジメント ・市民社会政策の分析Ⅰ：資源提供者と非営利組織の仲介機能の設計 ・市民社会政策の分析Ⅱ：官から民へ、構造改革と NPO 政策 ・評価論「変化とは何か 進捗と効果を科学する～ ・評価論「目的とは何か 課題分析、目的分析、指標設定」
--	--

Course Code	5122035	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政府間関係論				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、自治体行政学を受けて、現代日本の自治体行政を、複数の政府間の関係からなるシステムである点に着目して、実際の制度と運用に即して概観することを目的とする。しかし、行政学の一分野としての側面を重視する観点から、現代日本の行政全般に関しても注意を払う。</p> <p>進め方は、日本及び他の先進諸国の政府間関係・地方自治・都市行政および行政一般に関する基礎的文献を素材として、指定された文献を事前に読んでくることを前提に、担当学生による報告と、解説の講義と、参加者間の討論を進めることとする。</p> <p>その意味で、実質的には演習形式を想定している。</p>				

Course Code	5122070	Term	S1S2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	地域政治 A (現代中国の政治)
Faculty	高原 明生
Course Objectives/Overview	この講義は、建国以来、今日にいたるまでの中華人民共和国の政治と外交を主な対象とする。実質的な一党独裁を続ける中国共産党の思想、組織、政策、行動様式などが、如何に変化してきたか、あるいは変化しないままできたか、ということが中心問題である。当然ながら、その変化は国際環境の影響を受けている。 日本やアジアのみならず、世界にとって、中国の重要性がさまざまな意味でますます大きくなることは間違いない。中国に関して、しっかりとした根拠に基づき、理性的に議論することが肝要であるが、中国政治は複雑かつはなはだ不透明である。それについて学び、理解することは難しいが、面白い。

Course Code	5122081	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B (現代南アジアの政治)				
Faculty	湯浅 剛				
Course Objectives/Overview	旧ソ連中央アジア 5 カ国 (カザフスタン、クルグズスタン [キルギス共和国]、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン) の地域事情について学びます。また、その周辺地域であるロシア、中国、南西アジア諸国 (アフガニスタンなど) や、米国・欧州諸国など西側の主要国による関与の実態などを織り交ぜながら、ユーラシア内陸部の国際関係の動向と、それがグローバル政治全体に及ぼす影響について考えます。				

Course Code	5122083	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代朝鮮半島の政治)				
Faculty	木宮 正史				
Course Objectives/Overview	① 韓国 (朝鮮半島) の現代史に関する理解を深める。 ② 韓国 (朝鮮半島) の政治・経済・国際関係に関する分析を通して、政治学、国際政治学の理論に関する理解を深める。				

Course Code	5122084	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代ラテンアメリカの政治)				
Faculty	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	ラテンアメリカ諸国の独立以降の政治を、経済・社会変動の文脈の中で理解することを目的とする。時期的には現代に重点を置く。ラテンアメリカにおける人権侵害と移行期正義にある程度の時間を割く。				

Course Code	5122085	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代アフリカの政治)				
Faculties	遠藤 貢				
Course Objectives/Overview	<p>国際社会の中において、(主に独立後の) アフリカ諸国が抱えてきた諸問題を俯瞰するための多角的な視点を提供する講義等を行う。アフリカ諸国の国家や政治体制、政治変動の特徴、政治経済の論理と援助の潮流、国際関係における位置の変容、あるいはグローバル化との関わり、多発する紛争とその変容、並びに「紛争後」の諸課題などの問題を検討する。また、これらの作業を通じて比較政治学、ならびに国際政治学の理論に提起されてくる諸問題について考察を加えるほか、政策的課題についても検討を加える。授業では、講義のほかに、より立体的な理解を深めるために、アフリカに関する様々なビデオ鑑賞を行い、感想レポート提出を求める。</p>				

Course Code	5122092	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 C(現代アメリカの政治)				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカの政治制度の概説を行った後、政治過程および政策決定過程の特徴に及び、いくつかの政治的争点について各論的に触れた後、政治文化ないし政治思想的側面から考察を行う。理論的な考察と地域研究的な分析、そして比較論的な視座を交えながら議論を進めていきたい。アメリカ政治の特質を探りつつ、また最近の研究動向にも配慮しつつ、同時に近年の政治変動やトランプ当選の背景、トランプ政権の評価、そして2020年大統領選挙などについても適宜言及したい。</p> <p>日本政治との比較も意識しながら講義を展開し、同時にアメリカ政治を説明するためにアメリカ人政治学者によって開発された理論や学説も適宜紹介する。英文資料も使用する。</p>				

Course Code	5122097	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C (現代アメリカ政治特殊研究)				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカ合衆国における最近のポピュリズムの台頭とエスタブリッシュメントないしエリートの対抗関係について、リベラルと保守の間のイデオロギー的分極化および内政と外交の連関などを絡めながら理解を深める。</p>				

Course Code	5122110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	自治体行政聴査				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	自治体にとって住民の把握は極めて重要な行政である。それは、国による住民制度の枠組みの中で、現場の第一線職員による実務運用の蓄積のなかで、生成発展するものである。それと同時に、住民の把握は単に自治体にとっても必要不可欠だけではなく、国が国民や民衆を把握するうえでも重要な意義を持っているので、国は単に制度を整備することにとどまらず、具体的な国民や民衆の把握に向けて、自治体の実務運用に介入する動機がある。このような重要な住民制度・住民行政について、制度面・実務面の双方から、検討を深めていきたい。				

Course Code	5122135	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	New Dimensions of Security in the Risk Age				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An ability to understand and evaluate a range of new security challenges and policy responses in a World Risk Society interconnected through globalization and technology 2. The linkage between industry, media, politics, and science and its relevance to global security affairs 3. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and theoretical perspectives 4. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 5. Critical thinking, analytical and reading skills 				

Course Code	5122136	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	U.S. Diplomacy toward Asia				
Faculties	MORI Satoru				
Course Objectives/Overview	This is a seminar-style course that will address major themes relating to contemporary U.S. Diplomacy in Asia. The objectives of this course are the following: (A) to gain knowledge of U.S. foreign policy perspectives on contemporary issues in Asia, (B) to develop a realistic appreciation of the intricacies of U.S. foreign-policy making, and (C) to better understand the theory and practice of international relations in Asia.				

Course Code	5122137	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Ethics and International Relations				
Faculties	ORSI Roberto				

Course Objectives/Overview	<p>This course intends to provide an overview of the main ethical questions arising within international politics, both in academic discussions in their historical evolution, and from the perspective of practitioners. It is designed for an audience of postgraduate students. Some background in International Relations theory is welcome, although not required. Ideally, students may take this course following my Introduction to International Politics.</p> <p>By the end of this course the student should have acquired a substantial knowledge of the main questions of ethics in International Relations, becoming familiar with the concepts and jargons of ethical theory, just war, ethics of war and warfare, responsibility to protect, human rights and global justice, as well as political theology.</p>
----------------------------	--

Course Code	5122140	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際政治経済の諸問題				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	<p>本演習は国際政治と国際経済の接点にある各種の問題について実証的に研究することを目的とする。いわゆる国際政治経済論（IPE）は従来から、政治と経済の複雑に絡む問題についてはほとんどすべてとっていいほど網羅的にカバーしている。本演習もその多様性を反映して、国際貿易や国際金融だけでなく幅広い題材を扱う。</p>				

Course Code	5122158	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Insurgency and Counterinsurgency				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar provides students with a basic understanding of a range of academic and policy issues related to what are frequently called “small wars”, or insurgency and counter-insurgency. The seminar introduces theoretical and empirical approaches to the study of insurgency and counterinsurgency, with a particular focus on historical changes in conceptual frameworks for understanding the phenomena of insurgency, and on how policy and strategic responses have been shaped by such conceptualization. The concept of warfare itself is examined.</p> <p>Seminar Objective: On completion of the seminar, students are expected to demonstrate:</p> <ol style="list-style-type: none"> In-depth understanding of the concepts of insurgency and counterinsurgency. In-depth knowledge of history of insurgency and counterinsurgency in the 20th and 21st centuries. Ability to appraise competing theories and interpretations of the origin, concept and dynamics of insurgency, and effectiveness of counterinsurgency. Ability to engage in policy debates concerning contemporary operations such as Iraq and Afghanistan. Ability to use analytical skills and present independent research on topics in this area. 				

Course Code	5122159	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Transformation of Warfare and Technology				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>There have developed quite separate debates concerning, on the one hand, the Transformation of Warfare, and Revolution in Military Affairs on the other. Conventional knowledge is that while the former approach encompasses a vast range of scholarly analysis on how war in the contemporary era might have transformed in all spheres of economy, politics and society, the latter has focused on the impact of technological advancement in a narrower sense on warfare, especially the way in which warfare has been conducted or ought to be conducted. However, to discuss changes in the character of war in these quite distinct spheres, each with specific preoccupations with no interactions, is not very conducive to a meaningful generalization about the transformation of warfare itself.</p> <p>The purpose of this seminar is to consider the impact of modern and contemporary technological changes, especially focusing on communication and media spheres, on the character and conduct of warfare today, hence bridging the two distinct spheres of interests.</p>				

Course Code	5122170	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	西欧比較政治論				
Faculties	中山 洋平				
Course Objectives/Overview	<p>*2020年2月の時点で3つの案を検討している。9月初めまでに確定するのでUTAS上で必ず確認すること</p> <p>A案 19世紀末から20世紀前半にかけての福祉国家発展の初期においては、市民社会に自生的に成立した共済組合などの互助組織を取り込むことで公的社会保障制度の基礎が築かれた。その際、各国毎に取り込み方が異なったことがその後の福祉国家の発展や構造を大きく規定することになる。今回の演習では、各国における共済組合などの発展の軌跡を辿ることで、現代福祉国家形成の歴史過程の理解を深めることを目指す。</p> <p>B案 19世紀末の大衆政治の到来と共に、西ヨーロッパ諸国では大衆組織政党が登場する。従来、日本のヨーロッパ政治史研究では、この過程は主として大衆動員・組織化とサブカルチャー構造の形成という文脈で捉えられてきた。これに対して、今回の演習では、選挙をはじめとする種々の政治制度と政党組織の間の相互作用から政党政治の歴史的発展を説明しようとする研究動向を検討する。</p> <p>C案 グローバル化の進展は先進各国で「民衆」と括りうる諸階層の政治的行動を一変させた。19世紀末の大衆組織化以来、民衆を束ねてきた主要既成政党が衰退ないし変容すると共に、排外主義や権威主義など、これまでの民衆層で主流と目されてきたものとは全く異なる指向が目立つようになってきた。今回の演習では、その実態を比較分析すると共に、将来へのインパクトを展望する。19世紀末の「第一のグローバル化」の時代との比較も視野に入れる。</p>				

Course Code	5122182	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy				
Faculties	A. TAKAHARA / K. IOKIBE / H. KATO / N. KAYASHIMA / S. KITAOKA / N. KITANO / H. SAWADA / T. NISHIZAWA / K. MATSUBARA / R. HAYASHI / I. MAKIHARA / J. YAMADA				
Course Objectives/Overview	This course is designed to offer an overview of Japan's experience in modernization and how it has extended its assistance to other countries' modernizing efforts. As the first non-western country to modernize, Japan's experience, both positive and negative, presents an important reference point for other countries to investigate. This course is conducted in cooperation with JICA, the Japan International Cooperation Agency. Those taking part in the JICA Development Studies Program are required to take this course, while other students are most welcome to take part.				

Course Code	5122201-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Politics and Diplomacy				
Faculties	LIM Jaehwan				
Course Objectives/Overview	This course has three objectives. First, students will build greater confidence and competence in interpreting domestic and international affairs pertaining to China. Second, students will gain a deeper understanding of the rise of China and its future trajectory by identifying and exploring the domestic context in which it is transpiring. Third, students will sharpen the critical skills of analytic reading, preparing themselves for conducting an original research.				

Course Code	5122206	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Relations and Political Regimes				
Faculties	HIWATARI Nobuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this seminar is to familiarize participants with the ongoing developments in international political economy and political science theorizing that is necessary to understand the contemporary developments observed since the mid-1980s.</p> <p>The three decades since the mid-1980s can be characterized as a period in which political liberalization (i.e. the "third wave" of democratization) and market liberalization (i.e. economic globalization) have spread geographically, probably to its limits of late. Such parallel transformations can be ascribed to newly democratizing regimes adopting open-market economic reforms (the "Washington Consensus") to promote growth under the auspices of international economic arrangements and organizations. Noteworthy of this process is the fact that: (a) Western developed democracies had pioneered neoliberal economic reforms prior to developing countries; (b) their dominance of international organizations—especially the IMF and the World Bank rather than the GATT-WTO—and their use of extensive trade agreements have dictated the terms of developing economy integration into the global economy; and that (c) the diffusion of transnational</p>				

	<p>neoliberalism was bounded by domestic resistance within developed democracies and international hostility of authoritarian leaders towards open-market reforms and international arrangements dictated by Western democracies.</p> <p>Ongoing theoretical developments on political regimes operates help us understand: (a) why developing countries differ in their degree of capital liberalization, which makes open-economic growth an attractive option for development but at the costs of enhancing the power of multinational corporations and increasing the role of IMF as the promoter of the Washington Consensus; (b) why only liberalizing political regimes can credibly commit to open-market reforms and join extensive trade and investment agreements as the key vehicle for market opening, given the stagnation of the WHO Doha round; (c) why domestic opposition in developed and developing democracies shape the degree and conditions of extensive economic agreements, and (d) how the spread of extensive trade agreements forces illiberal authoritarian leaders to choose between loosening their grip on the economy at the risk of strengthening political challenges or to explore revisionary development strategies and seek economic cooperation and security alliances with non-Western regimes.</p> <p>By reviewing the analytical frameworks that help us answer these questions, this course enables us to understand the aforementioned developments in the global political economy.</p>
--	--

Course Code	5122211	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	発展途上国の政治				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	発展途上国の国内政治に関連する基本的概念と理論を習得し、発展途上国の政治の構造と力学を広い意味で理論的に理解する。また、政治における暴力の問題を分析する。				

Course Code	5122215	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	先進国の比較政治				
Faculties	網谷 龍介				
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、政党デモクラシーの構造と変容をヨーロッパの事例を中心として検討するものである。具体的には第二次世界大戦後(ca. 1950-80s)の西ヨーロッパにおいて安定をみた、議会を中心とする政党デモクラシーを、「デモクラシーという理念の一つの歴史の実装」と位置づけ、その社会的前提条件、現実の運営、規範的位置を検討する。その上で、その後(ca. 1990s-)の変容を検討しながら、この「歴史の実装」が現在直面している困難を分析する。</p> <p>もちろん戦後ヨーロッパはローカルな特殊事例に過ぎない。大統領制における政党の意義は議会制におけるそれと大きく異なり、社会的諸条件に応じて政党の果たす機能も相違する。しかしこの特殊事例の検討には、理論的・普遍的に説明可能なものと歴史的・社会的条件に依存している部分を腑分けするという、一般的に必要とされる作業が含まれる。また、この特殊ヨーロッパ的な「歴史の実装」</p>				

	<p>はさまざまな分析的・規範的モデルを通じて政治学的な思考に強く影響しており、その帰趨は政党とデモクラシーをめぐる議論全体に影響しうる。これらの点で、他の地域・時期に主たる関心を持つ受講者に対しても一定の有益な知見をもたらすものと期待している。</p> <p>なお、本講義のパースペクティブは歴史的なものである。新たな因果関係の説明を提示するより、事態の理解と概念化に重点はおかれる。しかし講義のなかでは先端的な比較政治研究の成果も随時紹介する。またこれを通じて「比較政治の経験的研究はより広く理論的・規範的な議論にも貢献しうる」ことも示されるであろう。</p>
--	--

Course Code	5122226	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Cross-Strait Relations				
Faculties	MATSUDA Yasuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>The aim of this seminar is to introduce and analyze the political history of Taiwan and the Cross-Strait relations, or relations across the Taiwan Strait. It will seek to identify core issues on Taiwan and the Cross-Strait relations from dimensions of history, politics, economy, international relations and regional security. The main requirement for this seminar is a research presentation on a topic to be agreed upon in consultation with the instructor. All the students who are interested in politics and international relations in East Asia are welcome.</p> <p>Grades will be determined according to each student's general class participation, performance of presentation, and term paper. Lecture, presentation, discussion, and writing term paper will be done in English.</p>				

Course Code	5122370	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治文献講読				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	<p>最近（おおむね5年以内）出版された現代日本政治に関する英語論文を、毎回約2本講読し、研究者又は公務員、会社員若しくはジャーナリストその他の専門職として必要な研究・分析能力の基礎を身に付けることを目指します。</p> <p>具体的には、①テキストの概略を正確に理解できるようになること、②テキストの学術的貢献を正当に評価できるようになること、③テキストの残された課題・問題点を検討できるようになること、④テキストの長所・短所を踏まえて自らのリサーチデザインを立てる練習をすること、のうち、学部生は①と②、加えて大学院生（及び研究者志望の学部生）は③と④までが本演習の目標です。</p> <p>テキストには質的・量的研究の両方が含まれ、研究方法論よりも現代日本政治に対する洞察力の養成に重点を置きます。</p>				

Course Code	5122375	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Quantitative Social Science				
Faculties	IMAI Kousuke				
Course Objectives/Overview	<p>Would universal health insurance improve the health of the poor? Do patterns of arrests in US cities show evidence of racial profiling? What accounts for who votes and their choice of candidates? This course will teach students how to address these and other social science questions by analyzing quantitative data. The course introduces basic principles of statistical inference and programming skills for data analysis. The goal is to provide students with the foundation necessary to analyze data in their own research and to become critical consumers of statistical claims made in the news media, in policy reports, and in academic research.</p>				

Course Code	5122384	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Space Development and Public Policy				
Faculties	KIKUCHI Koichi / SHIROYAMA Hideaki / NAKASUKA Shinichi				
Course Objectives/Overview	<p>Space related treaties which are legal basis of the global space activities are subject to governmental activities and presume that governments supervise non-governmental activities. Under the governmental supervision, conventional space companies have supported governmental space activities to contribute to national interests. However, New Space companies that emerged in 2000s are proceeding space activities with their own visions and business models although under governmental supervision, then activating global space activities. On the other hand, according to the increase of space debris, there are concerns about sustainability of global space activities, and governments are still responsible for sustainable space development and utilization, infrastructures, and industrial bases. In Japan, 2008 Space Basic Law enabled space activities for national security, renewed its governance structure by establishing Strategic Headquarters for Space Policy headed by Prime Minister, and shifted its weight to utilization from research and development. 2016 Space Activities Law set out legal basis for space activities including by private companies. However, there are still various legal and policy challenges including industrial promotion and space debris issue from the viewpoint of sustainable space activities.</p> <p>This course will offer practical lectures by various practitioners and specialists to understand current situation of space development and utilization. Afterwards, students will develop and discuss policy proposals for specific themes as practices. FY 2020, we will deal with the latest topics including space traffic management (STM), review of roles of national space agencies, and policy and legal framework for Gateway/Artemis programs related to “Low Earth Orbit (LEO) Commercialization” and “Policy and Legal framework for Beyond Low Earth Orbit (BLEO)” under the theme of “Governance of Space Activities”.</p>				

Course Code	5122389	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia				
Faculties	NOBLE Gregory William				

Course Objectives/Overview	How have East and Southeast Asia grown so fast? Why have they been subject to such dramatic vicissitudes? How do they fit into regional and international security, trading, and monetary systems? This course will provide a political economy overview, combining historical background; systematic comparisons of liberal, statist, and institutionalist approaches; and political analysis. The main focus is on development, crisis and recovery in Japan and China, but we will also look more briefly at Korea, Taiwan, ASEAN, and Asian regionalism.
----------------------------	--

Course Code	5122394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー				
Faculties	平島 健司				
Course Objectives/Overview	この 10 年間で、一連の危機に見舞われた EU は、複合的な危機を十分に克服しないまま、ついに主要加盟国の一つが離脱する事態を迎えた。今後もさらなる離脱が続き、共同体は解体へと向かうのだろうか。あるいは、過去においても離脱は起こりえたにもかかわらず共同体は存在し続けたから、これから(たとえさらなる離脱があろうと)も解体に至るとは考えられないのだろうか。拡大と深化を暗黙の前提としてきた諸理論を再検討し、統合 (integration) と解体 (Disintegration) のシナリオについて考察してみたい。				

Course Code	5122400	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Governance				
Faculties	TBD				
Course Objectives/Overview					

Course Code	5122402	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan in Today's World				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to provide a basic overview of Japanese politics and foreign policy in today's world. As a summer program designed for participants from academic institutions in the International Alliance of Research Universities, the composition of students will be multinational, providing an opportunity for Japanese students to observe their surroundings from a new perspective. 日本の政治外交について基本的な見取り図を提供することがこのコースの目的である。研究重点型大学連合(IARU)のサマープログラムの一環として開催される関係から、参加する学生は多国籍であり、そのためにこれまでとは異なった視点から日本政治を考える機会を得ることができるだろう。				

Course Code	5122501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海洋科学技術政策論				
Faculties	山口 健介／城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術の進歩等により、「海洋の自由」という国際法上の原則では海洋の管理が不十分になりつつあります。すなわち、海洋調査技術、資源開発技術、エネルギー技術等の進歩により、海が資源としての意味を持ち始めた結果、海洋開発をめぐる権利や利益が利害関係者間で争われる対象として立ち現れてきました。海は誰のものか？どのように利害関係を調整するのか？本講義の目的は、科学技術が海洋権益を生み出す過程とそれへの対応過程を理解し、関連する公共政策上の論点を学ぶことです。適宜、実務の方々なども招き、現場の取り組みを通じて理解を深めます。評価は、授業参加(30%)、中間議論(30%)、最終発表(40%)により行います。(また、希望者には関連施設の見学等を検討する予定です。)</p>				

Course Code	5122502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海事政策論				
Faculties	長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>四面を海に囲まれた我が国の経済・国民生活を支える上で、海事産業は非常に重要な役割を担っている。例えば、輸出入貨物の99.7%は海運により輸送されている。</p> <p>海事関係の主要分野には、国際・国内の海上輸送（貨物、旅客）、造船、船員、港湾、水先、海上保安等が含まれる。それぞれの分野では、安全確保、事業振興、環境対策、セキュリティ、離島振興、観光振興、人材確保・育成等の視点から必要な政策が議論され、立案、遂行されることになる。また、海事政策においては法令・予算・税制といった国内における措置に加え、IMO, OECD, ILO等国際機関への対応も重要な要素となっている。</p> <p>この授業では、海事関係の様々な分野の事業や業務の構造、歴史、制度、最近の課題や政策、今後の見通し等について、多面的に理解することを目標とする。このため、中央省庁における実務を踏まえた講義を行うとともに、様々な分野の第一線で活躍している実務関係者の話を聞いて対話する機会、施設の見学等を計画する。</p> <p>なお、この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである海洋学際教育プログラムを構成する科目でもあることを踏まえ、法律、行政、海事産業等に関する予備知識があまりない者にも理解しやすいように配慮する。</p>				

Course Code	5123021	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	環境政策				

Faculties	有馬 純
Course Objectives/Overview	地球環境問題とエネルギー問題の密接不可分な関係、IPCCの科学的知見と不確実性、地球温暖化をめぐる国際ガバナンスの動向、温暖化対策の理論と実際、我が国における温暖化対策、目標の動き等についての理解の増進を目的とする。

Course Code	5123026	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	再生可能エネルギーと公共政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	エネルギー安全保障、温暖化防止両面から再生可能エネルギー導入拡大に向けた期待が高まっており、コスト低下も急速に進んでいる。同時に間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も顕在化している。本講座では再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてバランスのとれた視点を提供することを目的とする。				

Course Code	5123028	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	観光政策概論				
Faculties	佐藤 善信／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	「観光立国」が推進され、観光は一大外貨獲得産業に急成長する一方、様々な課題が顕在化している。本講義では、観光が多様な主体の多様な取り組みであることを理解した上で、観光に何が期待され、観光は何をもたらすか、また観光の持続可能な在り方、他分野の政策との関係性について考察する。				

Course Code	5123029	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	観光地域政策				
Faculties	佐藤 善信／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	「観光立国」が推進され、観光は地域が抱える様々な課題を解決し得る手段として期待されている。本講義では、観光が多様な主体の多様な取り組みによって成り立っていることを理解した上で、観光が地域の課題解決に果たし得る役割及びそのために必要な取り組みのあり方について具体的に考察する。				

Course Code	5123030	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	都市地域政策				
Faculties	長谷 知治／高橋 孝明／河端 瑞貴／中川 万理子				
Course Objectives/Overview	現実の都市地域政策を経済学のツール等を用いて分析・評価する能力を養うことを目的とする。講義において実際に取り扱うテーマは、交通政策、土地利用政策、都市環境政策、住宅政策等の中から、適宜選択する。政策分析における GIS（地理情報システム）の活用法についても教示する。				

Course Code	5123031	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域交通政策研究				
Faculties	宿利 正史／長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>少子高齢化、人口減少等が急速に進展し、深刻化している中で、都市部、地方部を問わず、地域交通をめぐる状況は全般的に厳しさを増している。一方で、IoT、AI、ビッグデータなどの技術革新の進展を背景に、交通事業者をはじめ民間企業を中心に、MaaS（Mobility as a Service）やバス・タクシー運行時における AI・自動運転技術の活用などの新しいモビリティ・サービスやモビリティ・スタイルが模索されるなど、地域交通は大きな変革期を迎えつつある。</p> <p>こうした状況の下、地域住民の足であり、かつ、地域間交流の基盤であるとともに、インバウンド観光をはじめ観光振興にも不可欠である地域交通を持続的に確保・維持し、改善していくための政策のあり方について、各授業毎に具体の事例を採り上げて、当該事例の解説及びディスカッション並びに現地視察（3回）を通じて考察を深める。</p> <p>なお、本科目については、大学院横断型教育プログラム「科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム」の選択科目として位置づけられている。</p>				

Course Code	5123032-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123032-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Energy Security				

Faculties	ARIMA Jun / TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123033	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Energy Systems				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi / FUJII Yasumasa				
Course Objectives/Overview	In this course, basics of energy systems on and around nuclear energy are explained comprehensively. Environmental and economic evaluation methods associated with energy use and development are also mentioned so that the students can obtain balanced knowledge and ways of thinking of energy systems.				

Course Code	5123034	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Resilience Engineering				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi / FURUTA Kazuo				
Course Objectives/Overview	<p>Resilience is the intrinsic ability of a system to adjust its functioning prior to, during, or following changes and disturbances, so that it can sustain required operations under both expected and unexpected conditions. Resilience can be an advanced concept of safety based on probabilistic concept of risk and now drawing attention of researchers and practitioners.</p> <p>Resilience engineering is an academic area of study to pursue methodologies how to implement resilience to complex socio-technological systems. This lecture provides fundamental concepts, frameworks of resilience engineering as well as an up-to-date overview of specific applications.</p>				

Course Code	5123036	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Advanced Topics in International Trade				
Faculties	FUJII Daisuke				
Course Objectives/Overview	<p>This is a graduate-level class of international trade, which is a natural sequence of the trade class taught in the spring semester. We will mainly study academic papers together to grasp the recent advancement of international trade theories. We will learn how the Eaton-Kortum (EK) framework of the Ricardian trade model is extended to explain recent trade issues, applications of trade models with heterogeneous firms, and many other topics.</p> <p>Students should have good understanding of the fundamental models of international trade: Heckscher-Ohlin model; Armington model; basic Ricardian model and Eaton-Kortum model; Krugman and Meltz models. Some of the basic models will be covered in the lectures if needed.</p>				

Course Code	5123038	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Data Science for Practical Economic Research				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>This course is a companion-course of the course on Deep Learning offered by Dr. Michal Fabinger as well as the course on Applied Microeconomic Research offered by Prof. Andrew Griffen.</p> <p>In this course we will study the fundamentals of Machine Learning. Topics include:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Supervised machine learning: under-fitting and over-fitting, regularization, cross-validation, data augmentation. - Unsupervised machine learning: clustering, factor analysis, principal component analysis, independent component analysis. - Semi-supervised learning. <p>We will study the theoretical as well as practical aspects of these methods. While covering the methods, we will look at economics papers that are using these methods.</p> <p>Students will be asked to find a "big" dataset (more than 20GB) and try all the methods we cover in class on this data set. This way, students will learn practical aspects of dealing with big datasets that cannot be loaded into RAM.</p> <p>Students will be encouraged to use either R or Python.</p>				

Course Code	5123042	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Trade				
Faculties	FURUSAWA Taiji				
Course Objectives/Overview	<p>We will learn the core theories of international trade at an advanced level. We will cover the theories that have been used extensively in the research frontier of international trade. The aim for this course is to give enough knowledge and understanding to read papers in this field and to construct one's own model for analyzing various issues in international trade.</p>				

Course Code	5123045	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Data Science and Machine Learning				
Faculties	FABINGER Michal				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers a range of methods in Data Science and Machine Learning, including Deep Learning in Artificial Neural Networks.</p> <p>The topics will include: Data manipulation: dataset transformation, visualization, data cleaning, web data scraping. Supervised machine learning: under-fitting and over-fitting, regularization, cross-validation, data augmentation. Unsupervised machine learning: clustering, principal component analysis. Semi-supervised learning. Distributed data representation: entity embedding. Nonlinear dimensionality reduction. Computational graphs and functional programming. Practical aspects of high-performance computing: GPU computing, cloud computing.</p> <p>The topics will also include some of following areas. The choice will be made based on the students' interests. Optimization: backpropagation, stochastic gradient</p>				

	<p>descent and its accelerated versions. Supervised and semi-supervised machine learning: details of regularization and data augmentation methods. Neural network architecture: activation functions and their properties, layer patterns. Training neural networks: data preprocessing, weight initialization, gradient flow, batch normalization, regularization, practical aspects of GPU computing and distributed training. Hyper-parameter optimization, model ensembles, model compression. Transfer learning and fine-tuning. Spatial data modeling: convolutional networks, visualizing their internal data representations, susceptibility to adversarial examples. Sequence data modeling: recurrent networks, LSTMs GRUs, and their convolutional alternatives, attention. Natural language processing: word embeddings, neural machine translation, transformer networks. Unsupervised machine learning: variational autoencoders, generative adversarial networks. Reinforcement learning: Q-learning, policy gradient methods.</p> <p>The course will include a first introduction to Python and R, as well as PyTorch/FastAI and TensorFlow/Keras. For specialized tasks other software will be introduced. Students are encouraged to bring to the class their own datasets, which could then be used for the purposes of instruction and practical demonstration.</p>
--	---

Course Code	5123046	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	食糧安全保障と農業政策				
Faculties	山下 一仁				
Course Objectives/Overview	<p>どのような分野の政策でも、ファクトやエヴィデンスを踏まえて、これをロジック・セオリーで構築することによって、企画・立案する（考える）ことが必要である。しかし、日本の食料・農業政策は、誤った事実認識や観念に基づき、また経済的な理論による裏付けもなく、企画・立案されてきた。特に、高度成長期以来、農業と政治との関係が深まるにつれて、このような傾向が高まり、その結果、農政自体が、農業の後退、食料自給率の低下を招いた。</p> <p>この講義では、日本の食料・農業政策を批判的に検討しながら、それを通じて、政策の企画・立案に真に必要となる“考える力”を養う。</p>				

Course Code	5123047	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Behavioral Science for Public Policy				
Faculties	ONUKEI Mayuko				
Course Objectives/Overview	<p>The goal of this course is to improve students' abilities to apply insights from the behavioral sciences in designing policies and interventions that improve well-being of societies across the world. This course accomplishes it by 1) providing a general overview of recent advancements in behavioral science research sourced from psychology and behavioral economics, and 2) analyzing the gaps between research, evidence and practice. Applications of the materials covered in this course include healthcare, education, business, finance, management, politics, and justice, among others. The lectures are offered in English. All written assignments must be written in English.</p>				

Course Code	5123062	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際開発政策・評価論				
Faculties	青柳 恵太郎				
Course Objectives/Overview	<p>エビデンスに基づく国際開発援助実践（Evidence-Informed Practice in International Development）のために必要となる基礎知識の習得を目指す。具体的には、①エビデンス（介入効果の検証結果）を用いた開発援助プロジェクトの立案ができるようになること、②有効性が実証されていない介入については、その検証方法（評価デザイン）を描けるようになることの2点を目標とする。後者については、特にランダム化比較試験（Randomized Controlled Trial：RCT）による効果検証を中心に据え、開発援助実務者の視点から実践方法について学ぶ。</p> <p>RCTは確証度のもっとも高いエビデンスを作り出せる評価デザインである。その基本的な考え方は、対象者を介入群（介入を受けるグループ）と統制群（受けないグループ）にランダムに割り当て、介入群への介入実施後に両群の状態を比較するという非常に単純なものである。しかし、現実社会のなかでRCTによってエビデンスをつくり出す際には、開発課題を明確化させることに始まり、政策担当者や現場担当者との合意形成、検証方法のデザイン策定、実施プロセス管理、データ収集、分析、そして結果のまとめといった非常に泥臭いプロセスの中で様々な課題やつまづきに頻繁に直面することになる。本講義では現実味のある環境を想定した演習の中で準備からデータ分析までの一連のプロセスを体感することで、実践力を養成することを重視する。</p>				

Course Code	5123081	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Political Economics				
Faculties	WATANABE Yasutora				
Course Objectives/Overview	This course covers some of the recent developments in political economics. It is intended for students with an academic interest in political decision-making. It is aimed at those considering a career in research in political science or economics, but other students are welcome to attend.				

Course Code	5123171	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	日本の財政金融政策				
Faculties	小川 光／仲 浩史				
Course Objectives/Overview	我が国の財政は、先進国の中でも最悪の状況になっており、財政構造改革が喫緊の課題になっています。また、経済社会がかつてない構造変化を遂げてきており、社会保障制度、国と地方のあり方、国際通貨管理等、戦後わが国の基盤となってきた様々な制度について				

	て、改革が求められています。本講義では、政策実務担当者をゲストスピーカーとして招いて、これらの現状についての理解を深めるとともに、課題の解決に向けた政策立案について学びます。
--	---

Course Code	5123172	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Evolution of Global Economic Policies				
Faculty	NAKAO Takehiko				
Course Objectives/Overview	<p>Students study through this course i) how economic policies have evolved since the demise of the Bretton Woods system in the 1970s, ii) what were impacts of Asian financial crisis in the late 1990s and the global financial crisis in 2008/09, iii) how Asian countries have achieved high growth and poverty reduction, and iv) what are new and emerging challenges for Asia and the World.</p> <p>Lecture is both theoretical and empirical, and based on the lecturer's experiences as President of Asian Development Bank (2013-2020), Vice-minister of Finance for International Affairs dealing with G7, G20, and IMF issues (2011-2013), and other work at the Japan's Ministry of Finance, including tax, budget, and financial sector policy (1978-2013) and as an advisor in IMF's Policy Development and Review Department (1994-97).</p>				

Course Code	5123211-2	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Development Economics I (Foundations of Advanced Development Economics)				
Faculty	SAWADA Yasuyuki				
Course Objectives/Overview	This course will be composed of English lectures on advanced graduate-level development economics.				

Course Code	5123215	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Issues in Development Economics				
Faculty	CHEN Stacey				
Course Objectives/Overview	This course covers contemporary topics in Development Economics. It is appropriate for graduate students in Economics, Public Policy, Agricultural and Resource Economics, and related fields.				

Course Code	5123221	Term	A 2	Credits	2
Course Title	家計とコミュニティの開発経済学				
Faculty	庄司 匡宏				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、開発経済学の主要論文や関連報告書を講義形式でレビューする。また、社会学や心理学といった周辺領域の研究も一部紹介する。これにより、途上国の貧困層が直面する諸問題およびそれらに対する学術的議論を体系的に理解することを目的とする。</p>				

	また本講義では、履修者が各自関心のあるテーマの論文を数本レビューし、報告する時間も設ける。
--	---

Course Code	5123222	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	High Performance Computing with R				
Faculties	WEESE Eric				
Course Objectives/Overview	<p>This course provides an introduction to the use of high performance computing for data analysis, with a particular emphasis on applications of interest to economists. The statistical language used for instruction is R. Where possible the Oakforest-PACS HPC system will be used in class. This is an applied course focusing on the use of HPC systems: theoretical issues (e.g. scheduling algorithms) will only be covered to the extent that they impact HPC users.</p> <p>At the end of the course students should have a basic understanding of how to use a high performance computing system to perform statistical analysis.</p>				

Course Code	5123236	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Topics on Modern Japanese Economy				
Faculties	HOSHI Takeo				
Course Objectives/Overview	<p>This course surveys issues related to the Japanese economy. A particular emphasis is put on understanding economic troubles that Japan started to face at the end of the last century, including macroeconomic stagnation, deflation, aging and population decline, seemingly unsustainable fiscal policy, extremely low interest rates, and stagnating wages in the tight labor market. Many of those issues are now observed in other advanced economies and pose challenges to the standard economic theory. The course explores how much we can use the standard tools in economics to understand the issues in the Japanese economy and tries to derive general lessons that would apply to other economies that are or will be experiencing similar issues.</p>				

Course Code	5123245	Term	S 1	Credits	2
Course Title	保健医療経済学				
Faculties	康永 秀生				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療経済学の基礎知識を身に着ける。 2. 医療経済学の考え方に沿って、現実の医療経済政策における個別の課題について考察する力をつける。 				

Course Code	5123250	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	エネルギー政策				

Faculties	小山 堅／有馬 純
Course Objectives/Overview	<p>わが国を取り巻くエネルギー情勢には様々な課題が山積している。原油価格は2014年後半の急落から、激しい変動を繰り返している。2020年に入って、米国とイランの軍事衝突の可能性を受けて急騰したが、その後中国発の新型肺炎拡大で世界経済減速リスクが高まり、急落した。原油価格の変動は、わが国等の消費国にも、産油国にも多大な影響を与える。世界の主要供給地である中東では、サウジアラビアとイランの緊張関係、サウジアラビアの体制の安定、イランと米国の対立激化など、地域全体の不安定化・流動化が顕在化している。原油価格低下をもたらした主要因の一つ、米国シェール革命の今後の展開にも注目する必要がある。また、トランプ政権のエネルギー政策が世界のエネルギー情勢に様々な影響を及ぼす中、次期大統領選挙の帰趨に世界の注目が集まっている。需要面では、これまで世界経済の牽引役となってきた中国でのエネルギー需要の伸び、エネルギー選択が世界を左右する重要課題となっており、短期的には景気減速リスクが大きな問題である。</p> <p>気候変動問題への関心が世界的に高まり、低炭素化・脱炭素化への取り組みが進められる中、水素など革新的エネルギー技術の可能性も関心を集め、今後の世界のエネルギー転換が注目されている。</p> <p>東日本大震災後、わが国では、エネルギー政策包括的見直しが進められてきた。2030年のエネルギーミックスがようやく定まり、原子力発電所の再稼働も始まったが、今後のエネルギー政策課題は山積している。電力とガスの小売り自由化が行われ、本格的なエネルギー大競争が始まる可能性もある。内外の最新エネルギー情勢を踏まえつつ、エネルギーセキュリティ問題と地球温暖化問題の一体的・総合的な解決を目指すエネルギー政策の現状と課題について、理解を深めるべく、講義を進めていく。</p>

Course Code	5123256	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Central Banking				
Faculties	SEKINE Toshitaka				
Course Objectives/Overview	This course gives an overview for a basic framework of central banking with particular emphasis on its practical aspects. How monetary policy is formulated and implemented under a normal situation? How monetary policy is operated under the effective lower bound of nominal interest rates? What role does a central bank play in achieving financial system stability?				

Course Code	5123262	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Asian Economic Development and Integration				
Faculties	YOSHINO Naoyuki				
Course Objectives/Overview	TBA				

Course Code	5123272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医療イノベーション政策				
Faculties	大西 昭郎／鈴木 寛／岸本 充生／林 良造／佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>一国の医療の水準、そしてその結果としての健康の水準は、医療に対する支出の全体の水準と個別の価格設定、提供される医療の安全・安心や一定の質を確保するための国家の関与、医療事故に対する責任の構造、効率的で公平な国民のアクセスを提供するための人的・物的インフラの整備のルールなどに対して、医師、患者、病院、保険者、薬局、製薬企業、医療機器メーカーなど様々な主体が反応していく行動の総体として決定される。そして、これらの主体の行動や制度の有効性は、少子高齢化の進展、グローバル化の展開、経済成長の動向、医療技術の進歩などにより変化している。</p> <p>本講義は、医療水準やその結果としての国民の健康の水準を決定する様々な制度について、当事者間の合意と市場の働きに委ねるのではなく国家の関与が必要とされる理由にさかのぼって考え理解するとともに、特に近年、医療・健康政策と経済成長のための政策の両面から注目されている「医療イノベーション」に視点を当ててこれらの諸制度の評価を行う。</p> <p>医療をめぐる近年の急速な技術進歩やグローバル化の進展を理解するとともに、基礎的科学から患者への提供にいたるヘルスケア産業のイノベーションの過程を取り上げ、国際的な比較を交えて、日本のイノベーション環境の評価を行う。また、「医療イノベーション」を経済成長のための政策としてみる場合の留意点について理解する。それらに合わせて、先端医療技術の活用におけるリスクや不確実性、個人情報保護、倫理上の課題も取り扱う。具体的な事例としては、医薬品・再生医療・医療機器に関する研究開発や承認プロセス等を扱う予定である。</p>				

Course Code	5123275	Term	S 1	Credits	2
Course Title	イノベーションの経済学				
Faculties	五十川 大也				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、経済学の観点からイノベーションに係わる諸トピックにアプローチする。第一に、イノベーションの測定にあたっての視点として、俯瞰的アプローチと微視的アプローチを紹介する。その中で、俯瞰的アプローチにおける国際的な取り組みを歴史的に俯瞰しながら、わが国で行われた調査の主要結果を概観する。第二に、微視的アプローチの意義とその内容を理論的な観点も加味しつつ説明する。その上で、社会的・経済的にインパクトを与えたイノベーション事例をいくつか選定し、微視的アプローチを具体的に応用する。第三に、イノベーションの測定に関する論点を踏まえて、イノベーション創出についての市場の役割と政策への含意について</p>				

	<p>考察を加える。 なお、経済学のバックグラウンドのない受講者も歓迎し、分析に用いる基礎的なミクロ経済学の知識から最近の実証手法（構造推定手法）について講義の中で解説する。</p>
--	--

Course Code	5123300	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Asian Financial Markets				
Faculties	KAWAI Masahiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide an overview of the structure, development and challenges of financial markets in Asia, particularly in ASEAN member states, China, Japan, the Republic of Korea, India and other emerging and developing economies in the region. Its primary focus is on how policymakers can achieve the right balance between financial development (through liberalization, innovation and inclusion) & opening and financial stability (through macroeconomic management, financial regulation and supervision, capital flow management, and international financial safety nets).</p> <p>Japanese and emerging Asian financial markets went through fundamental changes in the 1990s. The Japanese banking crisis and the Asian financial crisis of 1997-98 were instrumental in driving such changes. The global financial crisis of 2007-09 again affected Asian financial markets and has offered several lessons to be learned. The course emphasizes that open-economy financial policy would require deep consideration of the trilemma hypothesis in international finance.</p> <p>At the end of the course, students are expected to understand the key drivers of Asian financial market development and deepening in the past 30 years and be familiar with a range of ongoing policy debates to influence financial development, including fintech and ESG financing, and stability in the region.</p> <p>Students are expected to attend all lectures, participate actively in class discussions, produce an essay, a lecture note for the session of the student's choice, and a term paper on any of the lecture topics or related issues, present the term paper and engage in Q&As.</p>				

Course Code	5123311	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Auctions and Mechanism Design				
Faculties	MARSZALEC Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	<p>This course explores various aspects of auction theory and mechanism design. The aim is to give the participants a broad overview of the applicability of auction-based methods both in the context of academic research as well as practical implementation.</p>				

Course Code	5123312-1	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills: Writing and Research Planning				
Faculties	Marszalec Daniel Janusz				

Course Objectives/Overview	<p>This course aims to teach some skills that will help you along your career path to being a successful economist; it is a part of two-course series that I teach. I recommend that you take both courses - both of them focus on communication, and effective delivery of your work.</p> <p>In this part of the course we will focus on writing, and structuring your research.</p>				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5123312-2	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills: Speaking and Presentation				
Faculties	Marszalec Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to teach some skills that will help you along your career path to being a successful economist; it is a part of two-course series that I teach. I recommend that you take both courses - both of them focus on communication, and effective delivery of your work.</p> <p>In this part of the course, we will focus on effective verbal communication, designing presentations, and learning and practicing voice use.</p>				

Course Code	5123350	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Public Policy and Energy				
Faculties	YOSHIKAWA Hisashi / BIROL Fatih / KUSAKA Kazumasa				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with a structured understanding of public policy by introducing students to the design, making, implementation and evaluation of energy and climate change policy where policy makers with insufficient information have to make decisions taking multi-faceted factors such as economy, security, technology and innovation, foreign policy and international institutions into consideration. It also aims to define the fundamentals of energy markets and systems. Students are encouraged to actively participate in the class discussion. The course also tries to develop the students' skill of communications and document preparation.</p>				

Course Code	5123400	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Innovation				
Faculties	YARIME Masaru				
Course Objectives/Overview	<p>This course discusses the functions and mechanisms of innovation systems and the economic assessment of their impacts, with implications for industrial structure and dynamics and societal challenges. A particular attention is paid to corporate strategy, public policy, and institutional design. Among the issues to be discussed in this course include models of technological change, systems approaches to innovation, research and development, intellectual property rights, university-industry collaboration, public policy for innovation, and case studies in various sectors. The processes of producing, adopting, and utilizing innovations are elaborated from a perspective of co-evolution of technology and institutions. Analysis of economic evolution is introduced, and its concepts and methodologies are elaborated to represent and model the dynamics of innovations. Systemic</p>				

	<p>approaches are taken to discuss the functions and structure of innovations at the national as well as industrial levels. These theoretical frameworks introduced in the first half of the course are utilized to understand the mechanisms of creating innovations on various types of societal issues, including food, energy, chemicals, information and communication, and health. Implications for public policy and institutional design are explored for a transition towards global sustainability.</p>				
--	---	--	--	--	--

Course Code	5123402	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Advanced Time Series Analysis				
Faculties	SHINTANI Mototsugu				
Course Objectives/Overview	<p>Most macroeconomic data show dynamic properties in the sense that the current value is connected to events in the past in some forms. A formal statistical analysis of this dynamic feature helps us understand the structure of the macroeconomy. In the course, we learn the vector autoregressive (VAR) model, the most frequently used time series model in macroeconomic analysis, and its variations. Motivated undergraduate students are also welcome.</p>				

Course Code	5123405	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Financial Regulation				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with first-hand information and knowledge on global financial regulation and help them develop a broad understanding of financial regulation, paying particular attention to the global nature of financial regulation. The course covers key topics of global coordination of financial regulation. Issues covered are: history of global financial coordination, the 2008/2009 financial crisis, and the financial regulatory reform after the 2008/2009 crisis. The course in particular discusses key financial regulatory standards in the areas of global systemically important financial institutions (G-SIFIs), recovery and resolution, capital requirements, liquidity requirements, corporate governance, market based finance, over-the-counter derivatives, artificial intelligence (AI), financial technology (Fintech), and cyber risk.</p> <p>Students taking this course for credits must take part in all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5123406	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Financial System				
Faculties	HOSHI Takeo				
Course Objectives/Overview	<p>This course studies how the financial system works to support economic growth most of the times and how it gets into a crisis occasionally and puts the economy into a recession. We examine recent papers in economics that tackle these questions theoretically and empirically. The course emphasizes the importance of the informational and incentive problems inherent in financial transactions. The</p>				

	financial system consists of various mechanisms to mitigate those problems but the mechanisms are not perfect and sometimes fail. We also discuss recent developments in financial regulation that tries to support well functioning financial system.
--	--

Course Code	5123433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Sovereign Debt				
Faculties	NISHIZAWA Toshio				
Course Objectives/Overview	<p>This course has three objectives. First, it aims to deepen student understanding about the nature of sovereign debt (conceptual framework). Second, it tries to familiarize students with sovereign debt risks based on selected cases (lessons from history). Third, it provides students with an opportunity to discuss how we should manage sovereign debt to achieve policy goals (policy implications). More broadly, we will keep in mind how we could pull a particular country or the global economy out of a vicious circle of debt trap while securing gains from debt. The rationale for this endeavor is the perception that the credit-addicted growth model consequently with a growing public and private debt appears to be one of the challenges we face in today's world. As a practical training course, students will have the opportunity to work in a team, make oral presentation, debate and produce memos and reports.</p> <p>Background observations for offering this course are as follows.</p> <p>Since the global financial crisis of 2008-2009 and following the Eurozone crisis, high levels of government debt in advanced economies have raised renewed market concerns over possible sovereign debt crises. In addition, there has been an ongoing debate about how to get under control Japan's sovereign debt, which represents more than twice the OECD members' average debt-to-GDP ratio. Furthermore, in some of the emerging and developing countries, governments are struggling with debt management while pursuing economic development by accumulating public and private sector liabilities to various creditors. Issues of "debt trap" in the context of China's Belt and Road Initiative (BRI) have been a focus of policy debate.</p> <p>A sovereign default is the failure or refusal of a government to make payments on its debt obligations to either domestic or external creditors, or to both. In fact, history gives us many precedents of sovereign default by both developed and developing countries as well as of many crisis cases that brought a government to the verge of default.</p> <p>As financial journalist Philip Coggan described in his book titled Paper Promises: Money, Debt and the New World Order that we could view the economic history as "a war between creditors and debtors" while borrowing and lending are essential for the economy to function and for the government to achieve policy goals.</p> <p>As any other players in an economy, a government needs to borrow or assume some form of liabilities, both direct and indirect (contingent), when it runs deficits, rescues the financial system, guarantees projects, tries to maintain exchange rates, and so on. As such, the government is not necessarily immune from a struggle with its creditors although the nature of government indebtedness is different from borrowing by private entities.</p> <p>Furthermore, we should look at the interaction not only between creditors and debtors, but also between creditors as reminded by inter-creditor equity issues in debt restructuring as observed in the Greek and Argentine cases. We should also</p>				

	<p>look at equity issues from intergenerational perspectives. Public policy professionals should be aware that sovereign debt could have important political and social, as well as economic, consequences, which require public policy and legitimacy considerations.</p>
--	--

Course Code	5123440	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	経済物理学				
Faculties	島田尚／和泉潔／坂地泰紀／高安秀樹／高安美佐子／水田孝信／山田健太／金澤輝代士				
Course Objectives/Overview	<p>経済物理学の分野の概要を紹介するとともに、その応用例として、株式市場のデータ、外国為替市場のデータ、金融テキストデータや SNS データなどを利用した研究を紹介する。</p> <p>経済物理学の特徴は、これまでより高頻度・高解像度で観察されるデータの規則性、特徴を取り出すことにより、その市場やシステムの特徴を物理学的アプローチ、経済学的アプローチにより分析することにある。これらの特徴を把握するために必要とされる物理・数理・シミュレーション・マイニングの話題も解説する。</p>				

Course Code	5123450	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際交通政策				
Faculties	宿利 正史／長谷 知治／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	<p>経済のグローバル化や国際政治の複雑化、そして AI、IoT などの技術革新や新興国の経済発展が進む一方で、我が国は人口減少・高齢化に直面し、多くの政策分野において、諸課題の克服を可能とする有効な政策への脱皮が急務となっている。</p> <p>こうした状況の下、我が国が今後とも持続的な成長と豊かな国民生活を確保するためには、国際交通をはじめとする交通・運輸分野が、時代の要請に即して重要な役割を果たすことが期待される。また交通・運輸分野自体も新しいモビリティサービスを模索している状況にある。</p> <p>このような観点から、本科目では、特に「国際交通政策」をとりあげ、我が国の将来を見据えた望ましい国際交通政策の在り方について、政策の現状や実態を踏まえつつ、講義及びディスカッション並びに現地視察（3回）を通じて考察を深める。</p> <p>なお、本科目については、大学院横断型教育プログラム「科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム」の選択科目として位置づけられている。</p>				

Course Code	5123471	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Labor Economics				

Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course introduces various topics in labor economics focusing on empirical methods.				

Course Code	5123475	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	機械学習の実証経済学への応用				
Faculties	川田 恵介				
Course Objectives/Overview	<p>現在急速に理論研究が進展している「機械学習の因果推論への応用」について紹介する。とくにコントロール変数の選択や効果の異質性分析について、機械学習を補助的に用いる手法が多く提案されている。これらの手法は分析の精度を向上させるだけでなく、現在実証研究において大きな問題となっている"Cherry picking"問題を緩和することも期待されている。</p> <p>本講義では、基礎的な因果推論と機械学習を学んだあとに、それらを融合させた手法群について学ぶ。また無料の統計ソフトである R を用いた実習も行う。</p>				

Course Code	5123480	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	コーポレートファイナンスと公共政策				
Faculties	新井 富雄				
Course Objectives/Overview	<p>企業活動と資本市場の接点にある Corporate Finance についてその基本原理と関連事項について理解すること。そして、将来、投資銀行、商業銀行、財務コンサルティングや事業会社の財務部門などで Corporate Finance の仕事に従事することを希望する人、また、官庁や中央銀行などで民間企業の金融活動の規制監督業務に従事することを希望する人のために基本的知識を身につけるとともにケース討論等を通じて学習した知識を応用する能力を付けること。</p>				

Course Code	5123485	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Environmental Economics				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course (EE) is to understand the essential concepts and methods of environmental and natural resource economics. It is designed for a wide range of students who are interested in the environment and natural resources, including those who have no economics background. It covers benefit-cost analysis, environmental valuation, market failure, non-renewable resources, renewable resources, pollution, environmental policies, climate change, and environment and development. This lecture course is offered in English.</p>				

Course Code	5123487	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Economic Crisis				
Faculties	UEDA Kenich / KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	<p>Understand objectives and effects of key policies related to economic crises from both theoretical and empirical perspectives. Economic crises can be classified to (1) currency crisis or BOP crisis, (2) sovereign debt crisis, and (3) financial crisis. Students are expected to become familiar with issues that are common, as well as specific to, each type of economic crises. The first two types can be called as macroeconomic crisis, but recently many countries have experienced financial and macroeconomic crises at the same time. Therefore, students are also expected to recognize structural issues on (4) finance-macro linkages in crises. Lastly, this course will cover recent policy discussions developed since the global financial crisis of 2008.</p>				

Course Code	5123488-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融市場と公共政策				
Faculties	湯山 智教				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、金融市場や金融システムを巡り、これまでの現実的課題に対して、どのような政策対応がとられ、その効果はどう評価されているのか、という観点から、政策対応の背景や考え方、関連する理論、実証分析等について概観していく。将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング・ファーム、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、具体的には、非伝統的金融政策、マクロプルーデンス政策、金融システム対応、地域金融、政策金融、不公正事案に対する市場監視、コーポレートガバナンス、ベンチャーファイナンス、FinTech等のテーマを概説的に扱う。</p> <p>また、毎回、10分程度を使って、直近のアナリストレポート等を用いて、現実の金融市場における最近のトピックについて解説することを予定している。</p> <p>担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）、日本銀行、民間シンクタンク等における勤務経験を有するとともに、一定程度アカデミックなバックグラウンドも有する行政官・実務経験者である。講義に際しては、理論に加えて、現実の動きや政策対応・実証分析等をバランスよく取り扱っていきたいと考えている。なお、本講義は、みずほ証券寄付講座の一環であり、公共政策大学院・経済学部の合併講義である。</p>				

Course Code	5123495	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Monetary Policy				
Faculties	AOKI Kosuke				

Course Objectives/Overview	<p>本講義では金融政策にかかわるトピックをマクロ経済学の分析手法を用いて解説する。取り上げる分野は、金融政策の波及経路、ニューケインジアンモデル、最適金融政策、中央銀行の独立性、資産市場と金融政策等、非伝統的金融政策である。</p> <p>講義は、単一の教科書に基づくものではないが、以下の教科書が有用である。"Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali,"Monetary Theory and Policy" by Walsh. 講義ノートはウェブページで入手可能。</p> <p>To learn various topics on monetary policy. Topics covered include: identification of the monetary transmission mechanism, the New-Keynesian models, optimal monetary policy, unconventional monetary policy, central-bank independence, financial markets and monetary policy.</p> <p>The course will not be based on a single textbook, but the following textbooks are useful: ""Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali, "Monetary Theory and Policy" by Walsh. Additional readings will be made available to students through the course homepage.</p>
----------------------------	---

Course Code	5123497	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Empirical Industrial Organization				
Faculties	WAKAMORI Naoki				
Course Objectives/Overview	<p>Industrial organization is a field of economics dealing with the strategic behaviors of firms, their implications on firms' profits and consumer welfare. The main goal of this course is to familiarize students with the important methodologies and topics in the literature and put them in a position to do their own research in this area. In particular, Industrial Organization II will cover the basic methodology of structural estimation – estimation of static games and dynamic games, which are frequently used in many I.O. applications and antitrust analyses.</p>				

Course Code	5123498	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Advanced Industrial Organization				
Faculties	WAKAMORI Naoki				
Course Objectives/Overview	<p>Industrial organization is a field of economics dealing with the strategic behaviors of firms, their implications on firms' profits and consumer welfare. The main goal of this course is to familiarize students with the important methodologies and topics in the literature and put them in a position to do their own research in this area. In particular, Industrial Organization I will cover the basic methodology of structural estimation – demand estimation for differentiated products and production function estimation, which are frequently used in many I.O. applications and antitrust analyses. We also help students do hands-on programming exercises at computer lab.</p>				

Course Code	5123499	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Financial Markets and Institutions				

Faculties	KATO Ryo
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students develop a solid understanding of the basics of financial markets and institutions and provide useful economics background in formulating financial sector regulations.</p> <p>To this end, the course will cover key theoretical concepts (e.g. inter-temporal substitutions, financial intermediation, direct vs indirect finance, asymmetric information, moral hazard and principal-agent problem) and discuss several applications and practical issues. [Please note that this course will NOT focus on central banking and monetary policy.]</p>

Course Code	5123502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Topics in Industrial Organization				
Faculties	OHASHI Hiroshi				
Course Objectives/Overview	<p>Topics in Industrial Organization is a new course, offering the opportunity to students to learn economic aspects of policy issues related with industrial organization. The course offered this year focuses on competition policy and industrial policy. The topics planned to be covered include economics of policy making, anti-competitive conducts in digitalized era, and some new aspects of industrial policy. The course is designed to introduce Master and Ph.D. students for both Graduate Schools of Public Policy, and Economics.</p>				

实践科目

Practical Training

Course Code	5130010	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策分析・立案の基礎				
Faculties	(未定)				
Course Objectives/Overview					

Course Code	5130020-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	交渉と合意				
Faculties	松浦 正浩				
Course Objectives/Overview	<p>【受講者数制限あり。定員を超える場合初回講義後に抽選予定。】 【受講登録希望は https://goo.gl/forms/gPsbU06KFpdSxoyB2 にて受付(4/9 午前9時迄)】</p> <p>「交渉」というと何か身構えてしまう人も多いでしょうが、実際のところ誰もが毎日交渉を行っています。たとえば家庭内での会話(例えば「今夜のご飯は何にしようか?」)なども一種の交渉です。また同時に、国家間で条約を締結する際にも交渉は行われています。これら多様な「交渉」を幅広くとらえ、それらの共通点から見出された基本的な枠組みが「交渉学」です。幅広い分野の現場で適用可能であるため、現在では全米各地の専門職大学院(公共政策大学院、法科大学院、ビジネススクール、都市計画大学院など)で教えられています。</p> <p>「交渉」のスキルは生まれもったのものであって、勉強や練習をしても改善は難しいと思込んでいる人が多いと思われませんが、実際はそうではありません。「交渉学」の枠組みを用いて反省することで、交渉に係る問題の正しい理解が可能となり、「交渉学」を念頭に実際の交渉を進めれば、適切な問題改善へとつなげることができます。また、「交渉」の最終目標は相手を打ち負かすことではありません。むしろ、自分と交渉相手が今後共存できる方法をお互い納得できる形で見つけることが交渉の目標です。ですから、今回の講義で扱う「交渉学」のことを「Win-Win 交渉」などと呼ぶ人もいます。また、今回の講義は公共政策における交渉と合意に焦点を当てます。個人間、企業間で行われる交渉と比べ、公共政策に関する交渉と合意形成は、その特性が大きく異なります。特に、ステークホルダーの特定、配分の公正性に対する要請、価値観に根ざした論争と熟議による対応、科学的不確実性への対応などについてこの講義を通じて十分理解を深めていただきたいと思います。なお、講義では環境政策や都市計画を中心とした事例を用いて議論を進めます。</p>				

Course Code	5130035	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	教育政策と教育法				

Faculties	鈴木 寛
Course Objectives/Overview	担当教員の鈴木寛は、参議院議員、文部科学副大臣、文部科学大臣補佐官として数々の教育関連法制の制定に関与してきた。現在も、OECD 教育スキル局アドバイザー、NGO Teach for ALL Global Board Member として、世界の教育政策の分析・提案を行っている。さらに、公益財団法人日本サッカー協会理事、一般社団法人日本音楽著作権協会理事、NPO 法人日本教育再興連盟代表理事をはじめとして、数々の文教科学関連の実務の現場責任者も務めている。それらの実務経験を通じて、自らが手掛けた個別ケースについても概説しながら、将来、教育・スポーツ・文化・科学技術などに関連する仕事につく可能性のある学生の法解釈力、法制定力、政策立案力を磨くことを目標とする。

Course Code	5130072	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Structural Policy and Abenomics				
Faculties	HAYASHI Ryozo				
Course Objectives/Overview	<p>This course will examine the essential elements of "Structural Policy" and Japan's experience through 1945 to today. The class will examine and evaluate Abenomics (economic policy of Abe administration) ..</p> <p>Every state tries various policies to achieve higher economic of growth. However, the concrete measures are different reflecting the environment or the stage of their development. Japan's experience provides rich materials. Japan achieved very rapid economic growth without any important resources other than labor force. She experienced various stage of development in short period of time. Then the globalization changed the paradigm.</p> <p>After examining conceptual framework for growth policy, we will walk through the high growth period, bubble and "lost decades". Then we will examine and evaluate Abenomics. In the process, we will look into the impact of the globalization. Then guest speakers will pick up the agenda for economic reform and other contemporary challenges.</p> <p>The class will be conducted in English. Student will be expected to make short presentation in the class, and to participate in the class discussion.</p>				

Course Code	5130076	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Organizations for Sustainable Development in the 21st Century				
Faculties	YOSHIKAWA Hisashi / ORSI Roberto / SHIROYAMA Hideaki				
Course Objectives/Overview	<p>This course provides students with exposure to the particularities and challenges characterising the work of International Organizations in the 21st century. It is not a theoretical course on the fundamentals of international law and the structures of international organizations or sustainability science (which are covered by other related courses, but a practice-oriented course focusing on the concrete issues of International Organisations.</p> <p>In this course, we will first analyze in depth the structure and functioning of international organizations and understand how they contribute to global efforts for</p>				

	sustainable development. Then, students will learn from the firsthand experience of invited experts from several international organizations. In the latter part of the course, students will practice the lessons for the analysis of complex sustainable challenges (involving more than a single SDG). Finally, students are expected to be able to elaborate a proposal for an action plan for an international organization, including their own contribution if there would be to follow a career in such an organization.
--	--

Course Code	5130092	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Operations of the World Bank Group				
Faculties	NAKA Hiroshi				
Course Objectives/Overview	<p>The World Bank Group (WBG) institutions (World Bank (IBRD and IDA), IFC and MIGA) operate in developing countries to end extreme poverty and to boost shared prosperity. The operations of the Group also contribute to achieve the Sustainable Development Goals (SDGs) agreed by the member countries of the United Nations. This course covers the key operations of the WBG and the principles which regulate the operations to manage risks deriving from external and internal factors.</p> <p>The objective of this course is to better understand how the WBG operate for developing countries. It will help students develop policies, programs and projects to accelerate the growth of a country addressing environmental and social challenges. Students who finish this course and fully understand the operations of the WBG can start working for the WBG from day-one when they get a job in the WBG.</p>				

Course Code	5130095	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	消費者政策の現代的展開				
Faculties	山田 正人／加納 克利／佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>21世紀が消費者の時代と言われて久しい。消費者の権利を擁護する仕組みは年々充実する一方、消費者を巡るトラブルは依然として高止まりの状態が続いている。</p> <p>本講座では、政府の最前線で消費者政策を担当する実務家と研究者が協同して、我が国の消費者政策の課題と仕組みを明らかにするとともに、社会の高齢化、情報化、国際化、ビジネスの多様化を踏まえ、今後求められる消費者政策の展開について、事例研究を交えつつ、講義を行う。</p>				

Course Code	5130120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	精神保健学Ⅰ				
Faculties	川上 憲人／西 大輔				
Course Objectives/Overview	精神保健の疫学や方法論を踏まえた上で、精神保健に関する課題の対策を科学的根拠に基づいて立案するための知識・技術を習得する				

	<p>ことを目的とする。具体的には、精神保健の疫学や方法論を体系的に理解し説明できること、精神保健の第一次・第二次・第三次予防の科学的根拠の現状について説明できること、グループのメンバーとの協働およびリーダーシップのあり方を学びつつ課題に即した精神保健対策を立案できることを到達目標とする。</p>
--	---

Course Code	5130200	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Advanced Academic Writing				
Faculties	FAYE Singh Stanislas				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims at taking you a step further in familiarizing you with the various rules governing academic writing including punctuation, summaries, critical reviews, opinion editorial(s) (Op-Ed), citing sources, short and long papers, research papers, etc.</p> <p>As you have learned, writing is necessary for all students in higher education. It is a process. It starts from understanding your task. It then goes on to doing the research and reading. The next stage is planning and writing various drafts. This is followed by proof-reading and editing. All this should lead to the final text.</p> <p>In a nutshell, academic writing is a social exercise. Differently put, you write with an audience in mind. This means that you always write with a purpose: to inform, to explain, to persuade, to convince, etc. In other words, what you write is defined by the users in the social community as appropriate or inappropriate. In your case, these are professors, lecturers, examiners, your peers, or other students. This social practice has developed through centuries of use by practitioners. For that reason, it has to be learned by observation, study and experiment.</p> <p>Academic writing in English is clearly defined by having an obvious audience; a clear purpose, either an exam question to answer or a research project to report on. It is also clearly structured.</p> <p>Academic writing in English is linear. It starts at the beginning and finishes at the end, with every part contributing to the main line of argument, without digression or repetition. This line of argument must be made clear whatever kind of writing you are producing and you, the writer, are responsible for making this line of argument clear and presenting it in an orderly fashion so that the reader can follow.</p> <p>Your written work should have the following sections:</p>				

Course Code	5130205	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Academic Writing				
Faculties	FAYE Singh Stanislas				
Course Objectives/Overview	<p>In this course, the students will learn the basic principles of academic writing. They will look at the fundamental aspects of writing and how to apply they apply to research papers. These are audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. To reach this end, the course will place emphasis on these goals:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) To build writing competency so that the students can meet the requirements of graduate-level academic writing assignments. 2) To become more proficient and comfortable in writing English for Academic Purposes. 				

	<p>3) To understand and follow the conventions and expectations of graduate-level academic writing in general as well as in the students' chosen field.</p> <p>4) To help the students understand that each discipline has its own genre/s and rhetorical characteristics,</p> <p>5) To develop familiarity with and practice several academic genres (e.g., summaries, different types of essays, critical reviews, research papers).</p> <p>6) To review all aspects of English syntax to produce error-free papers.</p>
--	--

Course Code	5130210	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Presentations and Discussion				
Faculties	FAYE Singh Stanislas				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to assist in developing skills in public speaking and discussions. Students will learn to write, analyze, and deliver speeches of a persuasive, expository and impromptu nature. Students will also develop skills in argumentation and critical questioning. Beyond providing students the opportunity to improve presentation skills, this course will also encourage students to develop interpersonal communication skills as they work through problem solving, negotiation and simulation exercises. In addition to regular coursework, students will be expected to follow current events closely, and will use these events to hone their skills in speaking and argumentation.</p>				

Course Code	5130220	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Advanced Study of Science & Technology				
Faculties	Y. KOBAYASHI / M. MITSUISHI / H. NAKATOMI / K. MOTOHASHI / R. MASTUHASHI / K. FURUTA / S.KANO / S. MARUYAMA / JS. Lee				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to cultivate internationally competitive young researchers equipped with literacy and competency to become future leaders in industry and academia. The course deals with multidisciplinary application skills and the in-depth research in specialized fields so that students accomplish the ability to work in a broader spectrum and apply one's skills to a multidisciplinary setting.</p> <p>The topics of the course include medical robotics, medical high-tech industries, disease prevention, health care system, science technology and industrial policy, system safety, energy technology, and, nano-technology.</p>				

Course Code	5130230	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Social Design and Global Leadership				
Faculties	SUZUKI Hiroshi / SHIROYAMA Hideaki				
Course Objectives/Overview	<p>This is the introductory lecture course for the graduate leading program on social design and management. Basic concepts and methods for social design and management in organization settings are introduced, followed by concrete cases in various sectors and discussion on global leadership as a cross-cutting issue. This course especially focuses on the problem definition phase of social design and management.</p>				

Course Code	5130240	Term	A 1	Credits	2
Course Title	社会と健康 I				
Faculties	近藤 尚己／橋本 英樹／川上 憲人				
Course Objectives/Overview	<p>健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health: SDH）へアプローチする公衆衛生活動が世界的な潮流となりつつある。本コースではSDH にアプローチする公衆衛生対策・健康格差対策を実践していくための基礎となる理論とエビデンスについて学ぶ。社会疫学の基本的な考え方についてのレクチャーの後、関連諸分野の最前線で研究を行う講師がオムニバス形式で講義を行う。SDH に関連する実証研究を進めるために必要な因果推論技法の基礎も扱う。多様なバックグラウンドを持つ学生の参加を期待する。</p>				

Course Code	5130241	Term	A 2	Credits	2
Course Title	社会と健康 II				
Faculties	近藤 尚己				
Course Objectives/Overview	<p>ヘルスプロモーション施策、とりわけ社会環境要因にアプローチする方法の理論と実践法を学ぶ。「健康の社会的決定要因」と「健康格差」に特に着目し、そのメカニズムと制御方法、測定法も扱う。講義では受講者による発表や演習を積極的に取り入れる。関連する理論のうち、疾病予防における high risk strategy & population strategy、population strategy の亜型である vulnerable population approach, proportionate universalisms, redistributive policy 等を扱いつつ、健康格差是正に資するアプローチの実際を学ぶ。また、地域社会での実践に関連して、community empowerment, community organizing, social prescribing、地域包括ケア、地域共生社会 などを扱う。近年注目されるこども食堂や生活困窮世帯の子どもへの学習支援など、市民による社会包摂の取り組みとの関連やその在り方についても批判的に検討(critique)する。</p>				

Course Code	5130245	Term	S1A1	Credits	2
Course Title	Global Health Policy				
Faculties	HASHIZUME Masahiro				
Course Objectives/Overview	<p>本特論は、グローバルヘルスにおける主な課題と論点の理解と理論的背景を概説するとともに、政策課題の分析と解釈のための実践的演習を行う。グローバルヘルスの第一線で活躍する外部講師による特別講義も適宜実施し、理論と実践の双方を習得する。扱うテーマは、グローバルヘルスの政策とガバナンス、地球環境問題と健康、疾病負荷、健康格差、健康の社会的決定要因等である。</p> <p>This course introduces the principles and theories of major global health challenges and discusses current controversies in improving global population health, as well</p>				

	as practical applications of quantitative methods to analyze and interpret issues and challenges for policy. Topics will include: global health policy and governance, global environmental health, disease burden, health equity, social determinants of health, etc.
--	--

Course Code	5130248	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Introduction to Cybersecurity Policy				
Faculties	HAYASHI Ryozo / ONISHI Akio / TAKAMIZAWA Nobushige				
Course Objectives/Overview	<p>Overview:</p> <p>This course introduces students to the issues of security operations surrounding information system and internet communications in Japan and around the world, by focusing on security challenges arising from the globalization of internet, the sharing of networks, complex web of digital technology, and strategic communications. The course will enable students to understand how and why cybersecurity has drawn an increasing concern and driven the nation for development of strategies and policy at both national/international level. This course does not require significant skills or experience in information technology.</p> <p>Course Objectives</p> <p>The course objectives include but not limited to</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Understanding the policy issues that center on critical infrastructure protections, international relations, business continuity, and risk/crisis management to protect intellectual property, assets, reputation, and other organizational assets from any threat or attack related to cybersecurity. ● Understanding the role of technical standards to supplement legal and regulatory requirements; ● Analyzing critical incidents including data breaches or related events to design and implement organizational strategies to address such risks; ● Gaining a basic understanding for future technical and other research in security (whether it is public or public sector) ● Gaining a basic grounding for policy via the examination of current research issues and problems ● Gaining experience handling real-world security policy challenges through analysis of public documents and artifacts using written and oral communication. ● Developing the multidisciplinary skills needed to analyze, manage, and resolve the challenges associated with public policy, international relations, and governance. ● Students are encouraged to take experiment provided by Interfaculty Initiative in Information Studies/Graduate School of Interdisciplinary Information Studies 				

Course Code	5130250	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Mathematics for Public Policy				
Faculties	KAKINAKA Makoto				
Course Objectives/Overview	This course introduces fundamental mathematical tools that are useful in analyzing various public policies in a scientific way. By taking this course, you will be able to systematically and intuitively apply mathematical methods to economic and management issues and utilize them for your research on public policy issues. The				

	focus of this course is on (i) fundamental elements and (ii) applications to real world issues. The fundamental elements include functions, sequence and series, differentiation, unconstrained and constrained optimization, integration, and matrix algebra. We also cover simple versions of differential and difference equations to understand the basic concept of dynamic systems. It is important for you to realize in advance that this course is a building block for any further study of public policy.
--	--

Course Code	5130260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障・人口問題の現代的諸相				
Faculties	佐藤 格				
Course Objectives/Overview	<p>本講座では、少子高齢化・人口減少という時代の潮流を理解した上で、社会保障制度や日本社会のあるべき姿を考えるために必要な知識や視点を半年の講義で学ぶ。</p> <p>まず、日本社会が直面している課題、そして人口問題と社会保障を学ぶ意義と有効性を解説する。前半では、少子高齢化の今後の動向やそれがもたらす社会の変化について、マクロの人口現象と家族の変容の視点を織り交ぜながら、総合的に理解することを目指す。中盤では、家族政策、年金、高齢者ケア、介護、貧困と福祉制度といった社会保障各分野の概念や知識、現代的課題を学ぶ。終盤では、目を世界に向けて、世界の人口動向や日本の周辺諸国における社会保障の動向、外国人労働者政策について紹介する。</p> <p>本講座では、厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所において社会保障や人口分野の調査研究に携わってきた専門家が、各分野について順番に講義を行う。</p>				

Course Code	5130270	Term	S 1	Credits	2
Course Title	医療コミュニケーション学				
Faculties	木内 貴弘／奥原 剛				
Course Objectives/Overview	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>				

Course Code	5130290	Term	S 2	Credits	2
Course Title	International Projects				
Faculties	KATO Hironorii / KOMATSUZAKI Syunsaku				
Course Objectives/Overview	<p>We are generally facing a variety of social problems. For example, the Great East Japan Earthquake set a new task to build new embankments along the Sanriku Coast. It is not a purely technical issue but a social one as social acceptance would be necessary to build those embankments. Even experts of structural mechanics cannot avoid or ignore it. The same thing can be said to international project; for example, Kotopanjang Dam project in Indonesia caused a strong public opposition, which was actually evoked by NGO, and ended in court. Not only engineers but also economists or public policy makers must have competencies to deal with such various aspects of international project.</p> <p>Students are expected to learn the skills of problem solving (analysis, evaluation and forecast) and solution design and the professional knowledge of international project through case method in this course. The instructors with different professional backgrounds will give you an opportunity to learn a wide range of expertise to manage and/or initiate international project in future.</p>				

Course Code	5135030	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	CAMPUS Asia Joint Course: International Public Policy in East Asia				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to deepen understanding of East Asian political, economic, and social issues through multidisciplinary analysis. The course consists of lectures, student group discussions, and field trips. Faculties of the Seoul National University (SNU) and the Peking University (PKU), our partner schools of the Campus Asia Program, also provide a series of lectures in the course. This course is designed for students participating in the Campus Asia program. Non-Campus Asia students at the University of Tokyo (limited to 4-5) may also be allowed to register for the course.</p>				

Course Code	5139000	Term	通年	Credits	1
Course Title	インターンシップ				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>単位認定の対象は、公共政策に関わる政府、地方自治体、NPO、民間等の機関において1週間以上のインターンシップに参加したケースである。</p> <p>Students who are going to participate in an internship duration of one week and above at public policy related organizations such as government agencies, municipal bodies, NPO or private institutions etc may register and apply for one credit.</p>				

事例研究
Case Studies

Course Code	5140011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（法政策 I-A）				
Faculties	柳生 正毅				
Course Objectives/Overview	<p>行政は、組織や規模に加え、その権限行使の手続についてまで、法律に基づく様々な制度により規律・制約されている。</p> <p>行政組織や行政の運営に係る制度は行政管理に位置付けられるものであり、古くから学術的な研究課題になってはいるものの、行政内部の制度であることもあり、実施の状況や制度の現況といったものが必ずしも広く明らかになっていないこともある。</p> <p>この授業では、国の行政組織や行政手続等の行政管理に係る分野についての制度的枠組みの他に、実際の運用面といったことも含めて研究し、公務に携わる者や公共政策に関わる者にとって必須の知識の取得を目指す。</p> <p>授業としては、講義も交えながら、研究対象の制度について自ら研究・報告を行ってもらうことで、主体的に研究対象の制度を考察することによるより詳細な知見の習得を目指す。</p> <p>具体的な授業の進め方は、研究対象の制度の概観についての講義の上で、個別のテーマについて文献等を参照しての内容の精査・まとめ・報告を行ってもらうことを予定（講義を受けた次回の講義日に報告（※報告の頻度等は受講人数等を踏まえ調整））。</p>				

Course Code	5140012	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（法政策 I-B）				
Faculties	柳生 正毅				
Course Objectives/Overview	<p>行政は様々な制度により規律されているが、その多くは法律によって定められている。</p> <p>人事行政や政策評価等といった制度は、行政が様々な機能を発揮する前提となる制度であり、また、公務に携わる者や公共政策に関わる者にとって必須の知識でもあることから、この授業では、行政に対する規律のうち、人事行政（国家公務員）や政策評価等といった行政通則である制度について、研究の対象とする。</p> <p>授業としては、講義も交えながら、研究対象の制度について自ら研究・報告を行ってもらうことで、主体的に研究対象の制度を考察することによるより詳細な知見の習得を目指す。</p> <p>具体的な授業の進め方は、研究対象の制度の概観についての講義の上で、個別のテーマについて文献等を参照しての内容の精査・まとめ・報告を行ってもらうことを予定（講義を受けた次回の講義日に報告（※報告の頻度等は受講人数等を踏まえ調整））。</p>				

Course Code	5140041	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	事例研究（現代行政 I）
Faculties	増田 寛也
Course Objectives/Overview	<p>この演習では、政府部門（中央、地方）の政策形成過程への政党、官僚、利益集団の関わり方と、国民、市民や地域社会に与える影響について、幅広く今日の問題を取り上げ、制度と現実の乖離、そこから生まれる課題、課題への対処におけるリーダーシップのあり方について実践的な議論を展開し、考察を深める。</p> <p>このため、適宜、関係者へのヒアリング、現地調査を行う。</p> <p>最終的には、具体的な提言をレポートに取りまとめることを目標とする。</p>

Course Code	5140060	Term	通年	Credits	4
Course Title	事例研究（現代行政 III）				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本演習では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p> <p>本年度は、昨年度に引き続き、川口市の都市計画を採り上げる。都市自治体にとって重要な政策領域は社会保障分野であるが、もう一つの重要な政策領域は社会基盤整備分野である。そこで、区画整理・再開発を含めて、都市計画を採り上げる。行政実務的には、実際に、どのようになされているのかにつき、知見を深めることとする。</p> <p>ここ11カ年ほど、川口市に関しては総合計画・行政管理・合併・国民健康保険・介護保険・障害福祉・生活保護・子ども行政を題材として採り上げたところである。従来は「事例研究」ではなく、通常の「自治体行政聴査」の演習で行ってきたが、内容的にはその延長線上にある。ついに干支が一回りする本演習では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p>				

Course Code	5140076	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（テクノロジーアセスメント）				
Faculties	谷口 武俊／松尾 真紀子				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術は科学的知識に関する不確実性と技術の利用形態に関する不確実性という二重の不確実性をもつ。そして、科学技術の研究開発や利用活動には多様なアクターが関わり、そこには様々な利害が生じ、複雑なリスクトレードオフ構造が形成される。科学技術の社会導入は多様な社会的含意をもつ。社会経済活動がより重層的に繋がり相互依存性を高めている社会にあつて、科学技術の研究開発・利用を巡る公共政策は極めて重要である。研究開発・利用を押し進める政策立案者や意思決定者は上述した科学技術の本質を踏まえたとき、如何なることに留意し社会的判断をなすべきだろう</p>				

	<p>か。</p> <p>本講義では、先端科学技術に関する意思決定支援アプローチである「テクノロジーアセスメント(Technology Assessment: TA)」の考え方・手法・制度を学習し、具体的な科学技術を取り上げ実践的に TA 試みることを通して、上述のような問いについて考えていく。これまで受講生が取り上げてきた技術は、大規模洋上風力発電やジオエンジニアリングやスマートグリッドなどの環境・エネルギー分野、M2M や仮想現実・拡張現実などの情報通信技術分野、角膜再生や BMI などの健康・医療技術、宇宙デブリ除去技術、宇宙新輸送システム、自動運転技術、赤外線暗視カメラ、ウェアラブル IoT、医療分野への AI 導入、自動翻訳、ブロックチェーン技術、ゲノム編集技術等がある。</p>
--	---

Course Code	5140078	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（人工知能と社会）				
Faculties	江間 有沙／國吉 康夫／佐倉 統／城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>「人工知能」が新聞紙面で見ない日はないほど、自動運転・農業・医療・金融・サービス業等様々な人工知能が紹介され、社会的な関心は高まっています。そのため、国内外で人工知能技術の開発初期段階からの原則策定や、技術の倫理的、法的、社会的影響（Ethical, Legal and Social Implications）の議論が行われています。このような議論には多様な分野の知見が求められており、今後、情報系研究者も倫理・法・社会的知見を持つこと、政策関係者や実務家、人文・社会科学の研究者も情報技術に関する知見を持つことが必要となります。</p> <p>本授業では、「どうやったら技術を社会に受容してもらえるのか」「技術が私たちの社会をどう変えてしまうのか」という技術決定論的あるいは受け身な態度ではなく、「どのような社会を目指し、そのために技術や人は何ができるか」といった視点から「人工知能と社会」における論点を考えます。そのため、人工知能関連技術と密接に関係する分野や学問領域で話題提供いただくゲスト講師をお招きします。</p> <p>また授業は人文・社会科学系、理工系の学生に開かれており、異分野の学生同士での対話の仕方も学び、ディスカッションを通して各々特定のテーマについての最終レポートを作成します。また、学生には授業前にテーマに関する資料を予習し、質疑応答やディスカッションに主体的に参加することが求められます。</p> <p>本授業への最大受け入れ可能人数は最大 30 名です。受講者多数の場合、分野のバランスを考慮しつつ選抜を行います。そのため、本授業への参加を希望される方は必ず初回授業（4 月 9 日）への参加をお願いします。どうしても初回に参加できない場合は、教員に事前に連絡をしてください。</p> <p>なお、本授業は総合文化研究科、情報理工学系研究科、情報学環・学際情報学府、公共政策大学院の合併授業です。</p>				

Course Code	5140079	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Cybersecurity)				
Faculties	HAYASHI Ryoza / ONISHI Akio / TAKAMIZAWA Nobushige				
Course Objectives/Overview	<p>The course objectives include but not limited to</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Understanding the policy issues that center on international relations, business continuity, and risk/crisis management to protect intellectual property, assets, reputation, and other organizational assets from any threat or attack related to cybersecurity. ● Understanding the role of technical standards to supplement legal and regulatory requirements; ● Analyzing critical incidents including data breaches or related events to design and implement organizational strategies to address such risks; ● Gaining a basic understanding for future technical and other research in security (whether it is public or public sector) ● Gaining a basic grounding for policy via the examination of current research issues and problems ● Gaining experience handling real-world security policy challenges through analysis of public documents and artifacts using written and oral communication. ● Developing the multidisciplinary skills needed to analyze, manage, and resolve the challenges associated with public policy, international relations, and governance. ● Students are encouraged to take experiment provided by Interfaculty Initiative in Information Studies/Graduate School of Interdisciplinary Information Studies 				

Course Code	5140090	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（外交政策 I）				
Faculties	齋木 尚子				
Course Objectives/Overview	<p>事例研究を重ね、外交についての理解を深めることを目標とする。「外交」とは、第一に、対外政策を意味するが、政策自体に関する分析・評価のみならず、当該政策が作成される過程も十分に検討しなければ、政策を正しく理解することはできず、まして言わんや、将来の政策の企画・立案ないしこれに寄与するための政策提言を行うこともできない。第二に、「外交」とは、政策の実施を意味する。即ち、関係国・機関との交渉（時に対決し時に協力する）及びこれに付随する措置も外交である。したがって、本講義においては、対外政策の決定プロセス、政策そのもの、そして政策の履行の三段階を取り上げ、検討する。</p> <p>右検討においては、政策提言作成をも視野に入れて、掘り下げた議論を行いたい。</p>				

Course Code	5140100	Term	A1A2	Credits	4
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	事例研究（外交政策Ⅱ）
Faculties	齋木 尚子
Course Objectives/Overview	<p>事例研究を重ね、外交についての理解を深めることを目標とする。「外交」とは、第一に、対外政策を意味するが、政策自体に関する分析・評価のみならず、当該政策が作成される過程も十分に検討しなければ、政策を正しく理解することはできず、まして言わんや、将来の政策の企画・立案ないしこれに寄与するための政策提言を行うこともできない。第二に、「外交」とは、政策の実施を意味する。即ち、関係国・機関との交渉（時に対決し時に協力する）及びこれに付随する措置も外交である。したがって、本講義においては、対外政策の決定プロセス、政策そのもの、そして政策の履行の三段階を取り上げ、検討する。</p> <p>右検討においては、政策提言作成をも視野に入れて、掘り下げた議論を行いたい。</p>

Course Code	5140105	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（現代日本外交演習）				
Faculties	小原 雅博				
Course Objectives/Overview	<p>現代世界は、主権国家システムの下での大国間のパワー・バランスの変化、テロ・サイバー・難民・気候変動などの非伝統的脅威の増大、科学技術やグローバル化・情報化の画期的進展によって複雑な様相を呈し、国際秩序が変動しつつある。現代日本外交を論じるに当たっては、こうした国際社会の構造変化を踏まえ、外交の原則や要素を確認しつつ、大局的・長期的視点に立ってアプローチする必要がある。</p> <p>本演習は、そうした認識に立って、第一に、critical thinking を重視し、「考える力」を発揮する、第二に、presentation を懲憑し、自らの考えを「伝える力」を向上させる、第三に、creativity を期待し、debate を通じて新たな問題意識や解決策を「創造する力」を導き出す、ことを目指している。参加者一人一人が外交官として思考し行動するプロアクティブな実践講座であり、積極的な討論参加と創造的な論文作成を求める。</p>				

Course Code	5140143	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Case Study (International Political Economy)				
Faculties	HIWATARI Nobuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>Presenting one's research paper has become a necessity for policy specialists, regardless of one's occupation. This course is designed to help students write and present an original research paper based on empirical research in topics related to international political economy. Participants will obtain firsthand experience on: how to formulate research questions worthy of a paper and an attentive audience; how</p>				

	<p>to efficiently conduct research; how to learn from other people's presentation; and the merits of peer reviews and criticisms.</p> <p>A presentation and submission of a research paper and Power Point slides is required for credit. The course will be conducted in English and is tailored to accommodate non-native speakers.</p>
--	---

Course Code	5140165	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（デジタル時代の行政と社会）				
Faculties	城山 英明／青木 尚美／坂井 修一／羅 芝賢				
Course Objectives/Overview	<p>情報通信技術の発展は様々な行政の変化をもたらしつつある。しかし、技術の特性だけによって変化が促される場面はごく限られている。技術の中には、本質的に政治的な技術もあれば、明確な政治的目的を持って設計される技術もあり、意図せざる結果としての政治的効果を伴う技術も存在する。また、技術の変化は行政におけるプラクティスや制度の変化と共進化することでインパクトを持つ。この授業では、まず、第1部において、基本的文献も用いつつ、今日さまざまな形で展開している行政の変容やそのころ試み及び変容のためのプロセスについて、19世紀以来の官僚制の成立とその変化という幅広い文脈に位置づけ、議論する。その上で、第2部においては、近年、電子政府、デジタル・ガバメント、情報セキュリティの確保といった枠組みの下で試みられている様々な実務的技術的取組を、現場の実務家や理系研究者の講義に基づいて検討する。そして、第3部においては、参加者が関心を持つ任意のテーマに関するレポートの構想を発表し、相互に議論する。最終的には、各参加者はレポートをまとめることが求められる。</p>				

Course Code	5140202	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策評価のための因果推論 I）				
Faculties	川口 大司				
Course Objectives/Overview	<p>データから因果関係を読み解く因果推論の手法を学び、その手法を実際の政策形成の現場でどのように適用しエビデンスに基づく政策形成(EBPM)を実践していくかを学ぶ。経済産業省の政策担当部局並びに EBPM 担当部局の職員に事例研究に参加してもらい実際の政策形成の現場の臨場感を味わってもらいながら、政策形成の現場で EBPM を実践するとはどういうことかを考える場としたい。</p>				

Course Code	5140203	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策評価のための因果推論 II）				
Faculties	川口 大司				

Course Objectives/Overview	データから因果関係を読み解く因果推論の手法を学び、その手法を実際の政策形成の現場でどのように適用しエビデンスに基づく政策形成(EBPM)を実践していくかを学ぶ。経済産業省の政策担当部局並びに EBPM 担当部局の職員に事例研究に参加してもらい実際の政策形成の現場の臨場感を味わってもらいながら、政策形成の現場で EBPM を実践するとはどういうことかを考える場としたい。
----------------------------	---

Course Code	5140205	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（公共経済政策：問題分析）				
Faculties	小川 光／深澤 映司				
Course Objectives/Overview	官公庁やシンクタンクなどで経済分野の政策分析業務に従事することを希望する受講者を対象として、そのような職場で政策課題分析型の論文を作成する際に有用な知識や技能を習得することを目的とする。前期（S1・S2 セメスター）の「問題分析」では、この目的を達成するための基礎固めを行い、後期（A1・A2 セメスター）の授業で実際に論文を完成させるための橋渡しを行う。				

Course Code	5140206	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（公共経済政策：解決策分析）				
Faculties	小川 光／深澤 映司				
Course Objectives/Overview	官公庁やシンクタンクなどで経済分野の政策分析業務に従事することを希望する受講者を対象として、そのような職場で政策課題分析型の論文を作成する際に有用な知識や技能を習得することを目的とする。後期（A1・A2 セメスター）の「解決策分析」では、前期（S1・S2 セメスター）の「問題分析」における基礎固めで得られた成果をさらに発展させ、授業の最終的な目的を達成することを目指す。				

Course Code	5140209	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)				
Faculties	IIDA Keisuke				
Course Objectives/Overview	The goal of this course is to explain how Japan's foreign economic policy is made and where its characteristics come from. This course is primarily intended for international students wanting to understand the political and economic underpinnings of Japan's foreign economic policy, but it will be also useful for students who anticipate practicing foreign economic policy in their professional life, or those who will help shape governmental foreign economic policy in the private sector.				

Course Code	5140217	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政治とマスメディア I）				
Faculties	谷口 将紀／吉田 貴文				
Course Objectives/Overview	<p>2010年夏、日本で1964年以来、二度目となるオリンピックが開催される。しかし、昭和の高度成長のただなかでおこなわれた前回と異なり、今回五輪が開かれる令和の日本には、国が上昇気流にのっているという高揚感はない。それどころか、少子高齢化や人口減少、社会保障不安、分断社会の広がりの中、新たな「国のかたち」を政治が示すことができず、立ちすくんでいるように見える。また、そうした状況や課題を伝えるべきマスメディアも、ネットやITの進展などで環境が激変するなか、新たなメディアのあり方をめぐり混迷と模索の渦中にある。</p> <p>政治とマスメディア演習 I では、令和の日本の課題をあらためて確認しつつ、「オリンピック後」の政治やマスメディアについて、関係者による講義、ゼミ生による取材、ゼミ生同士の討論を通じて考察を深め、ポストオリンピックの令和の時代を担う若い世代の目でリアルな「提案」をまとめたい。</p>				

Course Code	5140218	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（政治とマスメディア II）				
Faculties	谷口 将紀／吉田 貴文				
Course Objectives/Overview	<p>「政権交代可能な政治」を旨とした平成の日本政治は、2009年の民主党による歴史的な政権交代で、その目的を果たしたかにみえた。ところが、鳩山、菅、野田3代の民主党政権はいずれも短命に終わり、2012年末に安倍・自民党が政権を奪還してから7年以上、政権交代は起きていない。日本では二大政党による政権交代は難しいのではないかという見方さえ強まっている。</p> <p>「官邸主導」、「自民一強」の安倍政権のもとで政治が安定した一方、官僚の政権への忖度など長期政権の弊害も目立つようになった。やはり政権の交代は不可欠といえるが、それは自民党一党優位の「55年体制」のもと同党内で続いてきた派閥間の“疑似政権交代”でいいのか、二大政党による本格的な政権交代によるべきなのか。政治とマスメディア演習 I A セメスターでは、政権交代にかかわった政治家や官僚、政権交代を狙う政治家、政権交代を取材してきたジャーナリストと徹底的に考えたい。</p>				

Course Code	5140226	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・問題分析）				
Faculties	金本 良嗣／辻田 昌弘／長谷 知治／楠田 幹人				
Course	都市地域政策と社会資本ファイナンスに関する事例研究を行う。建				

Objectives/Overview	<p>建築物やインフラは数十年といった長期にわたって使い続けられるので、都市地域政策によって都市や地域の構造が変化するには長い期間がかかる。一方、人口減少、高齢化、自動運転、生産と消費におけるスマート化、アジア経済の発展等によって、たとえば、30年後（2050年）の都市・地域の姿は大きく変貌しているはずである。これを念頭に、新たな視点から都市地域政策を構想し、それらの実現性やインパクトをシナリオベースで予測して、社会的な望ましさを評価する。</p> <p>3名程度のグループによる共同作業が基本である。</p>
---------------------	---

Course Code	5140256	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・解決策分析）				
Faculties	金本 良嗣／辻田 昌弘／長谷 知治／楠田 幹人				
Course Objectives/Overview	前期の事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・問題分析）における調査・研究を踏まえて、具体的な政策代替案の分析・評価を行う。3名程度のグループによる共同作業が基本である。				

Course Code	5140280	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（財政政策Ⅰ）				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	<p>財政政策、税制、財政運営に係る事例研究をおこなう。問題の設定、基本的な事実に関してのリサーチをおこない、解決策を探る。この授業では、規制影響評価（PIA）がなぜ日本では定着しないのか、の課題に取り組む。規制影響評価が政策評価制度に取り入れられたときには、費用便益分析の適用がうたわれていたが、費用便益分析の適用は少なく、また大きく見直されてきた。世界各国で導入されてきたが、日本で定着しなかったのはなぜか。</p>				

Course Code	5140286	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Intellectual Property Management)				
Faculties	WATANABE Toshiya				
Course Objectives/Overview	<p>Purpose The "International IPR Management" course covers the fundamental aspects of intellectual property from business perspective. The course is organized by combining series of lectures and workshops by guest speakers for better understanding the IPR management through real issues in business scene. In order to facilitate effective interactive process in case based teaching, a number of enrolled students could be restricted. In this process, students in the TMI departments as well as those in TMI sub-major have some priority. .</p>				

Course Code	5140298	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Japanese Macroeconomic Policy: Solutions to Monetary and Fiscal Policy Challenges)				
Faculties	HAYASHI Tomoko				
Course Objectives/Overview	This course will provide sound basis for research on the Japanese macroeconomic policy (both monetary policy and fiscal policy), with reference to other countries, from the viewpoint of the policy practitioner. It will cover a wide range of background knowledge from policy framework in theory and practice, economic assessment and data analysis to the current policy settings.				

Course Code	5140299	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（日本のマクロデータによる政策分析）				
Faculties	林 伴子／梅溪 健児				
Course Objectives/Overview	<p>経済分析に多く使われるマクロ経済データについて、その概要と取扱いの仕方、分析の際の留意点等について学び、日本や海外の経済分析に必要なデータに関する実践的な知見を深める。</p> <p>政府・中央銀行や民間シンクタンクのエコノミスト、大学の研究者が経済分析を進める上で必須となる、データに関する基礎知識を身につけ、自ら読み解き、情報発信できるようになることが到達目標である。こうした能力は、エコノミスト、研究者を目指す者のみならず、政府等でしっかりした裏付けのある政策の企画・立案に携わりたい者や、企業の経営企画・コンサルタント業務を目指す者、ジャーナリズムで活躍することをを目指す者にも有益な基礎を提供する。</p>				

Course Code	5140301	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（医療政策・問題分析）				
Faculties	飯塚 敏晃／渡辺 安虎				
Course Objectives/Overview	日本の医療や医療政策が直面する課題について、マイクロデータを用いた事例研究を行い、課題解決に向けた分析レポートをまとめる。 夏学期は研究課題の設定、基本的な事実に関するのりサーチを行う。				

Course Code	5140310	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（財政政策Ⅱ）				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	財政政策、税制、財政運営に係る事例研究をおこなう。問題の設定、基本的な事実に関するのりサーチをおこない、解決策を探る。 この授業では、過去の「公共政策の経済評価」で作成された費用便				

	益分析のフォローアップを行う。評価対象事業が導入されていない時点で不確定であった要因について、事前の予測と事後の実績がどのように違っているかを通して、事前の予測がどのようなバイアスをもちやすいか、を検討する。分析の候補となる事業は、「洋上風力発電」、「ラウンドアバウト交差点」、「ドライブレコーダー」である。
--	--

Course Code	5140331	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（医療政策・解決策分析）				
Faculties	飯塚 敏晃／渡辺 安虎				
Course Objectives/Overview	日本の医療や医療政策が直面する課題について、マイクロデータを用いた事例研究を行い、課題解決に向けた分析レポートをまとめる。秋学期はマイクロデータを用いた分析と論文の執筆を行う。				

Course Code	5140346	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・政策分析入門）				
Faculties	金本 良嗣／辻田 昌弘／長谷 知治／楠田 幹人				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析の入門として、公共政策大学院1年生に対して提供され、都市地域政策と社会資本ファイナンスに関する事例研究を行う。建築物やインフラは数十年といった長期にわたって使い続けられるので、都市地域政策によって都市や地域の構造が変化するには長い期間がかかる。一方、人口減少、高齢化、自動運転、生産と消費におけるスマート化、アジア経済の発展等によって、たとえば、30年後（2050年）の都市・地域の姿は大きく変貌しているはずである。これを念頭に、新たな視点から都市地域政策を構想し、それらの実現性やインパクトをシナリオベースで予測して、社会的な望ましさを評価する。</p> <p>3名程度のグループによる共同作業が基本である。</p>				

Course Code	5140348	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（金融システム分析）				
Faculties	湯山 智教				
Course Objectives/Overview	金融システムを巡る最近のトピックについて、関連する文献（論文・レポート）やインタビュー等を通じて、その背景や考え方等について理解し、受講者が単独または複数名によるチーム形式で、金融システムに関連した分析テーマについてサーベイし、プレゼンテーションを行い、最終的にはレポート（論文という形式でもよい）を作成することを目的とする。また、受講人数にもよるが、受講者が、単独またはチームで概ね2～3回程度の発表を行うことを想定している。				

	<p>具体的な分析テーマとしては、金融政策（マイナス金利、出口政策等々）、FinTech、ベンチャーファイナンス、コーポレートガバナンス、ESG 投資、地域金融システム、金融監督規制、国際金融規制等が考えられるが、初回講義で担当教員の提示するテーマ案から選択するのも良いし、受講者自身の関心に応じた金融システムに関するトピックを独自に選び、取りあげても良い。</p> <p>授業では、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や考え方を理解し、一定の分析能力を育成することを目標とする。</p> <p>担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）、日本銀行、民間シンクタンク等における勤務経験を有するとともに、一定程度アカデミックなバックグラウンドも有する行政官・実務経験者である。講義に際しては、理論に加えて、現実の動きや政策対応・実証分析等をバランスよく取り扱っていきたいと考えている。なお、本講義は、みずほ証券寄付講座の一環である。</p>
--	--

Course Code	5140393	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Quantitative Macroeconomics I)				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	In this course, participants practice quantitative analysis of macroeconomic models using numerical computation.				

Course Code	5140394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Quantitative Macroeconomics II)				
Faculties	楡井 誠				
Course Objectives/Overview	In this course, participants practice quantitative analysis of macroeconomic models using numerical computation.				

Course Code	5140395	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（資本市場と公共政策）				
Faculties	小野 傑 /（未定）				
Course Objectives/Overview	<p>金融資本市場においては、最近、FinTech ベンチャーに代表されるような新たなプレイヤーによる参入、AI（機械学習）の進展、ビッグデータの活用、キャッシュレスの拡大、仮想通貨（暗号資産）の問題、ICO（Initial Coin Offering）・STO（Security Token Offering）と呼ばれる新たな資金調達手段の可能性の出現などの大きな変革が進んでおり、これに加えて、会社法改正の動きなどを受けたコーポレートガバナンスのあり方、スチュワードシップ・コード改訂を受けた機関投資家のあり方、フィデュシャリー・デューティー、ベンチャーファイナ</p>				

	<p>ンス、ESG 投資などの従来から指摘されている課題や論点など、公共政策的・法的論点と課題は多数に上る。</p> <p>この授業では、これらの金融資本市場における論点と課題について、主として有識者を招いての講義や学生とのディスカッションを通じて、履修生が理解を進め、深く思索する機会を提供するとともに、形式ではなく本質を見据えた解決策を考える力を養うことを目指す。</p> <p>(注) 本講義は、みずほ証券株式会社による寄附講座である。</p>
--	---

Course Code	5140396	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究 (金融資本市場論)				
Faculties	(未定)				
Course Objectives/Overview	<p>金融資本市場を巡る最近のトピックについて、関連する文献(論文・レポート)やインタビュー等を通じて、その背景や考え方等について理解し、受講者が単独または複数名によるチーム形式で、金融資本市場に関連した分析テーマについてサーベイし、報告・プレゼンテーションを行い、最終的にはレポート(論文という形式でもよい)を作成することを目的とする。受講人数にもよるが、受講者が、単独またはチームで概ね2～3回程度の発表を行うことを想定している。</p> <p>具体的な分析テーマとしては、金融政策(マイナス金利、出口政策等々)、FinTech、ベンチャーファイナンス、コーポレートガバナンス、ESG 投資、地域金融システム、金融監督規制、国際金融規制等が考えられるが、初回講義で担当教員の提示するテーマ案から選択するのも良いし、受講者自身の関心に応じた金融資本市場に関するトピックを独自に選び、取りあげても良い。</p> <p>授業では、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や考え方を理解し、一定の分析能力を育成することを目標とする。</p> <p>※具体的な講義スケジュールは2020年夏にUTASにアップする。</p>				

Course Code	5140397-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究 (信託法に関する実務上の諸問題)				
Faculties	水野 大				
Course Objectives/Overview	<p>担当教員は、信託関連法令あるいは信託銀行の業務に関する案件を専門分野の一つとする弁護士である。</p> <p>http://www.noandt.com/data/lawyer/index/id/1678/</p> <p>担当教員から、実際に取り扱った案件や法律問題を紹介しつつ、信託法の概説やベーシックな信託契約の読み方の説明を行った上で、各参加者が自ら選択したテーマについて発表し、その発表に基づいて担当教員や参加者が議論を行うことを予定している。</p>				

	<p>参加者が、実定法としての信託法の内容、信託関連法令に関する基本的な知識を身につけると同時に、実務に想起する問題を法的に分析することへの興味・関心・野心を抱くに至ることが、この演習の目的である。</p> <p>民法、会社法のような実定法の勉強の延長で実定法としての信託法を勉強したいという学生あるいは信託を用いた金融実務に興味のある学生の参加を想定している。</p>
--	---

Course Code	5140398	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Macro-Financial Linkages)				
Faculties	UEDA Kenichi / NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	<p>Become capable of reading and writing theoretical and empirical analyses on macro-financial linkages, which appear strongly in financial crises as well as along a typical path of economic development, at the level often discussed among international policy experts.</p> <ul style="list-style-type: none"> • To build the capacity to understand policy issues on crises. • To be familiar with major theoretical arguments and empirical methods. • To improve policy discussion skills: <ul style="list-style-type: none"> o Presenting (advertising/defending) o Serving as discussant (praising/criticizing) o Open-floor discussions (involving others) 				

Course Code	5140399	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Case Study (Macroeconomic Policy for Practitioners)				
Faculties	SCHIFF Jerald / NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course makes use of key macroeconomic concepts and international practice to analyze real world policy questions and country cases. We will develop a simple and flexible macroeconomic framework, based on the sort of analysis undertaken at the IMF. Using this framework, a number of issues will be examined, including: evaluating monetary and fiscal policies; identifying economic and financial vulnerabilities; designing economic programs for countries in or near crisis; and developing policy recommendations to raise long-term growth. Country case studies and current economic news and developments will also serve as a starting point for class discussions of key ideas.</p>				

Course Code	5140404-3	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Foreign Policy of Japan)				
Faculties	TAKEUCHI Haruhisa				
Course Objectives/Overview	<p>The International community and the Asia Pacific region in particular is going through rapid structural changes which represent both opportunities and challenges to the region and to the world. This course will review and discuss various aspects of the contemporary Japanese foreign policy toward Asia Pacific and beyond.</p>				

	Throughout the course, the lecturer, a former diplomat, will endeavor to share with the students his experience as a practitioner. As appropriate, guest speakers will be invited to discuss current affairs.
--	---

Course Code	5140412	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Financial Institutions)				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide an overview of the theory, history, practices and challenges of international financial institutions (IFIs). In the lecture, IFIs are likely to include the International Monetary Fund (IMF), World Bank (and International Finance Corporation [IFC]), Asian Development Bank (ADB), Inter-American Development Bank (IDB), African Development Bank (AfDB), and European Bank for Reconstruction and Development (EBRD) and other key IFIs.</p> <p>Experts from these IFIs will deliver lectures in many cases. These experts may include the heads of the Tokyo offices of the IFIs. At the end of the course, students are expected to fully understand the major functions and challenges of IFIs.</p> <p>Students taking this course for credits must take part in all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5140414	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（企業の技術戦略と国際公共政策）				
Faculties	中川 淳司／米谷 三以				
Course Objectives/Overview	<p>本事例研究は、企業が経営戦略・技術戦略として公共政策形成に関わるか、とくに国際ルールの形成にどのように関わり、国際ルールをどのように利用しているか、の実務を学ぶことを狙いとする。今日、公共政策にどう関わるか等の対政府渉外活動、あるいは、いわゆる「非市場戦略」の企業にとっての重要性が高まっているのみならず、技術開発・海外投資等の経営戦略との複合的な考慮が必要となっている。脱炭素・プラスチックごみ対策など公共政策の変化が技術革新を要求し、標準化の巧拙が技術競争の重要な要素になってきていることはその現れである。また関税や投資規制・保護等のルールは、サプライチェーンの構築に大きく影響する。国際ルールの比重が高まり、かつ国際ルール形成における企業・NGOなど非政府機関の関与する機会が増加している今日においては、国際ルール形成に関わる企業戦略の巧拙が業績に大きく影響する。同時に、Brexitに見られるように、国家の規制主権を取り戻そうとする動きもあり、対象の動きは複雑化している。</p> <p>こうした活動を立案・実施するためには、法と政策に関わる知見に加え、技術に関する知見も必要であり、総合的な専門性が必要とされるが、必要な専門能力・経験を備えた人材は不足している。この現状に鑑み、企業が国際公共政策に関わるとはどういうことか、とくに、技術戦略にどのような影響があるか、どのような関わり方に</p>				

	<p>よって目的を実現できるか、とくに、技術的なソリューションをどのように組み合わせるか、そのために必要な能力・知見は何か等について、企業活動の最前線でルール of 立案・交渉・実施にあたっている実務家の経験と知見を学び、実務につなげる。経済活動に対する国際ルールの規律の現状とその底流となる政策論の方向性、国際ルールの形成と実施のための手続の実際、かかる手続における政府、企業、NGO等のステークホルダーの関与等について、個別の事例の検討を通じて考察を深め、さらに今日的な課題にいかに取り組みかについて実践的な議論を行い、実務において直面する問題に対する解決能力を高めることをねらいとする。</p>
--	--

Course Code	5140415	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（国際経済ルールの形成と利用）				
Faculties	中川 淳司／米谷 三似				
Course Objectives/Overview	<p>経済・社会のグローバル化・世界的統合が進み、通商・投資協定、環境条約、BEPSなどの協力・ハーモニゼーションの枠組、国際規格その他の国際ルールが、国内法・政策の形成に大きく影響する今日、かかる国際ルール・取組に受動的に対応するのではなく、積極的に形成のイニシアティブを執り、使いこなす重要性が、政府、法律事務所、企業等において認識されてきている。さらに、近年は逆の方向（Brexit・保護主義等）の動きもあり、ルール形成の在り方は一層複雑化している。しかし、必要な専門能力・経験を備えた人材は不足している。この現状に鑑み、国際経済ルールを如何に策定し利用するか、そのために必要な能力・知見は何か等について、政府等の最前線でルール of 立案・交渉・実施にあたっている実務家の経験と知見を学び、実務につなげる。経済活動に対する国際ルールの規律の現状とその底流となる政策論の方向性、国際ルールの形成と実施のための手続の実際、かかる手続における政府、企業、NGO等のステークホルダーの関与等について、個別の事例の検討を通じて考察を深め、さらに今日的な課題にいかに取り組みかについて実践的な議論を行い、実務において直面する問題に対する解決能力を高めることをねらいとする。</p>				

Course Code	5140416	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Global Financial Policy Making)				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar-format course is designed to discuss international financial standard setters (IFSSs)' history, structure, governance, activities, and policy-making process. IFSSs include Financial Stability Board (FSB), Basel Committee on Banking Supervision (BCBS), International Association of Insurance Supervisors (IAIS), and International Organization of Securities Commissions (IOSCO). This course, will also cover IFSSs' operation and management. The course will allocate</p>				

	sufficient time to discuss key policy making process with real examples. Guest lecturers from IFSSs' representatives and stakeholders would provide their experiences during the course. Students taking this course for credits must attend all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.
--	---

Course Code	5140485	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策環境・事業環境検討手法としてのシナリオプランニング：理論と実践）				
Faculties	角和 昌浩／杉野 綾子				
Course Objectives/Overview	<p>人生は決断の連続である。 これから職業人生を歩んでいく過程でも、皆さんは日々、大小様々な決断を迫られるが、それらは間接的に、組織の業績や評判や、存立を左右するような重大な決断に結び付く場合が多い。 他方で将来のことは誰もわからない。つまり企業でも官公庁でも、今後どのような外部環境に置かれるのか、自らの行動の帰結と、それに対する反応について不確実な状況下で、重大な判断を下さなければならない。</p> <p>シナリオプランニングは、不確実な状況下で、組織が、丹念な情報収集・分析と活発なブレインストーミングを通じて、より良い決定を下すための方法論である。</p> <p>この授業はシナリオプランニング技法を、実際にシナリオを作りながら学んでゆく。本年度は、「トランプ後の国際秩序」を実習テーマとし、テーマにかかわる専門家を招いてレクチャーをいただく。</p> <p>授業の目標は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①シナリオプランニングの理論と型式を理解する、 ②シナリオプランニング手法が政策環境分析あるいはビジネス環境分析に活用可能なことを理解する、 ③シナリオプランニングの作業工程を実習する、 ④チームワークの作り方を体験的に実習する、 ⑤チーム作業でシナリオ作品を試作する。 <p>このため、全回出席をお願いしたいし、グループワークに貢献し、宿題をこなしながら徐々に力をつけてもらいたい。</p>				

Course Code	5140486	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Business Environment, Stakeholders and Issues; a Learning Experience in Collaboration with Japanese Industry)				
Faculties	KUMON Takashi				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of this course are to give course attendants hands-on experiences of business modus operandi of Japanese companies, and to ask the attendants to follow small scale researches on particular themes on Japanese companies/industries.</p> <p>This course was established in 2015 in response to the call from GraSPP international students for more to learn and be exposed to the Japanese business</p>				

	<p>society. Japanese Ministry of Economy, Trade and Industry has also been finding this request as fair and supports this course.</p> <p>The ultimate aim of the course is to offer the attendants an opportunity to learn business culture and operation of globalized, or globalizing Japanese companies. Hence, the attendants are very much deserved to be critical and argumentative however; the organizer of the course would like to ask them for due respects to the companies.</p> <p>The organizer of the course has a variety of experience in business and governmental organization to support overseas business of Japanese companies. However; the attendants will not expect the organizer to do full lectures on theories and methods of business practices, which can be learned by reading boring books for MBA course, plenty of them.</p> <p>This is a very practical course, rare in the university.</p> <p>The attendants will expect hard work!</p>
--	--

Course Code	5140488	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Public-Private Partnerships)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide students with an overview of Public-Private Partnerships (PPPs) as a framework for infrastructure development and public services provision. Thus, the course aims to prepare students for future positions engaged in infrastructure development and public services provision in both the public and private sectors, where financial perspectives are also required. As a practical training course, students will have the opportunity to work in a team, make oral presentation, debate and produce memos and reports.</p> <p>The key motivation for PPPs is to seek efficiency gains as well as to fill public sector funding gaps through private sector participation. Recognizing such potential benefits, we have seen an increasing interest in PPPs over the past decades.</p> <p>The core task of structuring a PPP project is to reconcile the interests of various parties from the private and public sectors. These parties include investors, lenders, and contractors on the private sector side and the government and other related entities on the public sector side. PPPs are in reality very complex and most likely costly. Risk allocations are challenging because of the public nature of infrastructure services provision and inherent uncertainties over the long term. Difficulties also arise from the different attitudes of investors, lenders, government entities, and the general public. PPPs are equipped with a very commercial contractual structure and operational modalities, but at the same time are extremely political with social implications.</p>				

Course Code	5140494	Term	通年	Credits	4
Course Title	事例研究（アメリカ政治外交史演習）				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカの政党政治は 1860 年代から民主党・共和党の二大政党によって担われてきたものの、その支持基盤や政策は劇的に変化してきた。それは 19 世紀から 20 世紀前半にかけてのみならず、過去 50 年</p>				

	についても妥当する。どのようなメカニズムを経てアメリカの政党は変化するのであろうか。このような問題意識を抱きながら、その政党と政党政治の特質について考察する。
--	---

Course Code	5140498	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy)				
Faculties	KAMAE Isao				
Course Objectives/Overview	<ul style="list-style-type: none"> ・ Students learn about Health Technology Assessment(HTA) institutions in the world and develop the HTA literacy with global standards, which is required for public policy-making and business in healthcare. ・ A group of two or three students is asked to perform a short presentation regarding one institution assigned in advance (for example, NICE in the UK), and the presentation is followed by in-depth discussions. ・ Several lectures, by skype or face-to-face, are provided by HTA experts in the world. 				

Course Code	5140500	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（海洋問題演習 Va）				
Faculties	木村 伸吾／山口 健介				
Course Objectives/Overview	<p>この授業は、学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養することを目指し、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチについて、具体的課題に即して学ぶことを目的とする実践的な科目である。</p> <p>この授業は、A セメスターに開講される海洋問題演習Vb と内容的に一連のものとして設定されるが、それぞれ独立して履修することも可能である。</p> <p>この授業においては、海洋に関わる政策的なトピックについて、場の利用、資源の利用、安全な利用といった観点から、沿岸域総合管理、生物多様性、津波・防災、海洋安全保障、海洋ゴミ・プラスチック問題、海洋再生可能エネルギー利用、水産物感染症対策等各分野の専門家、実務家等を招いて講義を行う。専門分野の違いを超え、問題解決に必要な知見を総合して、政策案を企画する基礎を学ぶことを目指す。</p> <p>この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである「海洋学際教育プログラム」の必修科目である。</p>				

Course Code	5140501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（海洋問題演習 Vb）				
Faculties	木村 伸吾／山口 健介				

Course Objectives/Overview	<p>この授業は、学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養することを目指し、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチについて、具体的課題に即して学ぶことを目的とする実践的な科目である。</p> <p>この授業は、S セメスターに開講される海洋問題演習 Va と内容的に一連のものとして設定されるが、それぞれ独立して履修することも可能である。</p> <p>この授業においては、様々な研究科に所属する大学院生からなるグループを編成し、専門分野の違いを超えて海洋に関わる政策的なトピックについて共同研究を行い、問題解決に必要な知見を総合して政策案の企画に取り組む。</p> <p>この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである「海洋学際教育プログラム」の必修科目である。</p>
----------------------------	---

Course Code	5140503	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（アメリカ政治におけるメディアの役割）				
Faculties	久保 文明／山脇 岳志				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカ政治においていわゆるマス・メディアが果たす役割について、アメリカ政治の基本を把握しつつ、その歴史、性格、最新の状況について理解することを目標とする。日本との異同についても検討する。インタビューの技術などについても、日米の違いも踏まえつつ、解説し、記事の書き方について実践する。</p>				

Course Code	5140600	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（科学技術イノベーション政策研究）				
Faculties	松尾 真紀子／牧岡 亮				
Course Objectives/Overview	<p>[THIS COURSE IS OFFERED IN BOTH JAPANESE AND ENGLISH]</p> <p>科学技術イノベーション政策について、官公庁や調査研究機関等において政策形成やそのために必要なエビデンスの構築に携わる知識を学び、科学技術イノベーション政策を研究する際に重要な論点を俯瞰する。</p> <p>加えて、これらを実践知とするため、科学技術イノベーション政策について、政策プロセス・制度またはエビデンス構築を対象に、グループワークを中心とした事例研究を行う。各学生には、個別の専門領域に閉じることなく、文理融合・学術分野横断的な協働を通じて問題解決を図り、政策を企画立案分析する素養の体得を期待する。</p> <p>----</p> <p>This course is designed to develop necessary skills for collecting and analyzing evidence for public policy-making at government agencies and research institutions, as well as to overview basic issues on science, technology, and innovation (STI) policy research. Students are encouraged to learn across academic disciplines;</p>				

	they are expected to work with other students from different departments/schools toward problem-solving and develop necessary skills for dealing with public issues and planning/evaluating public policy.
--	--

Course Code	5140611	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（科学技術と政治・行政 II）				
Faculties	城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術の研究開発、科学技術の実社会の各分野での利用に際して必要になるリスク規制やイノベーションの促進は社会の政治組織、行政組織、企業、社会集団、専門家、市民様々な主体の利益や価値に関わり、これらの課題をめぐっては諸主体間での政治が展開される。科学技術に関する判断は、しばしば科学的技術的に規定されていると認識されることも多いが、実際には多くのトレードオフや不確実性等に関する判断が埋め込まれており、一定の裁量が埋め込まれている。科学技術に関わる政治・行政においては、各主体が科学技術に関する能力をどのように確保するのか、各主体が能力確保に投資するインセンティブ構造が確保されているのかというのも、重要な局面となる。また、現代政治・行政の活動は様々な科学技術的条件の上に成立している。</p> <p>本演習では、まず、このような科学技術と政治・行政における基本的論点について、講義及び文献講読により概観する。具体的には、科学技術自体の性格とダイナミズム、科学技術政策の概念について検討した後、リスク評価・管理や事故調査・インシデント情報共有による学習メカニズム、知識生産や技術の社会導入に関わるイノベーションのメカニズム、科学技術に関する調整メカニズム、国際レベルにおけるリスク規制（安全保障に関するリスクも含む）と国際的な知識生産、技術の社会導入を進めていくための国際協力のメカニズムについて検討する。</p> <p>その上で、AI等情報技術政策、生命科学技術政策、エネルギー・気候変動政策、宇宙政策について、専門家や実務家のレクチャーを踏まえ、具体的に検討する。最終的に、参加者は関心のあるテーマに関してレポートをまとめることが求められる。</p>				

Course Code	5140700-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Energy Governance)				
Faculties	ARIMA Jun / TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	<p>Explore the roles of the selected energy related international organizations/processes to enhance secure, affordable and sustainable energy supply. The examples of these organs/processes are IEA, OPEC, IEF, Energy Charter, G7, G20, EU, APEC, ASEAN, IAEA IRENA, UNFCCC etc. Discuss the selected energy issues from different perspectives. Try to identify necessary conditions for global energy governance in the 21st Century to address energy and climate challenges</p>				

Course Code	5140700-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Energy Governance)				
Faculties	ARIMA Jun / TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Explore the roles of the selected energy related international organizations/processes to enhance secure, affordable and sustainable energy supply. The examples of these organs/processes are IEA, OPEC, IEF, Energy Charter, G7, G20, EU, APEC, ASEAN, IAEA IRENA, UNFCCC etc. Discuss the selected energy issues from different perspectives. Try to identify necessary conditions for global energy governance in the 21st Century to address energy and climate challenges				

Course Code	5140715	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究 (コーポレートガバナンス)				
Faculties	林 良造 / 中原 裕彦 / 佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>近年、コーポレートガバナンスが問題となる事例が数多く見られ、また、日本の制度に伴うバイアスについての研究も進んできている。そして、こうした事例に対応する形で、新たなガバナンスの方式が模索・提案されたりもしてきた。</p> <p>この授業では、これまでの政策の変遷を踏まえ、現段階での世界の最新の論調を踏まえて事例を見直し、それはどのような原因・メカニズムで発生するのか、そしてそうした問題は今後どのようにすれば改善することができるのか、コーポレートガバナンス制度の評価という視点から検討を行っていく。</p>				

Course Code	5140723	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Finance and Development in Emerging Asia)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to deepen student understanding of development issues in emerging Asia with a focus on financing aspects and thus to prepare students for future professional positions in the field of development finance. We will discuss policy options to enhance the finance-development nexus and to address risks entailed in the process. As a practical training course, students will have the opportunity to work in a team, make oral presentation, debate and produce memos and reports.</p> <p>Specific features of the course are as follows.</p> <p>We will learn a basic framework to understand economic development and finance-development nexus. In order to provide the background knowledge for a better understanding of key concepts, the course will revisit development performance of Asia's emerging economies since the 1980s. Learning from the past will help identify contributing factors to development as well as risks entailed in policy actions.</p> <p>We will also discuss opportunities and challenges in various approaches and</p>				

	<p>initiatives in development finance such as Public-Private Partnerships (PPPs) and community-based finance. Furthermore, we will discuss policy options in a broader geopolitical context. Discussion topics will also include China's Belt and Road Initiative (BRI) and the emergence of Asian Infrastructure Investment Bank (AIIB), a new multilateral lender in Asia.</p> <p>The course will provide students with a policy planning exercise—students will be asked to choose a specific country and to prepare a paper on development strategy and policy proposals with a focus on the finance-development nexus (we name it as a “policy paper”). One of the underlying questions is how to correct shortcomings in the finance-development nexus through public policy with an effective incentive design and minimum market distortions.</p>
--	---

Course Code	5140730-1	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Field Workshop)				
Faculties	NISHIZAWA Toshio				
Course Objectives/Overview	<p>This course will offer opportunities to exchange views and discuss with senior officials, management staff and experts in government agencies, international organizations, global business entities, NPOs, and research institutions in Asia with a view to helping students identify today's societal challenges and design solutions. Students' active participation is required throughout the course to lead discussion with professionals on public policy issues agreed upon at the planning stage. Networking with professionals is expected to help broaden students' future career opportunities.</p>				

Course Code	5140730-2	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Field Workshop)				
Faculties	NISHIZAWA Toshio				
Course Objectives/Overview	<p>This course will offer opportunities to exchange views and discuss with senior officials, management staff and experts in government agencies, international organizations, global business entities, NPOs, and research institutions in the United States with a view to helping students identify today's societal challenges and design solutions. Students' active participation is required throughout the course to lead discussion with professionals on public policy issues agreed upon at the planning stage. Networking with professionals is expected to help broaden students' future career opportunities.</p>				

Course Code	5140735	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Case Study (GraSPP Policy Challenge: Global Innovative Public Policy Solutions)				
Faculties	SUZUKI Hiroshi / ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>*Details to be announced on web site.</p> <p>GraSPP Policy Challenge (GPC) is an initiative at GraSPP, in which Japanese and international students collaborate and seek to improve their teambuilding and policy-making skills. Participants are tasked with responding to pressing real-world</p>				

	policy challenges as a group, and with designing policies and proposals in response to those challenges.
--	--

Course Code	5140738	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Writing Public Policy Cases for SDGs)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro / SEETHARAM K.E.				
Course Objectives/Overview	<p>The course aims to discuss the public policy-related challenges and opportunities to achieve Sustainable Development Goals (SDGs). In this course, participants will be introduced to problem solving in public policy by using “teaching cases.” A teaching case is a narrative which provides information on a real-world situation where people, such as policy makers or business executives, are supposed to make a decision or solve a problem. A well-known approach is one developed by Harvard Business School (often called “the case method”) mostly for corporate decision making as compared to ours for public policy decision making or problem solving. The cases will cover topics related to SDGs such as water, sanitation, transportation, spillover effect of infrastructure, fin-tech, micro-financing, philanthropy and others. During the course, participants will also learn to write a teaching case and thereafter be given opportunities to discuss cases which other students present so that they would develop critical thinking in analyzing problems and making decisions on practical issues.</p> <p>Students are required to do analytical work in a small team with a given narrative by interpreting the relationships among incidents, analyzing interactions between stakeholders, identifying possible options, evaluating choices and their outcomes in comparing alternatives. Analytical work with a teaching case also helps students understand the relevance and importance of abstract concepts and theory in practice.</p>				

Course Code	5140739	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Case Study (GraSPP SDGs Fieldwork)				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>The GPPN SDG Certificate Seminar Series is an initiative at GraSPP as part of GPPN, in which Japanese and international students build up their theoretical and practical knowledge of the UN Agenda 2030 or Sustainable Development Goals, and learn how to work as a team for the conception, planning, and implementation of a concrete project related to SDGs. This course is a requirement for the selected group of five students taking the SDG Certificate. Participants are tasked with responding to pressing real-world policy challenges as a group, and with designing policies and proposals in response to those challenges. The course comprises the activities of the GPPN SDG Certificate, including a field trip to Paris, and supplementary activities, including a second field trip to the US.</p>				

Course Code	5140741	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)				

Faculties	SUZUKI/ISOZUMI/SHIROYAMA/AOKI
Course Objectives/Overview	This class is the PBL (project base learning exercise) for public policy. Students hear the perspectives and concerns of stakeholders in the various fields combining technological and institutional/ policy innovation and and are asked to work collaboratively as a group for the problem definition and identifying and assessing policy alternatives concerning public policies.

Course Code	5140751	Term	S 2	Credits	2
Course Title	事例研究（社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 I）				
Faculties	鈴木 寛				
Course Objectives/Overview	<p>ソーシャル・イノベーション、Social Design and Management について理解を深める</p> <p>人材政策（教育・雇用）、ソフトパワー政策（スポーツ・文化政策、科学技術政策、医療イノベーション政策、ICT政策、パブリックディプロマシー、インテリジェンス、アジア政策、産業政策）の概要を理解し、実際の政策形成を理解する。政府・国会で行われている政策動向の把握の手法を理解し、さらに、国家公務員・地方公務員としての政策分析・提案できる実力を身につける。</p>				

Course Code	5140752	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 II）				
Faculties	鈴木 寛				
Course Objectives/Overview	<p>ソーシャル・イノベーション、Social Design and Management について理解を深める</p> <p>人材政策（教育・雇用）、ソフトパワー政策（スポーツ・文化政策、科学技術政策、医療イノベーション政策、ICT政策、パブリックディプロマシー、インテリジェンス、アジア政策、産業政策）の概要を理解し、実際の政策形成を理解する。政府・国会で行われている政策動向の把握の手法を理解し、さらに、国家公務員・地方公務員としての政策分析・提案できる実力を身につける。</p>				

Course Code	5140765	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study(Comparative Constitutional Design)				
Faculties	MCELWAIN Kenneth Mori				
Course Objectives/Overview	<p>If laws are rules that guide our society, then constitutions are the “rules about the rules”: they establish the basic framework of governance and normative principles that other legislation must follow. This class examines the determinants of constitutional content and survival, covering a wide variety of regions and historical time periods. We will focus in particular on three institutional arrangements: the powers of the executive vs. legislature, the electoral system, and federalism. When</p>				

	countries democratize, how much do constitution writers anticipate the effects of different institutional forms? How much does self-interest matter, as opposed to cultural beliefs or international precedence? Does the inclusiveness of the constitution writing process influence their long-term viability? When countries fail, how much is the constitution at fault?
--	--

Course Code	5140771	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Current Global Economic Issues)				
Faculties	UEDA Kenichi / NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	<p>Become capable of reading and writing theoretical and empirical analyses on current global economic issues at the level often discussed among international policy experts.</p> <ul style="list-style-type: none"> • To build the capacity to understand policy issues on current macroeconomic and financial issues in the world. • To be familiar with major theoretical arguments and empirical methods. • To improve policy discussion skills: <ul style="list-style-type: none"> o Presenting (advertising/defending) o Serving as discussant (praising/criticizing) o Open-floor discussions (involving others) 				

Course Code	5140790-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Development Economics and Policy I)				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>In this course (DEP1), we see what major insights have recently emerged from development economics (e.g., RCT) and how they matter for development policy. Students are expected 1) to acquire basic knowledge and skills to read and discuss research and policy papers in development economics; and 2) to develop presentation, discussion, and report writing skills.</p>				

Course Code	5140791-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Development Economics and Policy II)				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>In this course (DEP2), we see what major insights have recently emerged from development economics (e.g., RCT) and how they matter for development policy. Students are expected 1) to acquire basic knowledge and skills to read and discuss research and policy papers in development economics; and 2) to develop presentation, discussion, and report writing skills.</p>				

リサーチペーパー

Research Paper

研究論文

Thesis

Course Code	5150010	Term	通年	Credits	2
Course Title	リサーチペーパー				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>特定の課題について、文献、インタビュー、その他の調査を行い、その検討結果をまとめ、リサーチペーパーとして作成する。これを通じて、学生が特定の政策課題について調査し、問題を分析する力を養うとともに、これをペーパーとしてまとめ、表現する能力をつける。課題に応じて指導教員は、ペーパー作成に必要な助言を行う。提出されたペーパーについて審査委員による口述試験を通過して所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p> <p>You are to write a Research Paper on a specific topic based on your research findings through literature review, interviews or other researches. The Research Paper is meant to nurture both your analytical and presentation skills. The academic advisor will give advice relating to the topic of your research paper. The Research Paper submitted will be assessed by a panel of judges through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p>				

Course Code	5150011	Term	年度跨り	Credits	2
Course Title	Research Paper				
Faculties	Each Academic Advisor 各教員				
Course Objectives/Overview	<p>You are to write a Research Paper on a specific topic based on your research findings through literature review, interviews or other researches. The Research Paper is meant to nurture both your analytical and presentation skills. The academic advisor will give advice relating to the topic of your research paper. The Research Paper submitted will be assessed by a panel of judges through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p> <p>特定の課題について、文献、インタビュー、その他の調査を行い、その検討結果をまとめ、リサーチペーパーとして作成する。これを通じて、学生が特定の政策課題について調査し、問題を分析する力を養うとともに、これをペーパーとしてまとめ、表現する能力をつける。課題に応じて指導教員は、ペーパー作成に必要な助言を行う。提出されたペーパーについて審査委員による口述試験を通過して所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p>				

Course Code	5150020	Term	通年	Credits	6
Course Title	研究論文				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>選定した特定の研究課題について、文献調査、インタビュー、資料分析、その他の綿密な調査と分析を行い、それに基づく研究成果をまとめ、これを研究論文として作成する。研究課題に応じて指導教員は、研究課題の確定及び課題に関する研究計画の策定等について助言を与え、研究方法や参考文献の指示、その他の助言等を行うことによって、学生の研究論文の作成を支援する。提出された研究論文に対して口述試験を行い、これを通過することによって所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p> <p>You are to write the Thesis on a selected specific topic based on your research findings through literature review, interviews, data analysis or other detailed research and analysis. The academic advisor will give advice on your research topic and research plan, supervise on research methods and academic references, as well as give other advices to assist student in the writing of the Thesis. The Thesis submitted will be assessed through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p>				

Course Code	5150021	Term	年度跨り	Credits	6
Course Title	Thesis				
Faculties	Each Academic Advisor 各教員				
Course Objectives/Overview	<p>You are to write the Thesis on a selected specific topic based on your research findings through literature review, interviews, data analysis or other detailed research and analysis. The academic advisor will give advice on your research topic and research plan, supervise on research methods and academic references, as well as give other advices to assist student in the writing of the Thesis. The Thesis submitted will be assessed through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p> <p>選定した特定の研究課題について、文献調査、インタビュー、資料分析、その他の綿密な調査と分析を行い、それに基づく研究成果をまとめ、これを研究論文として作成する。研究課題に応じて指導教員は、研究課題の確定及び課題に関する研究計画の策定等について助言を与え、研究方法や参考文献の指示、その他の助言等を行うことによって、学生の研究論文の作成を支援する。提出された研究論文に対して口述試験を行い、これを通過することによって所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p>				